

資 料

調査票 A票

B—①票

B—②票

B—③票

自由記述

A票（施設票）

平成 23 年度 保育士の実態に関する調査票 社会福祉法人日本保育協会（東京都渋谷区神宮前 5-53-1）

A票〔施設票〕

この調査票では施設全体のことについておたずねします。黒または青のボールペンでご記入ください。

1 回答者について

1. 該当する職名の番号を○で囲んでください（回答者は、原則、保育所長あるいは主任とします）

1 保育所長 2 主任保育士 3 その他()

II 貴園の設置状況等について

2. 経営主体について、該当する番号を○で囲んでください。

1 市町村などの公営 2 社会福祉法人運営の民営 3 その他()

3. 貴園の所在地を記入してください。

1 都道府県・指定都市名() 2 市区名()

3 町村名()

4. 施設認可（届出）年を記入してください。

昭和・平成 () 年

5. 児童定員数を記入してください。

児童定員数()人

Ⅲ 平成23年9月1日現在の在園児数、職員数等について

6. 在園児数を記入してください。

年齢	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	合計
人数							

7. 職員数（常勤、非常勤、パートなどすべてを含む）を記入してください。

職責	所長	保育士	調理員 (栄養士を含む)	看護師	その他	合計
人数						

8. 保育士の勤務形態別の人数を記入してください。

勤務形態	正規職員	非正規職員 (フルタイム)	非正規職員 (パートタイム)	合計
人数				

Ⅳ 貴園における保育の体制について

9. 平日の①開所時刻と②閉所時刻、および③開所時間を記入してください。

①開所時刻（24 時間制でお書き下さい）	時	分
②閉所時刻	時	分
③開所時間（②－①）	時間	分

10. ローテーションの体制について

(1)ローテーションの体制を組んでいますか。 1.はい 2.いいえ

↓

(2)組んでいる場合は何交代制ですか（上の設問で「1.はい」を選んだ場合のみ） 交代制

↓

(3)最も早出勤務の職員と最も遅出勤務の職員の出勤時刻と退所時刻を記入してください。

	出勤時刻		退所時刻	
①最も 早 出勤務の職員の場合	時	分	時	分
②最も 遅 出勤務の職員の場合	時	分	時	分

11. 園内研修について、次の形態（内容）の研修を年に何回行っていますか。

研修の形態（内容）	1 年あたりの回数
①園外講師を招いての研修	
②読書会	
③事例検討会	
④公開保育（園内公開保育を含む）	
⑤その他（内容を具体的に記入してください） ・ ・	

12. 貴園で行っている自己評価の方法（自由記述）と第三者評価受審経験の有無を記入してください。

(1)自己評価の方法

(2)第三者評価受審の経験 1.あり 2.なし

13. 保育の体制や勤務体制等で工夫されている点を記入してください。

・
・
・

ご協力いただき、ありがとうございました。

B—①票（個票）

B—①票〔個票〕

保育所の通算経験年数3年以下の保育士用 （該当者なし）

この調査票は、経験年数3年以下の保育士の方に、勤務実態・専門性・意識等についてお尋ねするものです。
黒または青のボールペンで記入してください。回答はすべて統計的に処理した上で、その結果のみを公表します。回答者が特定できるようなデータを公表することはありません。回答後は、同封の無地の茶封筒に入れて、担当者にお渡しください。なお、経験年数による違いを調べるために、すべての経験年数の調査票で共通の表現を用いています。あらかじめご了承ください。

I あなた自身のことについて

1. あなたが担当するクラスを一つ選んで数字を○で囲んでください。
1. 0歳児クラス 2. 1歳児クラス 3. 2歳児クラス 4. 3歳児クラス
5. 4歳児クラス 6. 5歳児クラス 7. 混合クラス(_____ 歳)
2. あなたのクラスでの役割分担 1. リーダー 2. サブリーダー 3. その他
3. あなたの就業(雇用)形態 1. 正規職員 2. 非正規職員(フルタイム)
4. 保育所保育士の経験年数の通算 _____ 年 _____ か月
5. あなたの性別 1. 男 2. 女
6. あなたは過去1年間に外部での研修を何回受けましたか。費用負担別に記入してください。
なお、ここでの研修1回は、1つのまとまった内容の研修とお考えください。
保育所負担 _____ 回 自己負担 _____ 回

II 保育士の勤務実態について

7. 本調査票を記入している日の前日(平日)のあなたの勤務についてお尋ねします。(2)以降の回答は次の頁の回答欄に記入してください。
(1)前日(平日)の日付と曜日を記入してください。 _____ 月 _____ 日(_____)
(2)あなたは、何時何分に登園(出勤)されましたか、24時間制で記入してください(①欄)。
(3)あなたは、何時何分に降園(退所)されましたか、24時間制で記入してください(②欄)。
(4)園にいた時間は、何時間何分でしたか。②欄から①欄を引いた値を記入してください(③欄)。
(5)次の業務に携わった時間は、何時間何分でしたか。④から⑪の合計が③欄と同じになるように記入してください。
④保育の時間(子どもや保護者とかがわっていた時間)
⑤保育記録を作成するのにかけた時間
⑥保育教材を作成するのにかけた時間(指導計画の作成、教材研究を含む)
⑦事務的な仕事にかけた時間
⑧保育所内の掃除や整理にかけた時間
⑨会議・打ち合わせ・報告等にかけた時間
⑩休憩時間
⑪その他の内容にかけた時間(具体的な内容を以下に記入してください)。
(_____)

(6)いわゆる「持ち帰り」をするなど、帰宅後、あるいは出勤前に、保育に関する仕事をされましたか。された場合、その仕事の内容と所要時間を記入してください。

<回答欄>

(2) 登園（出勤した）時刻	①	時	分
(3) 降園（退所した）時刻	②	時	分
(4) 園にいた時間（②－①）	③	時間	分

(5) 各業務に携わった時間

④保育の時間（子どもや保護者とかがわっていた時間）	時間	分
⑤保育記録を作成するのにかけた時間	時間	分
⑥保育教材を作成するのにかけた時間 (指導計画の作成、教材研究を含む)	時間	分
⑦事務的な仕事にかけた時間	時間	分
⑧保育所内の掃除や整理にかけた時間	時間	分
⑨会議・打ち合わせ・報告等にかけた時間	時間	分
⑩休憩時間	時間	分
⑪その他の内容にかけた時間	時間	分
合計（③と同じにしてください）	時間	分

同じになるようにしてください

(6) 帰宅後、あるいは出勤前に行った仕事

1. あり（その内容と所要時間を以下に記入してください。） 2. なし

仕事の内容	所要時間	
	時間	分
	時間	分
	時間	分
	時間	分
	時間	分
合計	時間	分

8. 昨年度のあなたの年次有給休暇(持ち越し日数を含む)は何日でしたか(①)。またそれを昨年度1年間で何日使いましたか(②)

①年次有給休暇の取得日数 _____ 日 ②使用日数 _____ 日

Ⅲ 保育士の専門性について

9. 以下の保育士の業務について、どの程度実施できていると思いますか？該当するものに○をしてください。

	できている	る ほ ぼ で き て い	あ ま り で き て い な い	で き て い な い	担 当 し て い な い
①保育所の保育方針に合わせた指導計画の立案	1	2	3	4	5
②子どもの姿や季節に合わせた指導計画の立案	1	2	3	4	5
③子どもの一人ひとりの発達の把握	1	2	3	4	5
④保育室の整理整頓	1	2	3	4	5
⑤季節に合わせた保育室などの環境整備	1	2	3	4	5
⑥保育教材の準備	1	2	3	4	5
⑦家庭との連携	1	2	3	4	5
⑧他の保育士との連携	1	2	3	4	5
⑨園長など上司への適切な報告や相談	1	2	3	4	5
⑩栄養士や看護師など他の専門職との連携	1	2	3	4	5
⑪他の専門機関との連携	1	2	3	4	5
⑫地域の子育て家庭への支援	1	2	3	4	5

Ⅳ 満足度・意識について

10. 以下の項目について、どの程度あなたは満足していますか。該当するものに○をしてください。

	満足している	ま あ ま あ 満足 している	あ ま り 満足 し て い な い	い 満足 して い な い
①現在の勤務体制	1	2	3	4
②現在の仕事内容	1	2	3	4
③現在の仕事に対する報酬(給与)	1	2	3	4
④保護者との人間関係	1	2	3	4
⑤同僚との人間関係	1	2	3	4
⑥上司との人間関係	1	2	3	4
⑦保育士としての自分の成長	1	2	3	4
⑧自分がかかわった子どもに対する保育	1	2	3	4

11. 以下の内容を、どの程度あなたは感じていますか。該当するものに○をしてください。

	る と も 感 じ	や や 感 じ る	な い あ ま り 感 じ	ま っ た く 感 じ な い
①現在の仕事に対するやりがい	1	2	3	4
②子どもと過ごす時間の楽しさ	1	2	3	4
③保護者からの信頼	1	2	3	4
④仕事における自分の持ち味の発揮	1	2	3	4
⑤仕事における肉体的なきつさ	1	2	3	4
⑥仕事における精神的なきつさ	1	2	3	4

12. 保育士として働いていて困っていることは何ですか。箇条書きで記入してください。

・
・
・

13. あなたは保育士になって良かったことは何ですか。箇条書きで記入してください。

・
・
・

14. あなたは、今後も保育士として勤務することを考えておられますか。「はい」または「いいえ」のどちらかに○をつけた後、その理由について該当するものすべてに○をつけて下さい(複数回答可)。

1.はい ↓ 満足だから	理由	2.いいえ ↓ 不満だから
	①給与	
	②休暇	
	③労働時間	
	④仕事の内容	
	⑤雇用形態	
	⑥職場の人間関係	
	⑦福利厚生	
	⑧職場の将来性	
	⑨通勤の便利さ	
	⑩研修の充実	
	⑪保育の理念・方針	
	⑫人材育成の雰囲気	

ご協力いただき、ありがとうございました。

B—②票（個票）

B—②票〔個票〕 保育所の通算経験年数4年以上 10年未満の保育士用 （該当者なし）

この調査票は、経験年数4年以上10年未満の保育士の方に、勤務実態・専門性・意識等についてお尋ねするものです。黒または青のボールペンで記入してください。回答はすべて統計的に処理した上で、その結果のみを公表します。回答者が特定できるようなデータを公表することはありません。回答後は、同封の無地の茶封筒に入れて、担当者にお渡しください。なお、経験年数による違いを調べるために、すべての経験年数の調査票で共通の表現を用いています。あらかじめご了承ください。

I あなた自身のことについて

1. あなたが担当するクラスを一つ選んで数字を○で囲んでください。
1. 0歳児クラス 2. 1歳児クラス 3. 2歳児クラス 4. 3歳児クラス
5. 4歳児クラス 6. 5歳児クラス 7. 混合クラス(_____ 歳)
2. あなたのクラスでの役割分担 1. リーダー 2. サブリーダー 3. その他
3. あなたの就業(雇用)形態 1. 正規職員 2. 非正規職員(フルタイム)
4. 保育所保育士の経験年数の通算 _____ 年 _____ か月
5. あなたの性別 1. 男 2. 女
6. あなたは過去1年間に外部での研修を何回受けましたか。費用負担別に記入してください。
なお、ここでの研修1回は、1つのまとまった内容の研修とお考えください。
保育所負担 _____ 回 自己負担 _____ 回

II 保育士の勤務実態について

7. 本調査票を記入している日の前日(平日)のあなたの勤務についてお尋ねします。(2)以降の回答は次の頁の回答欄に記入してください。
(1)前日(平日)の日付と曜日を記入してください。 _____ 月 _____ 日(_____)
(2)あなたは、何時何分に登園(出勤)されましたか、24時間制で記入してください(①欄)。
(3)あなたは、何時何分に降園(退所)されましたか。24時間制で記入してください(②欄)。
(4)園にいた時間は、何時間何分でしたか。②欄から①欄を引いた値を記入してください(③欄)。
(5)次の業務に携わった時間は、何時間何分でしたか。④から⑪の合計が③欄と同じになるように記入してください。
④保育の時間(子どもや保護者とかかわっていた時間)
⑤保育記録を作成するのにかけた時間
⑥保育教材を作成するのにかけた時間(指導計画の作成、教材研究を含む)
⑦事務的な仕事にかけた時間
⑧保育所内の掃除や整理にかけた時間
⑨会議・打ち合わせ・報告等にかけた時間
⑩休憩時間
⑪その他の内容にかけた時間(具体的な内容を以下に記入してください)。
(_____)

(6)いわゆる「持ち帰り」をするなど、帰宅後、あるいは出勤前に、保育に関する仕事をされましたか。された場合、その仕事の内容と所要時間を記入してください。

<回答欄>

(2) 登園（出勤した）時刻	①	時	分
(3) 降園（退所した）時刻	②	時	分
(4) 園にいた時間（②－①）	③	時間	分

(5) 各業務に携わった時間

④保育の時間（子どもや保護者とかがわっていた時間）	時間	分
⑤保育記録を作成するのにかけた時間	時間	分
⑥保育教材を作成するのにかけた時間 （指導計画の作成、教材研究を含む）	時間	分
⑦事務的な仕事にかけた時間	時間	分
⑧保育所内の掃除や整理にかけた時間	時間	分
⑨会議・打ち合わせ・報告等にかけた時間	時間	分
⑩休憩時間	時間	分
⑪その他の内容にかけた時間	時間	分
合計（③と同じにしてください）	時間	分

同じになるようにしてください

(6) 帰宅後、あるいは出勤前に行った仕事

1. あり（その内容と所要時間を以下に記入してください。） 2. なし

仕事の内容	所要時間	
	時間	分
	時間	分
	時間	分
	時間	分
	時間	分
合計	時間	分

8. 昨年度のあなたの年次有給休暇（持ち越し日数を含む）は何日でしたか(①)。またそれを昨年度1年間で何日使いましたか(②)

①年次有給休暇の取得日数 _____ 日 ②使用日数 _____ 日

Ⅲ 保育士の専門性について

9. 以下の保育士の業務について、どの程度実施できていると思いますか？該当するものに○をしてください。

	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	担当していない
①保育所の保育方針に合わせた指導計画の立案	1	2	3	4	5
②子どもの姿や季節に合わせた指導計画の立案	1	2	3	4	5
③子どもの一人ひとりの発達の把握	1	2	3	4	5
④保育室の整理整頓	1	2	3	4	5
⑤季節に合わせた保育室などの環境整備	1	2	3	4	5
⑥保育教材の準備	1	2	3	4	5
⑦家庭との連携	1	2	3	4	5
⑧他の保育士との連携	1	2	3	4	5
⑨園長など上司への適切な報告や相談	1	2	3	4	5
⑩栄養士や看護師など他の専門職との連携	1	2	3	4	5
⑪他の専門機関との連携	1	2	3	4	5
⑫地域の子育て家庭への支援	1	2	3	4	5

Ⅳ 満足度・意識について

10. 以下の項目について、どの程度あなたは満足していますか。該当するものに○をしてください。

	満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	満足していない
①現在の勤務体制	1	2	3	4
②現在の仕事内容	1	2	3	4
③現在の仕事に対する報酬(給与)	1	2	3	4
④保護者との人間関係	1	2	3	4
⑤同僚との人間関係	1	2	3	4
⑥上司との人間関係	1	2	3	4
⑦保育士としての自分の成長	1	2	3	4
⑧自分がかかわった子どもに対する保育	1	2	3	4

11. 以下の内容を、どの程度あなたは感じていますか。該当するものに○をしてください。

	る と も 感 じ	や や 感 じ る	な い あ ま り 感 じ	ま っ た く 感 じ な い
①現在の仕事に対するやりがい	1	2	3	4
②子どもと過ごす時間の楽しさ	1	2	3	4
③保護者からの信頼	1	2	3	4
④仕事における自分の持ち味の発揮	1	2	3	4
⑤仕事における肉体的なきつさ	1	2	3	4
⑥仕事における精神的なきつさ	1	2	3	4

12. 保育士として働いていて困っていることは何ですか。箇条書きで記入してください。

・
・
・

13. あなたは保育士になって良かったことは何ですか。箇条書きで記入してください。

・
・
・

14. あなたは、今後も保育士として勤務することを考えておられますか。「はい」または「いいえ」のどちらかに○をつけた後、その理由について該当するものすべてに○をつけて下さい(複数回答可)。

1.はい ↓ 満足だから	理由	2.いいえ ↓ 不満だから
	①給与	
	②休暇	
	③労働時間	
	④仕事の内容	
	⑤雇用形態	
	⑥職場の人間関係	
	⑦福利厚生	
	⑧職場の将来性	
	⑨通勤の便利さ	
	⑩研修の充実	
	⑪保育の理念・方針	
	⑫人材育成の雰囲気	

ご協力いただき、ありがとうございました。

B—③票（個票）

B—③票〔個票〕

保育所の通算経験年数 10 年以上の保育士用（該当者なし）

この調査票は、経験年数 10 年以上の保育士の方に、勤務実態・専門性・意識等についてお尋ねするものです。黒または青のボールペンで記入してください。回答はすべて統計的に処理した上で、その結果のみを公表します。回答者が特定できるようなデータを公表することはありません。回答後は、同封の無地の茶封筒に入れて、担当者にお渡しください。なお、経験年数による違いを調べるために、すべての経験年数の調査票で共通の表現を用いています。あらかじめご了承ください。

I あなた自身のことについて

1. あなたが担当するクラスを一つ選んで数字を○で囲んでください。
1. 0歳児クラス 2. 1歳児クラス 3. 2歳児クラス 4. 3歳児クラス
5. 4歳児クラス 6. 5歳児クラス 7. 混合クラス(_____ 歳)
2. あなたのクラスでの役割分担 1. リーダー 2. サブリーダー 3. その他
3. あなたの就業(雇用)形態 1. 正規職員 2. 非正規職員(フルタイム)
4. 保育所保育士の経験年数の通算 _____ 年 _____ か月
5. あなたの性別 1. 男 2. 女
6. あなたは過去1年間に外部での研修を何回受けましたか。費用負担別に記入してください。
なお、ここでの研修1回は、1つのまとまった内容の研修とお考えください。
保育所負担 _____ 回 自己負担 _____ 回

II 保育士の勤務実態について

7. 本調査票を記入している日の前日(平日)のあなたの勤務についてお尋ねします。(2)以降の回答は次の頁の回答欄に記入してください。
(1)前日(平日)の日付と曜日を記入してください。 _____ 月 _____ 日(_____)
(2)あなたは、何時何分に登園(出勤)されましたか、24 時間制で記入してください(①欄)。
(3)あなたは、何時何分に降園(退所)されましたか。24 時間制で記入してください(②欄)。
(4)園にいた時間は、何時間何分でしたか。②欄から①欄を引いた値を記入してください(③欄)。
(5)次の業務に携わった時間は、何時間何分でしたか。④から⑪の合計が③欄と同じになるように記入してください。
④保育の時間(子どもや保護者とかかわっていた時間)
⑤保育記録を作成するのにかけた時間
⑥保育教材を作成するのにかけた時間(指導計画の作成、教材研究を含む)
⑦事務的な仕事にかけた時間
⑧保育所内の掃除や整理にかけた時間
⑨会議・打ち合わせ・報告等にかけた時間
⑩休憩時間
⑪その他の内容にかけた時間(具体的な内容を以下に記入してください)。
(_____)

(6)いわゆる「持ち帰り」をするなど、帰宅後、あるいは出勤前に、保育に関する仕事をされましたか。された場合、その仕事の内容と所要時間を記入してください。

<回答欄>

(2) 登園（出勤した）時刻	①	時	分
(3) 降園（退所した）時刻	②	時	分
(4) 園にいた時間（②－①）	③	時間	分

(5) 各業務に携わった時間

④保育の時間（子どもや保護者とかかわっていた時間）	時間	分
⑤保育記録を作成するのにかけた時間	時間	分
⑥保育教材を作成するのにかけた時間 (指導計画の作成、教材研究を含む)	時間	分
⑦事務的な仕事にかけた時間	時間	分
⑧保育所内の掃除や整理にかけた時間	時間	分
⑨会議・打ち合わせ・報告等にかけた時間	時間	分
⑩休憩時間	時間	分
⑪その他の内容にかけた時間	時間	分
合計（③と同じにしてください）	時間	分

← 同じになるようにしてください

(6) 帰宅後、あるいは出勤前に行った仕事

1. あり（その内容と所要時間を以下に記入してください。） 2. なし

仕事の内容	所要時間	
	時間	分
	時間	分
	時間	分
	時間	分
	時間	分
合計	時間	分

8. 昨年度のあなたの年次有給休暇(持ち越し日数を含む)は何日でしたか(①)。またそれを昨年度1年間で何日使いましたか(②)

①年次有給休暇の取得日数 _____ 日

②使用日数 _____ 日

Ⅲ 保育士の専門性について

9. 以下の保育士の業務について、どの程度実施できていると思いますか？該当するものに○をしてください。

	できている	る ほ ぼ で き て い	い な い あ ま り で き て	で き て い な い	い 担 当 し て い な
①保育所の保育方針に合わせた指導計画の立案	1	2	3	4	5
②子どもの姿や季節に合わせた指導計画の立案	1	2	3	4	5
③子どもの一人ひとりの発達の把握	1	2	3	4	5
④保育室の整理整頓	1	2	3	4	5
⑤季節に合わせた保育室などの環境整備	1	2	3	4	5
⑥保育教材の準備	1	2	3	4	5
⑦家庭との連携	1	2	3	4	5
⑧他の保育士との連携	1	2	3	4	5
⑨園長など上司への適切な報告や相談	1	2	3	4	5
⑩栄養士や看護師など他の専門職との連携	1	2	3	4	5
⑪他の専門機関との連携	1	2	3	4	5
⑫地域の子育て家庭への支援	1	2	3	4	5

Ⅳ 満足度・意識について

10. 以下の項目について、どの程度あなたは満足していますか。該当するものに○をしてください。

	満足している	ま あ ま あ 満 足 し て い る	あ ま り 満 足 し て い な い	い 満 足 し て い な
①現在の勤務体制	1	2	3	4
②現在の仕事内容	1	2	3	4
③現在の仕事に対する報酬(給与)	1	2	3	4
④保護者との人間関係	1	2	3	4
⑤同僚との人間関係	1	2	3	4
⑥上司との人間関係	1	2	3	4
⑦保育士としての自分の成長	1	2	3	4
⑧自分がかかわった子どもに対する保育	1	2	3	4

11. 以下の内容を、どの程度あなたは感じていますか。該当するものに○をしてください。

	る とても感じ	やや感じる	ない あまり感じ	まったく感 じない
①現在の仕事に対するやりがい	1	2	3	4
②子どもと過ごす時間の楽しさ	1	2	3	4
③保護者からの信頼	1	2	3	4
④仕事における自分の持ち味の発揮	1	2	3	4
⑤仕事における肉体的なきつさ	1	2	3	4
⑥仕事における精神的なきつさ	1	2	3	4

12. 保育士として働いていて困っていることは何ですか。箇条書きで記入してください。

・
・
・

13. あなたは保育士になって良かったことは何ですか。箇条書きで記入してください。

・
・
・

14. あなたは、今後も保育士として勤務することを考えておられますか。「はい」または「いいえ」のどちらかに○をつけた後、その理由について該当するものすべてに○をつけて下さい(複数回答可)。

1.はい ↓ 満足だから	理由	2.いいえ ↓ 不満だから
	①給与	
	②休暇	
	③労働時間	
	④仕事の内容	
	⑤雇用形態	
	⑥職場の人間関係	
	⑦福利厚生	
	⑧職場の将来性	
	⑨通勤の便利さ	
	⑩研修の充実	
	⑪保育の理念・方針	
	⑫人材育成の雰囲気	

ご協力いただき、ありがとうございました。

自由記述

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・新・保育所保育指針より養護と教育の体化 ・自己評価検討他	・職員一人ひとりが自己評価書にチェック ・保護者にアンケート実施 ・保育園の自己評価を評価書にそって実施			・カリキュラムの立案、記入	・職場での人間関係 ・いかに配慮、気遣いができるか	・子どもと楽しい時間が過ごせる ・子どもの成長を感じることができる
	公営		・自己評価シートを作成後、配布、各自自己評価				・人手不足 ・資材が少ない ・給料が少ない ・働く時間が長い	・やりがいがある ・子どもの成長を見るのが楽しい ・毎日笑って過ごせる
	公営	・職員会議にて報告、話し合い						
	公営			・ローテーションは未満児・幼児が重ならないようにしている			・親への対応、クレームなど困る	・子どもと楽しい思い出ができる
	公営				・子どものおたより帳書き	・指導計画の作成	・年齢の近い同僚がいないため、気軽に相談できる人が職場にいない ・保護者との関わり方 ・給与の低さ	・子どもの成長を間近で感じることができる ・毎日子ども達の笑顔に触れ、自分も笑顔で働く事が出来る ・将来、自分が子育てする時に勉強になる

※ここで「4～10年」とは調査票B-②「4年以上10年未満」の意です。

4～10年※				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・保育に入る前 の準備、日 誌・回覧など に目を通す、 予定の確認		・長時間、子ど もを抱いて動 く事が多く、 腰などが痛く なる ・体調の悪い時 もあまり簡単 に休めず、肉 体的にきつい と感ずること がある	・日々大変なこ とがあっても 子どもと触れ 合う事で癒さ れ頑張ること ができる ・子どもが成長 していく姿を 見る事が面白 いし、やりが いを感じる	・着替え、おし ぼり準備等	・カリキュラム 作成 ・オムツマッ トの作成	・意志の疎通が 難しい父母が 増えてきてい る ・若い保育士を 育てるのが難 しい ・家に持ち帰る 仕事が増えて いる ・事務量がとて も多い！	・色々な人と触 れ合える
						・自分以外の保 育士が正規職 員ではないの で…働きにく い	・仕事が安定し ている
						・事務時間がな い	・やりがいが感 じられる
		・正職と非正規 職員の差。仕 事内容はほぼ 一緒なのに区 別する部分、 賃金の差もひ どすぎる	・子どもの成長 を感動したり やりがいを感 ずること			・保育所の民間 委託が進み、 安心して働き 続けられる職 場がなくなっ てきている ・職員の雇用形 態が違う為、 職場内で格差 を感じ非常に 働きにくい	・子どもの成長 を間近で見守 ることができ る事
	・発表会の製作 物	・給与が安いと ころ ・男性が少ない ところ	・子ども達の笑 顔が見れるこ と			・発達障害を持 つ子への対応 ・自己中心的な 保護者への対 応 ・自分の体力面	・子どもの成長 が感じられ、 やりがいがあ る ・保護者からの 感謝 ・子どもと過ご す時間が楽し い

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・カリキュラム検討・食育 ・保育課程見直し ・事例研究	・毎月評価を書いてもらい、会議の時自分で発表し対の保育士と話し合う機会を毎月					
	民営		・四半期ごとに自己評価、年度末に全体を通して評価表に記入	・事務時間（30分間）を確保している ・パート職員を配置する事で事務時間と休憩時間が確保されている			・スキル ・言葉がけ	・子どもの笑顔や成長がみられる ・専門学校で勉強していないことも学べる
	財団法人		・自己評価表を園で作成。年間目標を各自で決め、前期、後期、年間の自己評価をする。その都度、園長、主任が評価をする	・各クラス担任、勤務体制では、新人や経験年数が浅い保育士だけにならないようにしています ・行事や月ごとのリーダーなど、新人保育士にも責任ある仕事を体験させる		・個人記録の作成	・病気やケガをした際に瞬時に対応できていない ・子どもとの関わり方がこの時は本当にこれでいいのかと、不安になる時がある	・将来の子育てにある程度は困らないと思う ・子どもが昔から好きなので、毎日関わり、成長を見られるのが楽しい ・昔からの夢が叶った
	民営		・日案に反省も含めて評価記入している ・職員会議で発表	・出来るだけギリギリまで未満児・以上児別々の保育を行い、延長保育へつなげている				・担当した子や保育園の子の成長を見られること
	民営		・自己チェックリスト（世界文化社）を利用 ・当法人業務マニュアル	・4h パートを1ヵ月12日を加配し、職員の事務時間等に活用している		・日誌下書き ・連絡カード下書き	・十分な睡眠がとれないこと ・時間がないこと	・子どもと過ごす時間が楽しいこと ・子どもとのやり取りで新しい発見があること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		給料が少なく生活が苦しい	- 子どもたちの成長を見てやりがいを感じられることが多いから - 年齢によって発達のちがいを見れて充実しているため			保護者への対応の難しさ	- 子どもの成長過程を学べ関わることができる - 子どもの成長の保護者共に喜び合える事ができた
	発表会の練習の小道具作	- 人間関係（職場） - 親との関係 - 自分の経験不足	- 子どもの成長を感じる時 - 保護者から信頼の言葉をもらった時 - 自分の進めていた事が成功した時		カリキュラム反省	- 常に元気で笑顔でいること（たまに疲れると親から指摘があるの - 行動や日々の追われ、一年があっという間に終わる - プライベートでも外で会ったら	- 子どもたちのかわいい姿、成長の姿、たくさん見られて嬉しい - 親から信頼され、何年たっても（卒園しても）そのきずなが強いこと - 大変だけれど毎日楽しいと思えること
	月案、週案の作成	年々、体力的にきつくなっている（腰痛などを含め）	1年を通して四季をととも感じられる - 大きな行事等、達成感をととも感じられる - 子ども達の成長に喜びを感じる - 子ども達の笑顔に日々癒される			- 今は保育士というより事務の方が多くなっている - 身体をこわした	- 子どもといると落ち着く - 今のところは職が無くなることはない
	事務的な仕事	- 仕事量と給与が合わない - 勤務時間が足りない	- 子どもの笑顔、成長していく姿がみれること - やりがいのある仕事		週案	事務仕事の量が多いにも関わらず職場では出来ないのて家に持ち込むこと	やりがいがあり常に元気でいられること
子どもの姿の確認や今後の関わり等の話し合い	- 連絡帳記入 - おたより作成 - クラス状況報告作成	- 母親の悩みや不安に適切に答えられているかどうか - 子どもの目線に立つ事の難しさ（～になつて欲しいという気持ちが強くなってしまうこと） - 時間に追われてしまっている事	- 子どもの成長を目の当たりに見られる事 - 子どもと笑顔で関われる事		おたより書き他	様々な主張をする親への対応	子どもの成長を感じられた時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・年2回～3回園長と個別で話し合い					・運動会や発表会など行事を通して、感動を得られること ・かわいい笑顔が毎日みられる事
	民営	・「これからの保育を考える」「新保育指針」についてなどを研修	・保育課程に基づき各自反省をし、それをもとに保育課程を検討する方法で行っている	・0歳児保育については、その成長状態に応じて細やかな対応を行っている				・子どもの成長を間近で見られる ・子どもと共に自分も成長出来る
	公設民営		・自己評価票にて年4回、自己評価を行っている		・新入園児の準備、文化際のお遊戯の内容		・行事の前など仕事が多くて、残業しないと終わらないこと（ほぼ毎日サービス残業なこと） ・プライベートのときでも、いつでも保護者と子どもに会うかわからないから気が抜けないこと	・自分のクラスの子どもがなついてくれて笑顔がたくさん見られること ・大変だけど、子どもの成長が感じられるし、親から感謝されること ・やりがいがあるから、頑張ろうと思えること
	民営	・社協研修参加、他 ・法人内の自主研修参加	・補助職員には年1回 ・常勤職員は年2回の自己評価表に基づき評価をもらっている ・統計をとり、評価の低い所に対しての対応について検討し会議等で職員にフィードバックしている	・施設長を配置することにより法人としての保育の体制整備に努めている点 ・フリー保育士を配置することにより、時差勤務における保育のカバーを行っている点 ・全保育士を対象にした自己評価を行うようにした点 ・感染防止に対する予防策に力を入れている			・給料が少ない ・落ち着かない子どもへの対応の仕方	・子どもの成長を見られること ・人と関わる事が多いのでいろんな考え方が知れる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・月案作成、週 案作成		・成長していく姿、ともに一緒に過ごせること ・子どもたちの笑顔 ・「先生大好き」と言ってくれ信頼関係が築けた時		・おたより作成 ・週案作成 ・発表会衣装作り		・子どもの成長を間近で見られ、自分が母親になった時に役立つのかなとおもうこと
			・子どもの成長を他の保育士や保護者と喜び合える			・待遇改善等全く無く、仕事内容がどんどん増える事(最低基準を見直して欲しい)	・子ども達と楽しい時間を見つけられる事、多くの方々と知りあえた事
	・文化祭の内容を考えた	・腰が痛い時がある	・子どもの成長を感じられる		・ピアノの練習	・民間委託になり、お掃除の方が一日ではなく3時間しか来ない為、その部分を保育士が補うのだが、保育の仕事以外にも時間や労力がとられ負担である	・子どもとのふれあいが楽しく日々成長を見守ることができること
	・研修報告の作成	・現在の保育所に異動して半年、子どもと保護者との信頼関係の難しさ ・職場の人間関係	・子ども達の成長を感じられた時		・保育所内研修会の資料作成	・様々な家庭があり、保育所や保育士に求められるニーズが多様、複雑になっている事 ・正規職員での採用が少なく、非正規職員が辞めたり、転職したり、人材が育ちにくい事 ・子ども達が安全に過ごせる事が第一であるが、けがや苦情を恐れ活動を制限してしまう事がある	・子どもの成長を身近に感じ、保護者と一緒に共感出来た時の喜び

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・ 2者1択	・ 過疎により保育士を探す為苦労している		・ お遊戯会の縫物	・ 持ち帰りの仕事が多い ・ 書類が多い	・ 親と子どもとのコミュニケーションの取り方と知れる ・ 子どもの発達段階について知れる ・ 普段知らない病気の事や、感染、障害について実際に見て経験できたり学んだりできる
	民営	・ 研修報告会(3回) ・ リズム・歌などの学習会 ・ 年齢発達の学習会	・ 6カ月ごとに記入し提出、三段階で自己の評価 ・ 月案の反省時に簡単な自己評価を記入する				・ 保育が社会的、福祉的立場でどうあるべきなのか…、位置づけがわからないです	・ 子どもの成長を感じられたとき
	民営	・ 生花、習字、鼓隊、食育、わらべうた、カリキュラムなど		・ 行事のリーダーになった際は遅い時間の勤務からはずしたりなどの配慮をしています ・ 複数担当のクラスは勤務が固まらずどの時間にも一人は担当がいるよう勤務づくりをしています	・ お遊戯会の衣装準備 ・ 個人記録の作成	・ 職場の人間関係 ・ ピアノが上手く弾けない ・ 子どもをうまくまとめられない	・ いろいろな人との関わりがもてた ・ 社会人としての知識の幅が広がりはじめた ・ 子どもが自分を頼りにしてくれた	
	公営		・ 自己評価のチェックリストによる					
	民営	・ リスクマネジメント委員会(6委員会)				・ 出勤前、保育室の清掃、換気		・ 子どもの成長を毎日見られる事 ・ 子どもが自分の事を慕ってくれているのを感じた時 ・ 保護者に感謝された時

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・専門職としての資格の意味が国の方でなくしてきている（資格がなくても良いという様になってきている事） ・人を育てていく仕事だかこそ、今度の技術を学び知識を学んで来た資格をもった人が適切だと思う	・人が人を育てる現場の中で、自分自身も保護者、子ども、同僚から学んでいく事が何年だってもあり、人として成長していける事 ・この仕事が好きだから楽しい！！
		・仕事量が多い	・子どもの成長を間近で感じられる所		・保育記録を作成	・給料や手当てが安いこと ・休みの日も持ち帰りの仕事をしなければならないこと	・子どもたちから学ぶ、自分自身の姿を知れるところ ・子どもたちがたくさん感動をくれる
	・お遊戯会、衣装作り		・子ども達の成長を感じられる		・衣装作り	・保護者に伝えたいことをうまく伝えられない時がある	・子ども達の成長に関わることができる
	・書類の作成 ・保育の準備	・ピアノ演奏のレベルアップの為、練習は続けているが限界を感じることもある ・人を相手にする仕事から、ミスや失敗等からひどく落ち込んでしまう	・子どもが「大きくなったら保育園の先生になりたい」と言ってくれたこと ・児童福祉の分野でたくさん学べることもある				

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・週1回（金曜日）、夕方30分～1時間「リズムとうた」の研修をしている	・1年に一回年度末に実施	・早番の補助にパート保育士を朝2時間雇用している ・クラスの主任を4週8休～1日8時間勤務（週40時間労働として） ・クラスの副主任を4週4休～1日6時間40分勤務（週40時間労働として） ・延長保育担当2人のうち1人を11：30～19：10（週40時間）の固定勤務としている		・保育記録を作成 ・ピアノの練習	・子どもの成長を保障出来る保育が出来るか不安になる ・体力面や精神面で辛さを感じる ・自分がやることに対して反感を持たれる時	・子どもの成長を身近に感じることが出来る ・子どもに頼ってもらえること
	民営		・第三者評価を受けた中で自己評価に取り組み、報告書を受け取る	・保護者のニーズ、特別保育事業に配慮して対応しています				・子ども達の成果を間近で感じることができ、自分も一緒に成長していける ・子ども達から学ぶこともたくさんあり、様々な発見がある ・子ども達と関わる時間はとても充実し楽しい
	民営	・研修報告	・福祉サービス内容評価基準ガイドラインによる自己評価実施				・子どもをまとめることができない ・子どもの気持ちをわかってあげられないときがある	・子どもの笑顔を見た時、嬉しそうな時 ・子どもと何かを一緒になした時 ・保護者に「ありがとう」と言われた時
	民営	・描画・粘土・製作など保育に関わる事	・第三者評価基準に基づくチェックリスト					

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 保育記録の作成 ・ 雑巾縫い	・ 書類（月案、週案、日誌案等）が細く時間がかかる、持ち帰りが多い ・ 若手を育てていこうとしない、悪いところばかり見ている雰囲気	・ かわいい子どもたちと生活できること ・ 小さい頃からずっと育てて卒園させる充実 ・ 自分が母になった時に成長の把握などで役立つこと			・ 園の方針をなかなか実行できず（勉強不足）	・ 小さい頃の育ちがどれくらい重要かが分かった
	・ 作成準備 ・ 月類書類	・ 有給が使いにくい状況にあり、受診などで時短がなくなっている ・ 父兄と保育者との様々な面についての共通理解が難しい ・ 自分の保育感と違う思いを持っている保育士への接し方	・ 「先生が担任でよかった」と保護者に言ってもらえたこと ・ 乳児からの成長を誰よりもそばで見守ることが出来る ・ 自分が持っている感性を子ども達にも伝えていけること		・ 作成物の準備	・ 自分が子育てをしながら仕事をし、思うようにリフレッシュ出来る有給休暇がとれない（子どもの病気以外で）	・ 自分がやってあげることに対しての子ども達の反応や笑顔を見た時 ・ 子育ての中の親子育てについて共感出来た事 ・ 親から「先生が担任でよかった」と言われた時（自分の頑張りが伝わったと感じた）
・ 次の日が運動会の為準備、担当競技の手直し等		・ 持ち帰りの仕事（ONとOFFがいまい） ・ 有給がなかなか取れない	・ 子どもの成長を間近で見られる ・ 保護者や子どもからの言葉 ・ 保健的なものがしっかりとあるのでよい（福利厚生）		・ 運動会の準備	・ 自分の子育て経験がないため、保護者への説得力がない	・ 笑って過ごせることが多い ・ 子どもたちの成長していく姿が見れる ・ 自分で子育てするときに生かせるような気がする
		・ 仕事量の多さ ・ 時間がない	・ 子どもと接するのが楽しい ・ 将来役に立ちそう				

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・保育士各自の指導計画の自己評価と子どもの評価及び自分の年間の反省、評価を出し合い皆で読み解き評価、反省、改善につなげている					
	民営		・各自のチェックシートによる採点式(0、1、3、5)	・小さな定員規模には小さな定員規模なりの長所を活かすこと。例えば全職員が全園児・全家庭の環境を把握し、保育に臨むこと(クラス担任は自分のクラスのことに終わらない)		・行事制作の下準備	・自分の子どもの行事に参加出来ない行事もある(お互いの行事が重なるため)	・子どもから元気のパワーをもらえる ・研修があるため勉強になることが多々ある
	民営	・発達障害児支援研修	・チェックリストを作成し、年に一度自由記述にて実施している			・指導計画の作成	・言葉がけの難しさ	・子どもの成長をそばで感じることができる ・様々な感情を子どもと共有できること
	民営		・年に2回、保育総合研究会出版の新保育所保育指針に基づく自己チェックリスト100を使って行い、評価を園内研修で見つめ直し、次年の事業計画に反映させている	・なるべく平等になるよう個への負担を平均的にしている ・無理のない保育が出来るようパート職員を配置している				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・保育日誌の記入 ・保育教材の準備	・労働時間内で仕事（事務的なことを含む）が終わらない	・日々の子どもの成長を密に感じることができる ・子育て中の友達にアドバイスができる			・たくさんの知識や専門的な目標が日々新しくなったり、増えていたりするので、学んでいかなければならないことが多い ・人間関係	・子ども達の成長をおうちの方と共に見守り、喜びあえること
・トイレ、手洗い、うがい、仕事をはじめる前の準備（エプロンをつけるとか）	・月案の作成	・保護者にうまく子どもの様子を伝えきれてない気がする ・上司と保育に対する考え方が違う ・保護者からクレームなどはないが信頼や深いつながりは築けていない気がする	・1年目の時に副担だった子どもたちを3才児、年長でと主担としてクラスを持つことができ、無事に卒園させることができたこと ・年長をもったことによって、この仕事のやりがいに気付いた ・子どもたちと楽しく過ごせる、子どもがかわいいと感じる			・延長時間があること	・これからの時代の子どもたちと関わり、たくさんの笑顔と接することができたこと ・自分の子どもへの成長過程において、ヒントとなるものが得ることができた
	・作成物 ・記録等	・次々行事があり、アイデアを考えたり、持ち帰りも多くなりON、OFFがつきにくい	・子ども達の成長を間近で见れること		・不審者対策訓練の準備	・パソコンが主流になってきている中、使いこなせない ・腰痛がある	・子どもの笑顔に癒される ・悩んでいる事があっても、元気になれる
	・台帳 ・おたより ・カリキュラム ・会議記録	・子どもたちがまだ小さく急に体調を崩してしまうことがある ・書類等、勤務時間内に終わられないものを自宅でやる際、育児が終わった夜遅くが休みの日に家族に協力してもらえないとできないこと	・子どもと関われる仕事であること ・季節をきちんと感じられる職業だと思う				・乳幼児の成長の一瞬一瞬にたちあうことができる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・伝達研修（所外研修の伝達） ・OGARE（保育研修会）	・新保育所保育指針に基づくチェックリスト100 ・健康安全を維持するためのチェックリスト等を利用し自己の評価を年2回以上行っている	・勤務体制を組む際、以上児、2歳未満児の担任入れ替えをし、保育士としての技術のかたよりを防ぎながら、オールマイティに動ける保育士の育成を図っている		・次回行う製作の下準備		・毎日が充実している ・子ども達と共に成長できている ・人前で何かをすることが苦手でなくなった
	民営		・年2回自己評価表を利用し個々に記入してもらいます。その後施設長よりアドバイス又は面談の資料として使っています			・保育に必要な物の準備	・保護者との信頼関係	・子供達の成長を見たり感じた時 ・保護者との信頼関係を持てた時
	民営	・DVD視聴、乳幼児安全法実技訓練 ・ヒヤリ、ハット、自己防止策の検討等	・自己チェックリスト表を活用し、年3回振り返りを行う	・病後児保育の急な申込への柔軟な対応を行う ・休日保育勤務の振り替え、公休との重複を避ける ・園児の人数に合わせた職員配置を行う		・未満児用午前おやつ準備 ・実習生実習記録の添削	・製作の準備や装飾など帰宅後やらなければならない仕事も多いということ	・子どもの成長を間近でみえること ・子育てに関する知識等得られること
	公営		・独自の様式を使用し、保育の振り返り（自己評価）を記録し、毎月1回発表し合っています			・製作の準備（教材発表）	・子どもへの関わり方で上手くない時 ・保護者との信頼関係づくり	・子ども達が親しんでくれたこと ・子どもの成長を間近で感じられたこと ・保育が上手いき、子ども達が楽しんでくれたこと

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
					・子どもの作品の整理整頓 ・保育計画作成 ・保育記録	・実質、家庭で仕事をしない仕事量があること	・子どもたちと触れ合ってたのしい ・人としての基本を改めて学ぶことが多いこと
	・製作		・育児も役立つ(勉強になることが多い) ・子ども達の成長を近くで見て、手助けができること		・製作などの仕上げ等		・子ども達の成長を共に共感し保育できる事 ・卒園してからもOBなどで交流があり、成長が見れてうれしい
	・子ども製作の準備	・家庭に持って帰ってくる仕事が多く、休日何かしらやることが多い	・子どもの成長を間近で見ることができる ・子どもから学ぶことがたくさんある			・自分より年上の先生があまりおらず、保育を学びたくても学べない(自分に技術がたりない) ・保護者に対して、伝えたいことをうまく伝えられない ・ケガが心配で思いきり保育できなかったり心配しすぎてしまう	・子どもたちと過ごすこと、笑顔でいられる ・子ども達と季節の移り変わりを共に感じられる、また気付かせてもらえる ・素敵な仲間(保育士)にめぐりあうことができた
	・遊戯の振り付けを考える ・参観日の日案作成 ・遊戯披露会場(ステージ)の下見	・困った際には、その都度教えて下さったり、支えて下さる上司、先輩、同僚がいるので、現時点で困っていることはありません	・子どもの成長を間近で見守り、喜びを共有することができる ・こちらの言葉かけや関わりで、子どもが成長する姿をみることができる		・祖父母参加についてのデイリープログラムを書く		・子ども達と一緒に取り組んだことがあまり、1つの形となった時の達成感を持てた時 ・成長する姿を日々関わっていく中で、目にし感動できること ・毎日が変化あり他の仕事では味わえないやりがいのある仕事と思う

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		子どもの活動や状態に対する評価と保育士自身の保育や援助環境設定等に対する評価を総合的に判断し、年間の評価する			事務	- 保護者とのかわり方 - 事務整理の時間が少ない	- 子どもの成長を見る事ができる - いろいろな人とのかわりがある
	公営	- 保育課程の見直し - 運営方針の検討	保育内容自己評価チェックによる	臨時保育士を活用しながら、常時2名以上の保育士数を確保している				
	民営		年度末に各自反省しまとめたものを園長に提出をしている	- 乳児は担任間でのみでローテーションし、子ども、保護者の対応に配慮している - 各クラス担任、グループリーダーなどが経験年数の浅い保育士に指導しながらできるように配置 - 一日の動きを全員で把握できるよう、主任、リーダーを中心に計画をたて確認できるようにしている		日誌記入、書類記入	- 退勤後や休日も持ち帰り仕事が多く、大変な時がある - 家庭との連携	- 得意な分野を發揮できる - 自分自身も成長できる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・現在3歳児20人を1人で受け持っている。最低基準20：1の基準内であるが正直手がまわらず大変である（支援を必要とする子ども2人いる） ・自分の保育室に朝7時～夜7時までずっと子どもがいる（いのこり部屋の為）夕方1時間のみ空くが、夕方の保育当番になるとその時間もない、事務や掃除がままならず、忙しくて休憩時間もとれない、日誌、指導案は持ち帰りにならざるを得ない	・子どもの成長が目に見えてわかること ・成長の喜びを子どもや保護者とわかちあえること
	・個性観察記録	・個別の保育と集団保育のバランス ・気になる子への対応	・子どもと過ごすことが楽しい ・1年間の成長をふりかえった時 ・保護者から「先生で良かった」と言われたこと		・園だより作成	・体力の低下 ・保護者との意思の疎通の難しさ	・一人ひとりの成長を感じることができる ・人間関係が広がった ・物事を前向きに考える事ができる
	・保育記録、計画 ・教材研究	・持ち帰りの仕事や時期によって更に事務的な仕事が増え、時間に余裕が持たなくなる ・職員の入れかわりが激しいこと	・子どもの成長を感じられたとき ・保護者の方と子どもの成長を共有できたとき ・卒園した子が親しみをもって挨拶をしてくれたとき		・書類整理	・職場の人間関係 ・書類の多さ ・帰ってから仕事に追われる	・子どもと一緒にいれることが楽しい ・子どもの成長を親と共に喜び合えるところ

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・食育計画（祖父母、小学生も一緒に野菜作り、収穫野菜でクッキング）	・市販のチェックリストを利用している	・一年間の勤務表を作 ・休暇の所にはフリー保育士が対 ・保護者の対応、ニーズによりできるだけ対応できるよう心がけている			・保護者との関わり方	・大好きな子ども達に先生と名前を呼ばれながらかけ寄ってきてくれた
	民営		・全国社会福祉協議会発行の「第三者評価基準の解釈と運用について」を参考にしながら園独自で行っている 試行中・検討中というレベルである	・保育士は基準定数より2名程度多く配置 ・掃除、保育の片付け、洗濯、庭の手入れ、畑の仕事等を担当する職員を5名保育補助員として雇用し、保育士の労働軽減をはかる ・パート職員、臨時職員の何人かでフレックス勤務制があり、時間により職員人数の調整を行う		・ポスター作り	・人間関係（上司との） ・帰りたくとも帰りづらい雰囲気 ・他の保育士との意思疎通ができないこと	・保護者に感謝されたこと（保育や行事を通して） ・子ども達が「せんせーい」と寄ってきけること ・子どもの成長をみれたこと
	民営							
	民営	・月1回研究テーマに沿って園内研修をしている	・年2回決まった様式に記入している	・各クラスなるべく複数担任制をとっている ・時間差出勤なので、人数に合わせて他のクラス担任が、保育士が少ないところに入りサポートしている ・勤務時間が重ならないよう当番は平等になるよう工夫して振り分けている		・保育記録の作成	・地元なのでよく知り合い（保護者も含）に会う	・積極的に色々な事に挑戦するようになった ・自分の興味や趣味の幅を広げることができた

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 週案	・ 保護者との連 携	・ 子どもとのふ れ合い、成長 を感じることに		・ 保育記録（児 童表）	・ 勤務体制がき つい、持ち帰 りの仕事が多 い ・ 保護者が保育 園まかせが多 い	
	・ 日誌			・ クラス編成変 更のため、保 育室の配置変 え	・ 保育日誌・指 導計画記入	・ 上司との人間 関係 ・ 園の行事が多 く、行事の規 模も大きいた め、休日出勤 保育をぬけて 準備をしない こと ・ 子どもの人数 に対しての保 育士の人数が 不足している まま保育をし なければいけ ない日がある こと	・ 子どもの成長 を感じられる 事 ・ 卒園児の活躍 を知りうれし くなる
	・ 会議のメモ書 きの清書	・ 保護者との信 頼関係作りにつ いて			・ 会議のメモ書 きの清書		
	・ 保育記録	・ 子どもの増加 に伴う、居残 り保育児の増 加 ・ 子どもの増加 に伴い、保育 室が狭く感じ る ・ 人間関係の問 題	・ 様々な人との 出会いがある ・ 保護者と子ど もの成長を喜 びあえる ・ 職場探しの心 配をしなくて もよいこと		・ 保育教材作成		

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	外部で受けた研修の内容により、園内で復命をしてもらいながら研修	各クラスの保育日誌に自己評価の欄を設け、そこに記入					
	公営	- 体力づくりについて - 救命救急講習	所長と主任で評価項目を決め、それについて各自で記入したり、職員のパート毎に相談して記入してもらう、それについて職員会議で話し合い共通認識を持つ			指導計画立案(下書き)	責任の重大さ、事務書類の多さ等で、精神的に時間的に余裕のものがなくなる時がある	- 子ども達と触れ合う中で、自分自身も元気になる - 子ども達の成長を見ることができ、やりがいを感じる
	公営		- 年度途中チェックリストの活用と話し合い - 年間反省の中での項目に分かれた自己評価を行っている		遠足下見	- OJT研修の感想記入 - 次の日の活動のおさらい	- それぞれの子どもの特性に合わせて保育する難しさを感じる - 細やかな配慮すべき点についてまだまだ気付いていない	- 子どもの笑顔がみれること - 子どもの成長がみれること
	公営		自己評価チェックリストを作成し、実際に使用してみても内容を検討	それぞれの時間帯に児童数に対する保育士数を必要数配置する		- 運動会、演技図作 - 保育所だより作成	- 保護者とのコミュニケーション（日々の世間話などあまりできない）について - 臨時職員等との連携を図ることの難しさ - 忙しさに追われ満足いく保育ができていないということ	- 子どもの成長の瞬間に日々立ち会えることを実感できること - 自分のクラスの子どもたちと深く関わり信頼関係を築いていけること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・運動会の準備		・腰痛等、体の不調 ・病院、銀行等がなかなか行けな ・金銭的に余裕がなく一人暮らし、自立が難しい	・子どもの成長を見る事ができうれしく思う		・復命書の作成 ・行事の資料作成		
		・事務量の多さ ・体のきつさ(肩こり)	・子どもに接する楽しさをとて感じ、自分も笑顔ですごせること ・変化の大きい時期に成長を肌で感じられること ・自分の環境の作り方、関わりの工夫で子どもが変化した時の嬉しさを感じられること(保護者もとても喜んでくれた時)		・保育教材準備 ・保育事務 ・保育教材準備	・忙しすぎる、休むひまがない ・家事、子育てが思うようにできない、おろそかになっている ・休みの日も日ごとの事を考えたり仕事をしてしまう	・やりがいがある ・子どもの成長にかかわれる事が楽しい ・学ぶ事が楽しい
					・保育教材準備 ・事務整理		・人格形成、成長発達の援助ができること ・保育を通じて社会情勢を知り、社会に貢献できること
	・保育教材の作成		・資格を生かし、自分の好きな「子ども」のそばで働けるから ・子ども達のたくさんの笑顔に会える		・勤務表(シフト)作成	・年齢を感じ、身体がきつことがある(腰痛等) ・子どもから目を離せないため事務の時間がない	・子どもたち成長にかかわることができる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・ 幼小連絡会 ・ 幼 児 施 設 (町) ケース会 (次年度に向けて・保健師参加による)	・ 町の三保育所で様式を統一し、各自記入し、所長へ提出する (反省点を見出し次へつなげていく)	・ 正職より臨職の人数が多くなり細目な打ち合わせを行っている ・ 所長、主任2名が事務的な量が多くそれぞれの役割をしっかりと受け止め対応している ・ 子どもの健康面には特に気をつけ登所、降所時、伝達をしっかりとするようにノート等を用いてもれがないようにしている ・ 朝の会を毎日10分間行い、本日の連絡を全員に行き届くように行っている※その他色々ありますが、4点程度にします				
	(株)	・ ヒヤリハット、ケガ報告/研修報告 ・ 合同研修会 (系列園) 等	・ 毎月1回、保育、保護者対応、職員間連携等について記述式の書類提出 ・ 年2回、自己評価チェックリスト記入			・ 児童票要点まとめ ・ 壁面選び	・ 4月から加配で保育を行い、代替があまり入ってこない ・ 2年目の負担が大きい	・ 子どもの成長が見れた瞬間 ・ 絵本を読んだり、出し物をした時に、子どもや保護者等が笑顔になってくれた時
	民営	園長が講師になって、保育課程や安全管理マニュアルについても行っています	・ 年2回保育士、給食担当で保育、給食のまとめを方針、目標にそって行い、管理部がそれらをまとめて、保育園としての自己評価を行っている。保護者へのアンケート調査も行い、自己評価に反映させています	・ 保育時間が長いお子さんが多いため、細かい交代制だけでは対応できないので、朝と夕方のパート保育士を入れています	・ 運動会準備	・ 運動会準備	・ 生活が苦しい ・ 子どもとの関係に行き詰ってしまうとき	・ 子どもの成長を直に感じることができる ・ 自分自身を見つめ直すことができる ・ 子どもに必要とされ幸せを感じる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・ 大好きな子ども達と関われる ・ 子ども達の成長の援助ができる		・ 教材準備	・ 障害児が増えてきているのに対し、環境(人的も含む)が整っていない ・ 十人十色でその対応に苦慮するところがある(特に保護者) ・ 仕事長が勤務時間内に終えられないことがある	・ 日々、子どもの可能性や成長が感じられる ・ 同じ母親として保護者と共感できる部分がある ・ 色々な子どもや保護者地域の方と出会い、私自身が成長できる
	・ 週案作成	・ 保護者対応 ・ 行事への取り組み	・ 子どもの成長を感じた時 ・ 子ども達と笑っている時間 ・ 保護者も含めて沢山の人間との関わり		・ 運動会用書類作成 ・ クラスだより作成	・ 保護者対応の難しさ ・ 後輩の指導の難しさ ・ 持ち帰りの仕事	・ 幼い頃からの夢を叶えられた ・ 子どもの成長を見守りつつ自分も成長していける
		・ 私生活と仕事の区切りがつかない(つけにくい、家でも明日の事を考えたり仕事したりなので) ・ 経済的な面、仕事内容に対しての給料に不満を感じている			・ 保育教材を作成する ・ 保育記録	・ 勤務体制 ・ 上司にうまく伝えることが難しい(言いたい事があっても言えない)	・ 子どもの(大人も)色々な気持ちがわかるようになった(言葉を出さない子どもたちも含め)それがすごく大切なことだと学べた

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	財団法人	・フロー会議（クラス別担当者会議） ・所内研修（全職員参加テーマ別会議）	・月、週日案に自己評価を記述している	・研修・会議は午後6時過ぎから実施し時間外手当で対応している ・職員の休暇や出張時はフリー保育士、パート保育士をあてています ・どうしても保育に穴があきそうな時は60歳で退職した保育士に保育を依頼しています		・保育教材の作成	・行事などの保育教材の作成や出し物など若い先生が担当することがほとんどで負担が大きい ・有給をとりづらい	・子どもの成長をそばで日々感じることができる ・子どもとの関わりが楽しい
	民営	・放射能について ・シルクマネジメントについて	・園独自の評価方法で自己（本人）、上司、同僚からの評価を総合して行う	・補充の保育士をなかなか集められず、工夫できない		・事務的な仕事	・家での仕事が多い時もあるので、将来結婚して家庭を持った時仕事と家庭の両立ができるのか不安に思う ・短大時代奨学金を借りていたので今の給与では生活がきついです	・毎日大好きな子どもたちと一緒に過ごせること ・日々子どもたちの成長を感じることができ、とてもやりがいを感じること
	公営		・チェックリストを使って、年度途中、年度末、年2回自己評価を行っている	・子どもの登、降所、人数に合わせて職員の勤務体制を柔軟に行っている			・それぞれに保育観があるためチームで保育することに難しさを感じる	・様々な面で自分も成長できる
	公営		・一年のうちで、保育の区切りとなる9月を自己評価の時期として選んで行っている前期、後期（2回） ・臨時職員5Hの有資格者はもちろん、無資格の職員にも行っている ・自己評価としての今後の自分の課題（結果反省）を会議にて話し合っている	・早朝や夕方の保育室を子どもの人数や子どもの年齢によって、変えたりしている（保育の体制） ・臨時職員は7H勤務のため、5Hの職員（臨時）を早番、遅番としている				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 保育教材の作 成	・ 年齢とともに 体力的にきつ くなってきて 保育の内容が マンネリ化し ていきている ・ 保護者からの 過剰な期待	・ 子どもの成長 を感じられる こと ・ 輝くひとみ、 大いなる希望 がみられるこ と		・ 保育記録	・ 気になる子ど もがいるが集 団をまとめな がらの保育の 難しさを感じ ・ 所内での掲示 板やおたより の作成、行事 の製作物など 若い保育士に 全て任せられ、仕事量が多い	・ 子どもの成長 が見られる ・ 子どもならで はのはそうや 予想外の考え などに驚いたり 喜んだりでき る
	・ 日誌書く ・ 月案考える	・ 家庭もあるので 両立が難しい ・ 職場だけでは 時間が足り ず、家に持ち 込んで仕事す る場合が多い	・ 保育が楽しい と感じながら 働けること		・ 日誌 ・ 次の日の準備	・ モンスターペ アレンツ的な 保護者が時々 すごい	・ 子どもたちと 一緒に成長で きること
	・ 保育記録を作 成	・ 保護者のニー ズにこたえら れない時	・ 子ども達の反 応や成長を実 感する時		・ 指導計画(月) 見直し、作成 ・ 指導計画案作 成(行事) ・ 個人記録整理	・ 心身共に疲れ ている	・ 子どもと過 ぎす時間が楽 しい
		・ 時間が足りな い ・ 書き物が大 変、負担すぎ ・ 休憩時間な い	・ 仕事が楽し い(子どもと 接している時 間) ・ 良くも悪くも 一期一会 ・ 子どもとの出 会い ・ 人との出会い			・ 仕事内容(書 き物が多すぎ る)	・ 子ども達の成 長している側 で一緒に感じ られること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働いて 困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営	・食育について ・指導計画指導案について	・園独自の自己評価を年2回しています	・平等になるよう、回数を検討している(早番、遅番)				
	民営	・そのテーマに添った継続研修	・チェックリストで自己評価	・子どもの登降園の実情に合わせて職員配置を行っている			・書類の書き方が難しい ・保育などに対してアイデアが出てこない	・毎日子どもたちと一緒にいることができる ・母親になった時のための勉強になる ・子どもたちの笑った顔を見ると元気になれる
	民営	・園外研修報告	・評価表にチェック ・反省、話し合い	・未満児、以上児の組み合わせ、正職、非正規職員の組み合わせ、バランス			・病気などの知識の少なさ ・持ち帰ってやる仕事が多い	・子どもの成長を身近で見守れること ・子どもとの触れ合い ・保護者と子どもの成長を一緒に喜べること
	民営		・毎年、毎月の計画、週の計画に保育についての自己評価 ・個人の毎月の自己評価 ・年(個人)の自己評価	・保育士を基準以上としている(採用) ・パート保育士に説明し、納得を得て、時間の調整を図ることがある			・その日その日の保育をすることが精一杯で、翌日の下準備や書き物、諸々の仕事で勤務時間内ではできず、家庭に持ち帰ることが多くなること ・時代の変化から子ども以上に保護者への対応が難しくなってきたと感じる事(本当の子育て支援とは何なのか…) ・病気を沢山する時期なのでその対応	・子どもの貴重な成長を毎日見れ、喜んだり、笑顔になれること ・沢山体を動かしたり、声を出して笑えることが多いこと ・行事や給食があることで、季節感を感じ、充実した一年を過ごせること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・ 保育士間の連 携に必要な担 当児の情報交 換、共通理解 の確認など		・ 保護者との価 値観の差によ る、保育のあ り方の違いを 感じる ・ 子どもにとっ て良い方向性 を保護者に伝 えられないこ と	・ 子どものひと つひとつの成 長に関わって いけること ・ 子どもと触れ 合いながら心 から楽しんだり、悩んだり、共に成長できること			・ 親とのコミュ ニケーション がうまくとれ ないとき ・ 専門の相談を 受けてほしい 子の親にうまく進めていけ ないこと	・ 楽しく仕事が でき笑顔でい られること ・ 子どもたち一 人ひとりの成 長を感じられ ること
	・ 児童表の確認	・ 気になる子ど もの保護者へ の対応	・ 子どもたちの 成長を側で見 届けられるこ と			・ 他の職員との 意識の違いな どがある	・ 沢山の子ども 達、保護者と の出会い
	・ パースデーカ ード作り ・ 月案	・ 不安感の強い 保護者とのコ ミュニケーシ ョンの取り方 ・ 腰の調子がよ くないこと	・ 好きな子ども と毎日一緒に いられること ・ 子どもや保護 者と接する中 で、人として 大切なことを 学んだこと ・ 毎日大笑い できること	・ 連絡ノート等	・ パースデーカ ード作り	・ 保護者との意 見の相違 ・ 世間の保育士 に対するの評 価の低さ ・ 保育の通常業 務に加え、書 きものの多さ と忙しさ	・ 子どもの成長 (様々な)を 共に喜びあえ る ・ 慕ってくれる うれしさ
	・ 指導案作成 ・ 書類整理 ・ 議事録の記入		・ 毎日違った子 どもの姿に出 会えること		・ 個人記録（出 勤前） ・ 個人記録（出 勤後）	・ 就業時間内は 子どもと関わ りが目が離せ ない為、持ち 帰り仕事にな ってしまう ・ 勉強すること や書き物がた くさんあり、 家でも気が休 まらない	・ 子ども達の成 長に触れるこ とができ、喜 びややりがい がある ・ 子どもからの 信頼

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・年度末に行っている	・以上児クラスや未満児クラスの職員がかたよって不在時間を作らないようにしている			・音楽全般	・子ども達と触れ合える
	民営	・日誌、児童票を基にした記録のとり方、子どもの見方、捉え方について	・各々チェックリストに基づいたり、日々の保育の振り返りを行い、保育の質の向上の為、職員相互の共通理解を図る	・年令別保育にこだわらず異年齢混合保育等を行い、子ども相互の関わりを深めるようにしている ・合築施設D.S.の利用者との交流を持ち、人間関係の視野を広げるようにしている				・子どもと共に生活が出来る事(子どもから夢、元気をもらえる)
	公設民営	・子どもが主体的に遊べる環境づくりと適切な援助の仕方	・チェックリスト保育士篇、園長篇	・保育士の時間外勤務を減らす為、3名のパートを16時～19時まで頼んでいる			・平日休みがあまりないため、通院などが困難だということ ・休日外出する際、保護者や子ども、同僚に失礼な姿を見せないよう常に気遣わなければいけないこと ・流行りの病気や感染症にいつも気を付けなければいけないこと	・子どもとの信頼関係が日に日に築かれていき、自分を頼りにしてくれていると感じることが出来ること ・優しい先輩、尊敬できる先輩と一緒に仕事ができていること ・毎日充実していること
	公営	・公立保育園合同研修 ・公立民間立保育園合同研修	・能力評価を行っている	・交代制なので伝達をしっかりする		・保育教材作り	・保護者との関わり方 ・正職と臨時の人間関係	・やりがいがある ・毎日が楽しい ・社会人として保育士として多くのことを学べる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・ 上司との関係 ・ 複数担任（3人）で内1人は持ち上がりだが、未だに子どもたちが落ち着かずケガも多い ・ ピアノ	・ 子ども達の成長を近くで見れること ・ 子ども達が嬉しい時、悲しい時などそばに来てくれること		・ 月案の作成	・ 仕事内容や研修が多い ・ 勤務時間内に仕事が終わることができない ・ 行事が年々増えている	・ 子ども達の日々の成長を間近にみられるころ ・ 自分の子育ての勉強になる
							・ 日々子どもの成長に接することができる
・ 保育前の準備や身支度	・ 書類に目をとおす ・ 事務的な仕事	・ 勤務先の行事と子どもの園の行事が重なることが多い ・ 残業や持ち帰りが多い	・ 子育ての悩みを相談できる人がたくさんいる		・ 保育計画の作成	・ 書きもの等は、勤務時間内ではできない事が多く、家に持ち帰って仕事をしていること	・ 子ども達と過ごす時間は楽しい！！
		・ 自分の保育技術をもっともっと向上させたい	・ この仕事にとってもやりがいを感じているため ・ 周りの人間関係にも恵まれていてとても楽しく仕事できているため		・ 運動会について ・ 遠外保育（シルエットについて）	・ 保護者ニーズに対応すること ・ 子ども側にたって、保護者に対応する困難さ ・ 人員不足による保育と事務の負担	・ 子どもの成長を見ることが出来る ・ 子どもと共に保育を計画し、つくり上げていくこと ・ 保護者と子どもとの成長を喜び合えること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・臨床心理士巡回訪問（春・秋2回ずつ）	・市立（法人も含）保育園、保護者会連合会で毎年アンケートをとっている。施設設備や安全面、保育等々について、率直な意見が出されるので参考にしている	・発達支援の必要な子ども（アスペルガー）が夜眠れないため、ロザレム錠を服用。園では午睡をさせない為、その間職員が交替で保育。職員の休み、休憩、会議、外部研修等々と様々重なる様工夫が必要。日々時間調整を確認している		・週案作成	・腰痛	・やりがい ・なりたい職業
	民営		・毎年、自己目標を設定し年度末に自己評価をする	・低年齢が多いので朝の時間（7：30）夕方の時間（18：30）には必ず担任がいるように子ども達が不安にならないように、朝夕の合同保育を避け、夕方の6：00以降しているから一カ所の保育室で合同にしている				
	民営	・幼児への水泳指導法を学ぶ		・年齢別保育を主体としながらも、異年齢保育に取り組んでいる ・5パターンの勤務体制になっている、正職と臨採、経験年数等を配慮してペアを組んでいる				・子どもの成長を一番近くで感じられること ・子どもたちとの信頼関係ができて笑顔を見せてもらえること
	公営		・新保育所保育指針に基づく自己チェックリスト100を用いて三段階に評価している			・保育所だより、原稿作り	・困っていることはないが、自分に合っているのかどうか不安になることがある	・子どもたちの成長を見たり新しい気付きがあったり楽しいと感じられること ・人前に出たり話したりすることに少しずつ抵抗がなくなったこと

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 保育教材の作成	・ 手のかかる子どもが増えていて対応に困るときがある ・ 時間におわれて仕事をしていて気持ちの余裕があまり持てない ・ 勤務時間内で終わらず、家庭に持ち帰る仕事が多い	・ 子どもの成長を間近で見ることができやりがいがある ・ 行事や保育内容から季節を感じることができる ・ 日々、新しい気づきや学びがありどんどん自分が成長できる			・ 早朝・延長保育のための、早番遅番勤務と家庭の都合のやりくりが大変	・ 専門職として奥が深く、おもしろいやりがいがあること ・ 子どもが自分を頼りにしてくれること、笑顔 ・ 自分が心をつくって関わったことで、子どもや保護者が良い方向へ向いてくれたこと
					・ 総括パソコン打ち ・ 壁面装飾作り	・ 持ち帰り仕事が多いこと ・ 腰痛	・ 好きなことを仕事に持てること ・ 保育している子の成長を目の当たりにした時のやりがい
		・ 仕事を家に持ちこまないと消化できない	・ 子育てにかかわらず様々な分野の情報を得られること ・ 年齢に関係なく、同じ保育士としての仲間ができたこと		・ クラスだより ・ 部会ノート作成	・ 職員間の連携、共通理解 ・ リーダーとしての役割	・ 子どもと過ごす時間が楽しい ・ やりがいがある ・ 子どもの成長が見られることがうれしい
			・ 子どもの成長 ・ 仕事としてのやりがいときびしさを知った ・ 専門職としておもしろい				・ 子どもと共に過ごせること ・ 思いを共有できたこと

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営					・ 行事の準備	・ 自分の時間がない	・ とてもやりがいがあるし楽しい
	公営	・ 幼保小、合同研修、県南で研修会、自主研修 ・ 郡山地区研修会 ・ 幼児教育検討会 ・ 障がい児保育研修（カウンセリング事業） ・ 所内研修（6回）		・ 勤務体制については児童の登所、降所時間のデータによりローテーションの見直しを行うようにしている ・ 朝、夕、保護者とのコミュニケーション連絡事項を伝えやすくするよう、早めにクラス別、保育が可能になるよう工夫している（保育所と保護者の連携を図る工夫）			・ 保護者との信頼関係 ・ 日々の保育	・ 子ども達の笑顔が毎日みれる ・ 保護者に「ありがとう」と言われたこと ・ 行事後の達成感
	公営	・ 研修報告 ・ 研修に参加した職員が職員会議などで報告し伝達していく	・ 自己評価を各年齢により設け、それにそって各担当が記述し、全体で話し合っている	・ 片寄らないよう平等にすることに心がけている				
	公営							

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・個別計画作成	・職員同士の人間関係 ・子どもと一緒に過ごす時間が長いので、事務仕事は保育所内であまりできない	・子どもの成長を身近に感じる事ができるやりがいのある仕事		・日誌	・保育を理論で裏付けして立証していくことが苦手であること	・子どもの成長を喜びとして感じる事
	・保育教材作成	・保護者への伝え方	・子どもの成長を感じられる ・子ども達の笑顔が見られる		・保育教材作成	・保護者との共通理解が難しい事	・子どもの成長、発達が見られた時
						・年齢による肉体疲労	・毎日が新しい発見で楽しい
		・保護者とのコミュニケーション	・子ども達と同じ事を感じられる喜び				

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・ビデオ等での接遇研修	・混合保育：所長もクラス担任の数に入っているので時間を効率良く使うようにしている ・早番遅番を職員だけではできないので保育パートを使用している					
	民営		・年2回自己評価実施及び面談1回実施	・合同保育も未満児のみ又は以上児のみ行ったり、18：00以降は全クラス合同となっている			・給料的に安い（民間の保育所は似通っている）	・子ども達の成長が目に見えるのでとても嬉しいと思う
	民営	・保護者からのアンケート結果を分析する研修 ・怪我などの原因・改善について話し合う	・保育評価表、人事考課を定期的に実施し、管理者との面談で評価している	・2人の主任保育士で未満児クラス統括、以上児クラス統括で質の向上を図る取り組みをしている		・児童表作成	・からだ（腰痛）に不安を感じるようになってきた	・子どもの成長が感じられた時
	民営	・保育所保育指針の勉強会 ・各種マニュアルの勉強会	・福島県福祉サービス第三者評価用自己評価	・保育の役割分担制				・子どもの成長過程に関わって日々の成長を身近に感じられる喜び ・自分自身、今後の子育ての勉強になる。又、先輩方から社会性、人間性を学ぶことができた。 ・子どもから学ばせられる事も多く、子どもの身近にいる者として、どうあるべきか考えさせられる。

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・震災があっても市の対応が不十分で保育がかなり不便である ・日々の保育が精いっぱい月案、児童票、製作物を作る時間がない ・人員配置が厳しく職員が大変な思いで働いている	・日々、子どもの成長に関われること ・楽しい毎日が送れること ・我が子や孫の子育てに余裕があること
			・幼小の頃の夢であり、思いが伝わる時がやりがいを感じています			・風邪や感染症等が流行すると自分までうつってしまう	・子どもたちの成長が見れること
	・日誌記入	・問題行動をする子へのかかわり方（コミュニケーションの仕方） ・保護者と共通理解を持ち子どもの成長を見守っていくこと ・苦手なピアノを弾くこと	・子どもたちの成長がみられること ・子どもたちが「先生」と言っって様々な場面で共有できること ・子どもに教えられることも多く反省しながら自分も成長できること			・手首や足腰に痛みが出て来ている ・職場の人間関係	・子ども達と過ごせる事 ・子ども達や保護者に「先生」と慕われる事
		・書類の多さをもう少し考えて欲しい ・書類を行う時間もない	・子どもの成長が見られる事 ・人と人のつながりを感じられる		・片付け ・おむつ捨て、保育室整理他	・保育のみへ集中できない ・上司からの信頼を感じない時がある	・子どもの成長を感じ、感動できること ・子どもの悩んだり、困ったりしていることを、わかってあげられた時の喜び ・働く方のお役に立てている事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・特に意識していないが、保育環境の整備に力を注ぎ、外部研修なども積極的に行っている。園児募集の時も順調に集まり、一日一日の保育の積み重ねの結果とっており、さらに努力してより良い保育園を目指している	・バス2台を運行しており、保育士が勤務体制を組んでいる ・園長の下で主任保育士中心となって保育活動を行っている ・保育園が経営して30年になるが、途中退職者が少なく若返りの問題があるが、保護者は安心しており、卒園した園児の子どもが次々と入園している				・子どもとたくさんふれ合える ・子どもの笑顔がたくさんみられる
	公営		・毎晩実施の保育会議にて口頭発表やや、保育の評価を記述している			・研修報告書まとめ	・子どもを抱くことが多く、腰痛がひどいことがある	・子どもの成長を保護者とともに感じ支えられるから
	公営	・自己評価を行い、そのことについての話し合いを持つ	・年2回行い、自己評価を基にグループごとに話し合いを持つ	・早番から各クラスへの連絡、遅番から次の日、各クラスへの連絡、伝達等様式を用いもれないようにしている		・事務的な仕事	・日焼け ・体調管理が難しい（子どもの流行症状がうつる）	・子どもの成長を近くで感じられる
	公営	・避難訓練計画の検討 ・ケガの処理の仕方、おきない工夫	・チャレンジシート方式、上司等の面談や自己啓発	・早番7:00～16:00、中番7:45～16:30、遅番9:45～18:30他に臨時の早、遅番の保育士を御願いし振替休時の職員の代替保育士を御願いしています				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・子どもの成長 を見る事がで きる ・行事の時に なご卒園児が顔 を見せてくれ ること			・保護者とのコ ミュニケーシ ョン	・子どもの成長 を感じられる こと ・特技をいかせ られること
		・嘱託保育士な ので給与がま あまである こと	・子どもと笑顔 でいられるこ と			・事務仕事の多 さ	・子どもの成長 を間近で見ら れること
・食事する時間		・子どもとの遊 び方 ・保育士として の未熟さ	・子どもの成長 がみられる ・子どもの笑顔 に癒される ・保護者に喜ば れた時			・担任制なので 思った所に休 みがとれず、 通院などが難 しい（休暇） ・保護者各々の 育児に対する 考え方に合わ せるのが難し い（保護者と の人間関係） ・保育士間での 人間関係	・子どもと気持 ちを通わせら れた時の喜び が大きい（子 どもと過ごす 時間の楽し さ） ・担任制なので 自分の持ち味 を発揮できる
	・保育記録、指 導計画の作成		・日々の生活の 中で、子ども の成長が少し でも見られた 時（保育者が 指導している ことなどの思 いが通じた時） ・毎日子供達が 所に来ることが 楽しいと言っ てくれた時 ・喜怒哀楽を共 に共有出来る こと			・子どもの（保 育所）行事に 職場の行事が 重なり行っ てあげられない	・子ども達の成 長を見られる こと ・子ども達に手 をかけた分、 成果が見られ ること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営	・ 幼保小の活動	・ 評価用紙にて 評価したものを 会議にて話し合う					
	公営	・ 救急法（外部より）、病気、怪我の対処について ・ 紙皿シアター作成 ・ 年齢の発達のポイント	・ 会議での評価の検討、問題点の話し合い等 ・ 未満児会、以上児嘉一、クラスでの週のミーティング	・ 早遅番の人数の把握 ・ 感染症発生時の体制づくり ・ 安全面の確保を一番に考えています ・ 早遅番時の保育の充実				
	公営		・ 保育日誌、自己評価チェック	・ 保育士の半数近くが臨職なので、早番、遅番、土曜保育も必ず正職が入るようにしている				
	民営						・ 困っていることではありませんが、保育園は複数担当が多いので、一緒にクラスを何名かの保育士でみていくのはチームワークが重要であると感じました	・ 子ども達とともに成長していること ・ 子ども達の成長を近くで見守ることができること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	- 翌日の遠足の持ち物、スケジュール確認 - 保育日誌記入		- 毎日が発見・驚き・笑いとても充実している、新鮮 - 子ども達から元気ややる気をもらうことが出来る		指導計画	- 保護者からの悩みの相談に適切に応えられているかどうか - 教材を作成しもっている数が少ない - 肩こりなどひどくなっている	- 子どもの成長の手伝いができること - 子ども達が出来るようになった時、とても嬉しそうに笑顔を見られた時 - 保護者が信頼して相談してくれ少しでも悩みが解消された時
		- 病気やけがの対応に力不足を感じる - 体調を崩しやすくなってしまう	- 子どもが成長する姿を間近で見て共に喜べること - 体力的につらい時でも子ども達の笑顔で励まされ頑張れる - 親以外に信頼できる存在でいれること			- 臨時職員の割合増 - 新人職員の指導	- 自分の特性を生かした - 子どもの成長を時間できやりがいがある
卒園児の小学校運動会の日程を調べていた、小学校の問い合わせなど	保育日誌	- 腰痛持ちになってしまったこと - 時にはやりがいを感じることもあるが、持ち帰って(特に制作物)仕事をするものが多く、土・日も結局家で仕事をしている - 保護者対応(子ども同士の関わり方についてもクレームを言ってくる)	- 人見知りなので苦手でしたが、保護者の方と接していくうちに少しずつ人との関わり方を学ぶことができた - 福祉的なことや子どもの病気について学ぶことができた(対応や処置方法など) - 子どもの成長の仕方を知ることができた。笑顔や挨拶の大切さ	壁面制作の準備		- 体力がなくなってきたこと - 若い保育士の方たちとの世代ギャップ	- 自分が受け持った子どもたちが大きくなり、立派に成長した姿を見た時 - 保護者とともに子ども達の成長を見守っていけること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・日赤小児救急法（AEDの使い方等） ・子どもの年齢別研修	・決められた様式があり、月末に各自が記入し主任に提出、主任がコメントを書き園長に提出、園長がコメントを書き各個人に戻す			・週案の作成	・声の出し過ぎで週末に声がかれてしまうことが多かった	・子どもの笑顔がみられる
	民営		・3カ月に一度、自己評価を記入することにより、自己評価を行う	・保育士の休みは出来る限り重ならない様に工夫している ・保育士が平均して休みがとれるようにローテーションを工夫している		・月の製作の名前の記入、名前を書く、カードの作成	・家での仕事が多い	・子どもたちの成長を目で見る事が嬉しい ・子どもと接することが楽しい
	民営		・自己評価チェックリスト作成し、各自に記入してもらい、意識向上に繋げていく	・当番出勤職員のクラスには、フリー職員が入る ・8時間勤務以上の場合は、時間外手当を請求する ・園児の登園数に応じて、混合保育で職員のローテーションを組む			・保護者との対応について ・勤務時間内に仕事が終わらず持ち帰りの仕事が多い	・子ども達の素直な気持ちに触れられること ・子ども達の成長を保護者の方と感じられること
	公営	・職員会議 ・職場研修					・自分の保育に対する自信	・やりがいがある ・子どもの成長を見ることができる ・安定している

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・移動時間、雑談			・子どもといるだけで笑顔になれる			・保育士だから子どもの事を何でも知っていると思われている事	・子ども達の成長が見られる事 ・自分の子育てに役立つ
		・収入が少なすぎ、生活に困っている ・経営者が保護者の言いなりになってしまい、言ったことに対して責任を持たず、保育士任せにする ・普段の保育を見ているわけでもないのに、評価されてしまう（保育園に経営者がいない）	・子どもに「先生」と呼ばれる事が嬉しい ・行事を通し子どもと一つの事に取り組んで、やり遂げた時に、達成感を一緒に味わえる事 ・卒園児が会いに来てくれる事		・運動会用品の作成	・保護者の要求 ・仕事量の多さ、勤務時間外や持ち帰っても仕事をしないといけない	・子どもたちと関わってとても楽しい ・やりがいがある
	・9月のクラスの様子、敬老会参加のまとめ ・ふれあい祭りの準備	・休日にも仕事のことを考えたり、持ち込んだりしてしまう	・子ども達との関わり			・実際、持ち帰らなすと終わらない事（製作等） ・私生活と仕事の差があまりない ・近隣等、帰宅時等、保護者と出会う事	・日々子ども達の成長を保護者と共感できる事 ・季節に合った、活動を体験出来る事
		・ピアノが苦手 ・気難しい保護者への対応	・子どもの笑顔が見れること ・子どもが自分の名前を覚えて読んでくれるようになること ・自分の子育てに役立つ		・書類の文章を考える	・時期によっては持ち帰らなくては終わらないことがある ・園の子と自分の子を比べてしまうことがある	・毎日子どもに接し大変なことも多いが笑顔で楽しく過ごすことができる ・いろいろな人と話せるようになった（声をかけられるようになった）

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・チェックリスト（保育士のための自己評価チェックリスト）を使用し自分の保育の見直しを行う。	・休みの職員が複数いる時は、園長先生が補助に入ったり、合同保育を行う			・自分の精神状態によって、子どもの気持ちを受け止めきれない場合がある	・毎日子どもたちの笑顔や生き生きとした姿がみれること
	公営		・自己評価表を全職員に年2回出してもらい面接しています ・正職員は市の人事評価表（自己）もやはり年2回提出し面接しています					
	民営	・年1回保育士チェックリストを行う				・書類作成	・先輩の先生との人間関係 ・子ども同士のケンカの仲介に入った時	・子どもが抱きついてきた時 ・保護者に「今日もありがとうございました」と笑顔で言われた時
	民営	・年齢別クラス研修	・評価リストが配布され、自己評価後、主任、園長からの評価をつけていく	・保育経験の高い方と新人との組み合わせ ・3歳以上児クラス担当者と未満児クラス担当者とのバランス			・担当の子どもの数が多いと書類は大変だと感じる	・成長を感じる
	民営		・年2回、自由記述（項目ごと）	・超過時間は超過勤務手当でカバーしている			・子ども達と上手に関われているか ・子育て支援センターに相談にきて頂いた保護者にうまく対応できているか	・大好きな子ども達の成長・信頼関係がもてた事

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・自分の子どもと比較してしまう ・自分の子どもと接する時間が短い ・休暇を取るのに保育園の行事中心となり取りづらい	・子どもの成長する様子が間近で見られる ・いつも「ちゃんとしなくては！」と気が引き締まる
	・保育記録	・子どもに対しての保育士の人数	・子どもの成長が見られた時 ・病気などについての知識がついたこと			・パソコンが使えない ・個別で対応しなければいけない子が多すぎる ・学校など保護者の立場で参加していても保育園の先生としてみられる	
	・製作	・臨機応変に対応できない時やその時々との連携について ・連絡・報告などの全体把握についてうまくいかないこと ・今の立場の役割について	・子ども達と一緒にいられること ・喜びや感動、子どもの成長を感じること ・笑顔の子ども達が毎日見られること	・運動会が近いので準備	・書類	・年々肉体的につらくなる ・苦手な父兄への自分の気持ちの切り替え ・パソコン等の導入についていけない、苦手	・子ども達と関わり毎日楽しく過ごせる ・小さい頃からの夢がかなった
	・リレーの順番決め	・気になる子への対応	・子どもたちや保護者の方から信頼してもらったこと ・子ども達の成長、子ども達の笑顔が見られること ・自分の設定したものや好きな絵本など子どもたちも気に入ってくれたこと			・仕事を優先にしないでいい	・子ども達の成長を共に喜べる ・職場内の雰囲気 ・自分自身の子育ての学びとなる
		・子ども達がのびのびと過ごせる環境を中々つくりえない	・子ども達が保育士に抱きついたり、言葉を覚えること				・子どもが成長していく様子を感じられる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・ワンポイント研修（朝礼時に事例、記事等を交替で読む）		・早番遅番で8時間以上の勤務になるときは、出勤、退社時間を調節して一週間で40時間になるようにしています			・手遊びのレパートリー	・子どもの成長の楽しさ、喜び ・毎日、楽しく過ごさせている ・人と接している楽しさを感じている
	公営	・園内研修ではなく研修報告となってしまう	・年2回自己評価を表を用い記入	・時差出勤なので連絡もれないよう皆で合意している				
園長代理	公営		・園評価羅針盤、年2回実施	・幼稚園教諭免許と保育士免許の職員をうまく組み合わせて早番遅番を組む ・正規職員と臨時職員の時間や勤務体制を考えて予定表を作成している		・土曜日保育申込書の確認・整理 ・土曜保育の職員配備（後期）作成	・研修の機会が少ない（幼稚園に居た時は研修の機会が与えられており勉強になった）保育園の先生は自己研修を積極的にしない限り、研修の機会が殆どなく、大学で勉強したきり研修をしない、その為職員の資質の低下につながっている	・子どもの人格形成にかかわる大事な仕事に携わっているということであり甲斐がある ・日々成長していく姿を目の当たりにできて楽しい ・子どもと一緒に居ると楽しい
	民営					・児童の書類	・上司との関係がうまくいかない	・子どもの成長を身近で実感できること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・行事が近づくにつれ、勤務内に終わらず、仕事をもち帰る時がある	・日々の活動の中で子ども達から、教わることがたくさんあり辛いこともあるが頑張っていることができています ・お遊戯会、運動会などで行事を無事終えた時の達成感を子どもの笑顔から感じた時			・腰痛、肩こり等身体的不調	・子ども達の成長の喜びが感じられる ・子ども達の笑顔からパワーをもらえる ・季節感があり変化に富んだ仕事である
		・保護者の要求ばかりが目立ち、保育士の話を受け入れない保護者もいる	・子どもたちの成長する様子を感じられる			・複雑な家庭環境の子ども達が増えてきて大変である	・子ども達の成長を身近に感じられる ・子どもの笑顔をみられ、子どもたちや保護者に信頼されている事を感じられた
	・出勤前、消防訓練結果記録の作成 ・出勤後、友人宅へ届け物	・持ち帰りの仕事が多い ・好きな時に休暇がとれない	・保育士は何でもやらなくてはいけなくて苦手なことも出来るようになった ・自分の子育てにプラスになった				
	・運動会に使う教材作成		・とてもやりがいを感じられる仕事 ・子どもの笑顔にとても助けられている	・運動会準備等、水まき、ライン引き、機材のセッティング等		・自宅の連絡先などを聞かれる時の言い方など ・クラスを持った時の持ち帰り仕事が多く、切り替えが出来ない時 ・行事に追われ1年がとても早く過ぎていく	・年齢に関係なく、人とのつながりがとても感じられる ・生きていく基本となってくる0歳～5歳までの大切な成長期に関わることが出来ていること ・保育士の声掛けや、行動などで子ども達が一生懸命にやろうとする。又、やれる姿に感動できる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営					・保育記録作成 ・指導計画作成	・体力面の辛さ ・人間関係	・様々な子どもたちの成長を身近で感じる事が出来る ・コミュニケーション能力の向上
	民営				・運動会準備、旗ふり	・壁面作業	・平日通院ができない ・決められた時間に仕事が終わらない ・持ち帰りが多い	・日々担当している子どもたちの成長が見れること ・沢山の人と関わられること ・地域との触れ合いができる事
	民営	・職員会議の中で、研修報告をする形で皆で話し合う		・遅番などで担当がいないうちは、他のクラスから入ったり（複数人数担当の所）主任が入っています			・保護者との関わり、コミュニケーションが難しい、緊張してしまう ・子どもへの言葉かけが一人ひとり合っているか不安になる ・わからないことが多く、臨機応変に対応できない	・やりがいを感じる ・子どもの成長をみれること、感じられること ・子ども達の喜ぶ姿や笑顔を見ると癒され、自分自身も嬉しい気持ちになる
副園長	公営	・保育参加（登園時より11時までの間お子さんと一緒に触れ合って遊んでいただき楽しむ） ・地域の祖父母と遊ぶ会（H2）		・朝のミーティング時に当日の動きを確認する（ホワイトボードに名札のマグネット使用 一覧表） ・休暇や研修時に職員が欠けた時には、クラスへの補充もすばやく対応する。		・書類作成	・遊びのレパートリーを増やすこと ・家から勤務地が遠いこと。埼京線の本数が少ない、武蔵野線、埼京線がよく止まること ・自分の仕事を進めるスピードが遅いこと	・子どもの成長に関わることが出来ること ・やりがいのある仕事出来る事 ・社会人として、人として成長できること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		子どもがもっているくせなどに対する接し方に戸惑うことがある	- 子ども一人一人の成長を保護者の方と一緒に感じられる - 子どもの成長を見守ることが出来る			病気や怪我をした時の父兄への対応	- 子ども一人ひとりの成長を間近で見られ、毎日違った表情・姿が見られること - 慣れない（保育園に）子が少しずつ園生活に慣れ、手を出すと自ら保育士の所へ来てくれた時 - 自分の幼いころからの夢が叶った
運度会準備（競技に使う道具等を作っていた）	- クラスだより作成 - 壁面づくり	- 定時で仕事が終わらず、サービス残業が多い - 平日医者に通えない - 持ち帰りの仕事も多い - 有休消化できない	- 子どもの成長を間近で感じた時 - 人との関わりが少しずつできるようになったこと - 自分の得意な面を活かしたこと				
		肉体的にきつくなってきた	仕事がとても楽しくやりがいを感じる事ができる			親への要望がなかなか伝わらない事	子どもの成長を目に見えて感じる事
	運動会、クラスだより作成	1人担任なので行事準備、事務仕事などやる時間がない、また時間がかかる。	未来のある子どもと触れ合えること			- 腰痛、肩こり - やりたいことがあるが時間が足りない（事務、手作りおもちゃ等） - 同僚と話し合う時間の不足	子どもと過ごすことの楽しさ

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・「異年齢児交流」というテーマに沿って	・保育士のための自己評価チェックリストを基に園独自のチェックリストを作成し自分の保育を振り返る機会を持つ ・正規職員は業績評価、能力評価を実施	・育成支援対象児の関係で5歳児クラスは3人担任、4歳児クラスは一人担任という状況ですが、オープンスペースの保育室なので、協力しあって保育を進めています		・運動会で使用する教材の作成	・限られた時間の中でやるべきことが多すぎる ・事務仕事が多すぎて日々の保育に集中できない	・子ども達の成長を身近で感じられること、それを同僚や保護者と喜び合えること ・毎日変化があって面白い、やりがいがある
	公営	・研修報告を兼ねた勉強会 ・障害児・気になる子への対応（巡回指導での心理士のアドバイス）	・カリキュラムを通しての反省 ・自己申告書 ・会議での話し合い、評価	・フリー、時間外パート保育士で、時差、休暇等で保育士の足りないクラスを補っている		・教材作成 ・このアンケート		・子どもの成長を間近で感じられる ・たくさん笑っている
	公営		人事考課制度					
	公営	・人権保育についての取組をまとめ報告している ・職員の意識を持つためのケース会議等をしている	・保育所の行事等で反省、次の課題を話し合っている	・主担任、副担任制にしている、会議の時は副担任が時間外保育を担当する ・時間外保育について2人組にし順番に当番を回している。4日に1回となる			・子ども達にオルガンを弾いて聴かせてあげたいのですが自宅での練習時間が取れなかったり、自分の技量が低く、かなえることが難しい点 ・子ども達がつまづいている点を上手く家庭に伝えられない点	・色んな“育ち方”があるという事がわかった点

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・保護者支援を どのように行 っていくか、 その伝え方 ・フルタイムと してどこまで 正規をサポート していける か	・子どもの成長 を身近に感じ られる ・子どもが親し んで様々な話 をしてくれた り信頼してく れる			・早、夕の時間 外保育の勤務 体制があり家 庭との両立が 厳しい時があ る	・子どもの成長 を近くで見る 事が出来、嬉 しさをを感じる ・毎日が新鮮で 子どもの笑顔 や会話から元 氣をもらえる ・様々な保護者 との関わりの中 から色々な 価値観を知る 事ができる
		・保育所の設備 の悪さ（ひび 割れ、トイレ が少ない、水 道が少ない、 保育室が狭い etc) ・子どもの声で の近所からの 苦情			・実習ノートの まとめ ・このアンケー ト ・運動会事務	・休暇が思うよ うにとれない ・専門機関との 連携がない、 発達支援セン ターなど市内 で関係機関の 中心となると ころがない ・保育環境の悪 さ、外で子ど もが元気に遊 んだり、声を出 せない環境 (周りからの 苦情)	・やりがいを感じ る ・子どもや保護 者との信頼関 係 ・人との出会い
		・保護者との連 携の取り方	・子どもの成長 を近くで感じ られる ・やりがいが大 きい ・自分自身が情 緒豊かになれる			・保護者との関 わり方が難し くなってきて いる	・毎日かわいい 子どもたちを 一緒に生活で きる事 ・子どもたちの 日々の成長を 見守ることが できること
		・実技(ピアノ) の弾く事	・子ども達から の笑顔です		・保育教材	・体力的に疲れ やすくなって いること	・子ども達一人 ひとりを関わ り合い成長が 見られる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務 体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営	・研修報告会	・毎月、クラス 別の自己評価 と保育所全体 の自己評価				・人間関係をど のように作っ ていくか	・子ども達と関 わっていくこ とで、自分も 一緒に成長で きる所
	公営	・テーマを決め て一年間学習 する（今年は 絵について）	・個々の保育実 践の提出と検 討会、年間反 省会	・正職員が時差 勤務ローテー ションにはい り、閉所時間 までいて、保 護者とのコミ ュニケーショ ンがとれるよ うになっている ・延長保育時の 児童の人数の 把握のため、 職員が全員把 握できるよう 「送迎表」の 記入を保護者 にしてもらっ ている			・保護者との子 どもに対する 認識の差	・子ども達の笑 顔や成長を感 じる事
	公営		・週、月の指導 計画案に記載					
	公営			・朝7：30～8： 30、夕16：30 ～19：00を利用 する園児が 多いので ・年齢別のクラ ス分けを行う など、状況に 応じて工夫し ている				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・子どもの笑顔や成長が肌で感じられるところ ・保護者の方に感謝されるとやってよかったなと思う	・着替え等		・頭でっかちになって子どもの為の保育が実践できていない ・コミュニケーション不足 ・休暇が取りづらい	・子どもの成長していく姿をみられること ・子どもの持っている力のすごさを実感できること ・同僚、保護者から学ぶこと
	・そうじ ・来週勤務の確認	・専門性をみがきたいけれど正職員でないので研修に行くチャンスがない ・資格をとったけれど正規職員としての採用枠には入れない年齢になっていたことでいつも臨時採用 ・給料が安い	・子どもの成長をいつも感じ一緒に喜びあえること ・子育ての経験がないので、あきらめていたけれど、子どもの成長＝保育士の成長だから子どものおかげで少しはできたかな？ ・いつも笑っていられるので気持ちが明るくなり、よく動くので身体にもいい仕事だ				
	・クラスだよりの修正		・子ども一人ひとりの成長を親と共に喜ぶ事ができる ・たくさん子ども達に出逢えること ・色々な成長が見られ、一緒に感動したり共感出来ること	・放射能測定、運動会準備他		・現代社会のニーズと本来子どもに必要なこととのギャップ ・施設の老築化 ・気になる子の増加	・子どもからもらえる力

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・各クラス日誌に毎日記録者が記載					
	民営							
	民営	・7月、10月、12月、2月参観日と行事をあわせて行っている	・年2回、園内研修、反省などを基に、自己評価をレポートして書いています	・職員会他、相談、個別対応(子どものある家庭において)				・子どもの成長を感じ、それを一緒に喜ぶことが出来ること
	民営	・職員会月1回3時間30分 ・年3回まとめの会議	・自由記述	・パート職員配置(時差勤務の補い)も同じ保育士が入り子どもの理解、情緒安定をはかる			・賃金が安い ・休みが少ない	・給食が食べられる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・着替えなど身 支度			・見通しを持っ て行動するこ との大切さを 学べたこと ・子どもと接し て人が好きに なったこと ・笑って仕事が できること		・運動会資料	・非正規職員が 増え負担が多 くなった ・親ともかわり 方、考え方	・子どもの笑顔 をみること ・成長が見え喜 びあえた時 ・修了児がたず ねて来てくれ たこと
	・運動会の取り きめ（組み立 て）	・給料面でのこ と、保育士は 全体的に低所 得なので ・人数（職員） がギリギリの ため、事前に 態勢をとって も当日職員が 休むと大変	・やりがいのあ る仕事 ・子どもたちか ら教えてもら えることの多 さ ・何年やっても 何十年やっ ても日々会う 子どもが違 うので、日々 勉強、スキル アップにも ある			・毎年、一人担 任ではないこ とも多く、複 数担任の中 でもうまく話 し合えれば いいが、うま く話し合われ ず、2つに分 かれてしまう ことも時々あ り、気まづく なった時 ・給料面で、法 人保育園によ って差もあり 、保育園全 体的に給料が 安いこと ・認定こども園 制度の実施	・毎年、子ども 達がかわたり する、年齢別 によっても違 い、性格も違 う子どもたち 一人ひとりと 関わり、成長 していく姿が 見れるところ ・人間形成の大 切な時期だが 、そんな子供 たちと関わる中 で、自分自身 も笑顔でいら れる現場 ・卒園児に会え たり、保護者 の方々より、 感謝の言葉を 頂いた時
			・大好きな子ど も達に囲まれ 、創立者の理 念を基に信頼 できる施設長 、同僚と保育 できること ・自分だけで保 育しているの ではなく、た くさんの人に 支えられてい ること。団結 力 ・保育に一生懸 命力を注いだ 分、達成感、 充実感がある 。今の職場で はた然ること 幸せです				・子どもと一緒 に過ごせるこ と。信頼でき る先輩、仲間 に出会えたこ と ・人との交わり が多く、色々 なことを学ぶ ことができた こと（感謝す る心など） ・とてもやりが いがあり、毎 日楽しいと思 えること
		・お金、休日が 少ない ・持ち帰り仕事 が多い	・子どもとじっ くり関わり成 長を喜びに合 える	・自分の子ども をあずけてい る為の送り迎 え		・土曜日の休み が月に一度し かとれないこ と ・いろんな家庭 の事情を持つ 親が多く対応 の難しさ	・子ども達の成 長の喜び ・自分自身の子 育てに活かせ ること ・人間関係の広 がり（保護者 も含め）

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営			・一時保育担当が場合によっては有効に活用できる		・教材作成 ・ピアノ練習 ・成長の記録作成	・どのように保育を展開して良いかわからない場面がある	・自己では学べない事までが教えて頂け、自分自身の向上ができる
	宗教法人	・新人研修 ・中堅研修 ・園長主任研修	・園独自で作成した人事考課基準書に基づいて、学期ごとに各自振り返りをして、提出しています。園長や主任が目を通して総括しています。又、総合勤務自己評価表に4段階で書き入れます。特に園で「チャレンジポイント」「積極性」「ホーレンソウ」「接渉力、表現力」の評価を倍にして100点満点で換算しています	・2歳～4歳の縦割りクラスの時間を設けている ・3歳以上児は幼稚園と合同の保育を実施 ・遅番と早番は同一の職員で行い、生活の連携を図っている	・翌日などの確認	・事務的な仕事	・子どもへの対応 ・保護者への対応 ・充実した保育にするためにはどうしたらよいか	・子どもの成長を感じられる ・子どもに頼ってもらえる ・一緒に経験ができる
	民営	・市、県の研修 ・法人用研修	・ISO14001、9001（環境、品質）				・手遊びや遊びのバリエーションが少ない事 ・植物などの知識がないこと	・子どもと関われる仕事ができること
	民営						・体調を崩した時、子どもにうつしてしまうかと心配	・かわいい子ども達と日々一緒にいて、成長を見て感じられる ・季節を感じられる ・子ども達からたくさんのパワーをもらい、自分も学ぶことが多い

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・行事のお面制作 ・保育のまとめ	・時間が足りない ・体と心のモチベーションを常に保てない ・休けいがとりづらい	・子どもの成長が見られる ・子どもの笑顔が見られる ・毎日やりがいがある				
		・後輩の育成 ・親への子育て支援ケースが増、面談等の時間と保育士の力量が問われる ・計画、記録等は時間内で終わらない	・保護者との連携がきちんと出来ることにより、子どものいい発達成長につながることを感じる ・自分自身を活かした仕事ができる ・子どもの成長を喜びあうことが仕事への満足につながる			・体調不良時に職場に迷惑を掛けること	・子どもが可愛い ・子ども達の成長が嬉しい ・子どもに慕われ一緒に過ごすことが楽しい
	・保育教材、保育室の飾り作り	・給料が少ない ・時間外労働をやらざるを得ない ・休暇がとれない	・子どもの成長を間近に見られる ・子どもの笑顔・保護者と子どもの成長を共に共感できること			・行事や土曜出勤がある中で、子どもの登園人数も多いので、振替代休や有給のやりくりが毎日誰かが1名休む事になるなど、難しいが何かとやりくりしている	・やりがいがあること
		・最近の保護者の意識の差	・子どもの成長を見られると同時に自分も成長できていると思う		・保育教材の作成	・最近の保護者の意識の違い、アドバイスのしかたが難しくなっている	・大人だけの職場では見ることのできない驚きや発見を子どもたちと楽しむことができる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・所内研修	・所内研修を通して行っている	・各クラス担任同士の横の連携及クラス同士の縦の連携を十分に図りながら（3歳未満児、3歳以上児、主任、所長との連携も含む）全体の連携へと繋げていけるようにする		・保育教材を作成	・ピアノが苦手なこと ・保護者対応	・調べていったゲームなどをやってみて「楽しかった!」「もう一回やりたい!」と楽しんできた ・楽しいこと、悲しいこと、嬉しかったことなど共感できる ・子ども達の笑顔をたくさん見れ一緒に笑うことができた
	公営	・摂食について ・年長の育ちについて ・4歳児の発達について	・評価点検表を用いて記入して提出する	・持ち帰り残業をなくすため、時間を工夫し30分でも職員がだぶっている時は事務や教材作りをする（例：担任4人クラスなのに時間外入れて5人いる） ・職員の無駄な勤務をなくすよう園長は気を配る	着替え		・保護者への対応に困る時がある ・子どもとの関係作りに困る（悩む）時がある ・初めてすることに対して、どのようにしていけばいいのか困る（悩む）	・子どもと関わる時間ができたこと ・仕事に対してやりがいを感じることができている ・社会人として、子どもを預かるものとして、責任感を持つようになった
	公営		・保育の自己評価表を各自記入してもらい、園長、副園長とヒアリングを行う			・運動会準備	・責任が伴う半面給料が低い	・子どもの良いところが伸びたとき ・いろんな人の保育を知ることができたこと

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・室内環境を変 える（配置が え）	・製作準備	・自分の学びたい分野の研修 があまりない （実技、具 体的な援助、環 境など）	・仕事を通して 自分も成長で きたと思う ・子どもや保護 者が信頼して くれたと感じ られた時			・保護者との関 係がスムーズ にいかない事 がある	・日々子ども達 と過ごしてエ ネルギーをも らっている
	・縫いもの	・子育てとの両 立の大変さは 感じる（祖母 がいないと成 り立たない）	・好きな子ども 達と過ごす ことができ、 その成長を見 守れること	・運動会の準備		・親との関係が 難しい ・思っているこ とをストレート に気持ちに だせない ・色々な面でス トレスが多い	・子どもと楽し く過ごせるこ とができる ・季節を感じな がら仕事ので きる ・行事を通して、 子どもの成長 が見られる
		・様々な館気をもつ保護者も あり、対応に 悩むこともあ る	・子どもの成長 を保護者と共 感できること			・年齢によつて は仕事量が多 い	・子どもと関わり成長を感じ た時、それを みんなで喜べ た時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・保育日誌の評価欄に自己評価を記載している	・朝夕の延長保育時間はパートだけでなく必ずフルタイムの保育士を配置している（朝3名、夕3名） ・休憩時間パート保育士を2名雇用し、スムーズに休憩がとれるようにしている（11:30～12:30、12:30～13:30） ・離乳食担当パート保育士を1名雇用し、0歳児担当3名のところ、昼食時は4名で対応している（10:45～11:30） ・朝7:30～8:30、夕17:15～18:15の短時間保育パートに地元の保育士養成の短大生を雇用（その他の10名中9名）している（一日に朝1名、夕1名で園庭整理や遊具の消毒等）		・週案の作成	・残業や持ち帰りの仕事が多く、趣味にとれる時間がない ・腰痛や肩こりなど仕事柄の影響	・子どもの成長を感じ、喜べる ・毎日の充実感に生きがいや働きがいを感じる ・子どもと過ごす時間を楽しむ
	公営	・環境の見直しについての検討会					・保護者対応の難しさ ・“子どもにとって”の保育を見直す時間、さらに研修等に行く時間がなかなか持てないこと ・他の専門職や他機関との交流が少ないこと	・たくさんの子どもの笑顔・成長を感じられること ・様々な家族に関わることができること ・自分がどのように成長してきたか再思考できること
	公営	・発達支援研修 ・研修報告会 ・安全危機研修（園内） ・保育者としての基本的な研修	・正規職員は人事評価制度 ・全職員はチェックリストを通して自己評価を行う	・クラスの配置だけではなく、その日の園児出席人数により流動的に職員の対応を考える				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・朝→ミーティ ング、夕→保 護者への引き 渡し		- 書類をやる時 間がなく結局 家に持ち帰る しかない - 正規と臨時同 じようにと言 われているが、 無理だと思う - 臨時職員に求 められている 責任が重すぎ る	- 他の仕事では えられないや りがいい - 子どもと過ご すことでいや される		・クラス便り	・保護者対応	- たくさんの子 ども達と出会 えること - 子どもの成長 を見守れるこ と
・運動会前日準 備			・子どもと接し ていることが 楽しい		・事務的な仕事	- 保護者対応 - 保育以外の業 務が多い	- 子どもの成長 を見ることが できる - 子どもと過ご す時間が楽し い
						・親との関係の 難しさ	- 子どもたちと 楽しみを共有 できた事 - 子ども達の成 長を親と感動 し合えた事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		自己評価チェックリスト使用					子ども達と過ごしていく中で、子ども達の成長する姿を見る事が出来たり、信頼関係を築き「先生、先生」と言ったり、笑顔をたくさん見せてくれるようになったことです
	公営		各月子どもの活動や状態に対する評価と、保育士自身の保育や援助、環境設定に対する評価を総合的に判断して行う。毎月提出し所長がコメントをそれぞれにし、保育の振り返りができるように配慮。年間評価も各自行い、内容を提出し面談も行う	体制については早めに一年間の表を職員に配布し、変更がある場合は早めに変更できるようにしている		- 指導案の作成 - 記録 - 教材作成	- 職場の人間関係の難しさ 歌、ピアノなど苦手なこと - 幼稚園教諭の資格がないため、将来的な不安	- 大好きな子ども達に囲まれて仕事ができる - 公立なので、勤務形態に無理が無く、自分の時間が持てる - 日々やりがいがある
	公営						- ピアノが上手くない - 人前に出るのが少々苦手で緊張する	- 子どもから学ぶことがある - 遊んでいると毎日楽しく過ごせる - 子育てについて色々勉強になる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	朝、書類の作成	・早番が始まり自分の子どもを早番だと保育所に送れないこと ・クラスに正規職員が一人しかいないので、月案、チェック表などを全てやらなくてはならず追われている ・会議や打ち合わせが要領がよくなく長い事	・子ども達と関わり、楽しさや元気、笑顔がもらえる ・仕事は大変だが、季節の変化や行事などに自然と興味がもてること ・1日仕事をしていて1経つのが早い事		指導案反省文の作成	・書類や研修資料等持ち帰りになってしまう業務が多い	・人との関わりに携われるころ(親も子も) ・子どもとの触れ合いがとても癒され色々なことを教えてもらっている ・自然や行事に直接触れられ季節を感じることができる
		・年々、難しい保護者が増えてきている事	・子どもの成長を間近で見られる事		・教材の準備、パネルシアター	・家に持ち帰る仕事がある ・保育だけではなく雑用(消毒など)が多すぎる ・臨時職員ばかりで正規職員がクラスに数名しかいない	・子どもと接する時間が充実している ・長年やってきて子供が親になって、また再会できたこと ・卒園した子供が元気に成長していること
		・喉が元々あまり強くないので、痛めて声が全くでなくなる、職場の先生方に迷惑をかけてしまう。 ・保護者との意思の疎通の難しさ、やわらかく表現すると伝わらず、ストレートに言うとい気分を害してしまう。プライベートでも、周囲からは「先生」という目で見られるので、行動を控えたり、ストレスに感じる事がある	・一年間が終わり、子ども達の成長を感じる事の喜びを知ったこと ・就職前より、地域との関わりが増え、人とのつばがりが強くなった ・自分のアドバイスにより、子どもが変わり、保護者から感謝の言葉をもらった時やりがいを感じた。			・保護者からの対応に困る要求が増えてきている	・園を卒園した後も園外で声をかけてもらい、大きくなった姿を見れる ・子どもたちの素直な気持ちや笑顔を見ると癒されたり頑張ろうと思える

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務 体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営		・ 1～2カ月毎 に項目そって 行う	・ 時間外勤務の 職員の配慮及 人数的に手の かかる時間の 職員の配慮等				
	公営		・ 保育の内容に ついては毎月 反省会を開き 振り返りをし ている			・ 児童表作成 ・ 日誌 ・ 参考書を読む	・ 自分の力量不 足 ・ コミュニケー ションの苦手 さ（保護者に 対して）	・ 子どもの人生 の一部に関わ れる ・ 子どもの笑顔 が見れる ・ 自分も成長し ていける
	公営	・ 日保協、全保 協等の研修を 受けて園内で 報告		・ 保育時間は長 いので、支援 児にあたって は二交代制を とっている ・ 延長保育も補 助員から保育 士へと有資格 者に		・ 保育準備	・ 保護者や同僚 などとの人間 関係作りの難 しさ	・ 子どもの成長 を感じられる 瞬間に立ち会 えること
	公営	・ 地域での保育 士研修会：年 数回あり、そ れは進んで参 加、伝達、情 報しています		・ 短時間非常勤 保育士が多い ので短時間で すが、意思統 一、共通理解 を努力してい ます				
	公営	・ 年令別勉強会	・ 各自で記入 後、第一次、 第二次評価者 が評価してい る			・ 運動会に向け ての製作物	・ 病気や怪我時 の対応 ・ 他クラスとの 連携	・ 子どもの成長 が見られた事 ・ 子どもが心を 開いて接して くれたこと

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・ 保護者対応	・ 子どもの成長 を見られる ・ 充実した毎日 を送ることができる			・ さまざまな保 育のあり方につ いて学んでい かなければい けないので、 不安も感じる	・ 自分の得意な ことが仕事に いかせる ・ 子ども達とふ れ合い、成長 を実感しなが ら一年が過ぎ せる
			・ 自分の声かけ や援助で保護 者や子どもが 笑顔になった 時			・ 担当クラスを 持ちながらも フリー主任の 次に周りの事 に気をかける ことができな い ・ 保護者との信 頼関係を築く のが難しい ・ 臨時職員が多 いので難しい	・ 子どもの成長 が見られた時 ・ 保護者から認 められた時
		・ 職業病の特に 小さな子ども を扱うクラス だと抱っこや おんぶの頻度 が多く、首や 肩に負担がか かり時々具合 が悪くなる面	・ 子ども成長を 日々目のあた りに出来るこ と ・ 成長の手助け をしてあげら れること ・ 自分達が子 ども達のお母 さん代わりにな ってあげ、精 神的に少しで も支えてあげ られること				
	・ 運動会の準備	・ 保育所は子ど ものいる時間 が長いので、 事務や行事の 準備等をする 時間があまり ない	・ 楽しくやりが いのある仕事 です ・ 子ども達の成 長を保護者と 共に感じられ る		・ 運動会等の準備	・ 行事などの前 は特に持ち帰 り、自宅での 仕事が多い	・ 子どもと一緒 に遊び、生活 する中で子ど もの成長を見 ることができ 、共に喜びあ える

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・共通理解の読み合わせ ・潜在する危険について					・個々の子どもへの発達に応じた援助の難しさ	・子どもたちの成長を見て保護者や他の担任と共感できる
	民営	・実技 ・保護者対応、園の保育方針	・今年度の研修で取り上げる予定	・パート職員の適正配置（当番、延長） ・土曜日の行事では振替休日を行っている ・フリー職員を置いている				
	未回答	・姉妹園看護師による研修				・運動会準備の為の作りもの	・勤務時間外にすることが多い（月に20時間以上） ・職員時間が思うままに使えない	・心が癒されること
	民営	・園外研修に行っている	・自己評価表に添って A・B・C・D、4段階で自己評価する	・3歳以上児を異年齢保育を行っている ・時差出勤を行い、朝と返りの1時間は合同保育になり、年長児は年下のお世話をし、年下からは憧れの存在になっている				・子どもたちの成長が感じられる時 ・笑顔で話しかけてくれたり、近づいてきてくれた時 ・運動会や発表会などで、子どもたちが生き生きと楽しそうに参加するのを見た時
	民営					・運動会の作り物	・保育中の遊びの展開に変化がない ・叱る時の子どもの言葉かけや対応の仕方	・子どもたちに癒される

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・休みがとれない ・時間で仕事があがれない	・自分が楽しいと思える仕事ができている		・当日の日誌(記録)		
		・肉体的なきつさ(腰痛、腱鞘炎) ・風邪などの病気をもらいやすい	・大好きな子どもたちと毎日一緒にいられる ・日々の子どもの成長を身近に感じられる ・明るくいられる		・保育教材準備 ・保育日誌記録 ・パネルシアター	・職員同志の連携・保育観 ・給与の少なさ ・家庭との仕事の両立の大変さ	・好むパネルシアターや体操を子ども達が喜んでくれること ・自分自身、子どもと変わること、若々しくいられること ・未来の子どもたちが日々成長する姿を目の前で見られること
					・文書作成と保育記録作成	・最年長のクラスを受け持った時の精神的に追い込まれた時	・仕事のやりがいと子どもと過ごすことの楽しさ
	・運動会準備 ・個人面談表の作成	・保護者対応で困ることがある ・職員同士の関係	・子どもの成長を間近で感じることができ ・将来の子育ての練習になる			・子どもと話をしている時に星や星座、昆虫等を詳しく知らない事を聞かれたり、話を聞いたそうにしている時に勉強不足だと感じ困る	・子どもと同じことを思ったり、感じたりすると、意思の疎通が出来たと感じ良かったと思う

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・職員間の連携についてなどテーマに添った話し合い	・自己評価のチェックリストを作成中である	・早出職員、遅出職員と正常勤務との伝達がきちんと行えるようにする ・延長保育時間内でのけがや伝達はその日のうちに担任に必ず伝え担任からも家庭に連絡をとるようにする		・保育の記録 ・保育教材の作成	・保護者との対応 ・書類など書きものが多いこと ・制限があり、製作などが思ったようにできないとき	・子どもの成長に携われること ・子どもと一緒にいることで様々なことに気づかされること
	公営	・グループ研修(年度初めにテーマを決めて行う)	・記述式の方法で一人ひとり保育内容などについて振りがえる(決められた形式で)	・横のつながりを大切にして、時差勤務を保障している(クラスにこだわらない)				
	公営		・年度初めに自己の目標成果シートを作成し、中間と年度末に自己評価をする					
	公営	・育児タテカリ、記録の取り方(日誌) ・育児遊び	・年2回、個人の自己評価を提出(園長) ・(保育所)園運営の自己評価は年3回行う(書面にて) ・指導計画反省(期、年間)の中で行う	・クラス別の特別保育人数に合わせてシフトを決める ・朝、夕に必ず乳幼児の職員を入れたシフトにする ・クラスの体制を考慮してシフトを組む			・パソコンの業務があまり得意ではないこと	・子どもの成長を感じられた時 ・子どもたちと楽しく過ごせている時 ・本当に子どもたちってかわいらしいなと思います
フリー	公営		・日々の保育日誌の中に自己評価の覧を設け行っている	・朝礼で当日の体制や翌日の体制等確認している ・月1回、リーダー会を行い、保育の体制、勤務体制等について話し合っている				・子どもの成長や発達を間近で見ることができた時喜びを感じる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・草取り	・書類	- 書類など持ち帰って行う仕事が多いこと - 休暇中に連絡がきたりなど仕事とプライベートの時間をわけることができない	- 子どもの成長が見られたとき - 保護者と信頼関係を築けたとき			- 保護者とのつきあい方 - 肉体的なつらさ	- 子どもの成長や成果がみられること - さまざまな人との出会い - 保育士としての経験が自分の子育てに生かされた
		- 子育てをしていないのに母親にアドバイスすること - 保育士同士の人間関係 - 日々の仕事量の多さ	- 子どもの成長に関われたこと - 季節を感じられる			- 行事などに追われてしまうこと - 事務量が多い - 保護者対応の難しさ	- 子どもと日々接することができる - 毎日笑って過ごすことができる
					・運動会の準備物製作	- 保育士なので、完璧でなければならないという固定観念 - 自分の子どもが病気の時や行事参加での休みがとれない - 土曜出勤の遅番時	- 子どもたちの成長を共感できる時 - 保護者と子どもの成長を共感できた時 - 行事や日々の保育で保育内容や自分のやっていることを認められた時
		- 年々、保護者対応が難しくなってきた - 仕事量が多すぎ、家庭との両立が大変である	子どもと関われる（喜びなど共感できる）				
	- 転園児へのカード（メッセージ）記入 - 運動会案内状の下準備	- 同僚との人間関係 - 日常保育における望ましかかわり - 保護者対応	- 子ども達の成長を感じられること - 子ども達と思いを共有できること - 保護者同僚と子ども達の成長の喜び等わかちあえること		・行事準備（資料等含む）		

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・運動遊び ・食育 ・保育と環境	・各自、年間の目標をたて、それを達成できるようにしている ・年3回園長面談を持ち、達成を目指すようにしている	・園全体で、協力し合い、各クラス保育を行っている			・子ども達への関わり方 ・円滑に業務を進めること	・子ども達の成長を見届けられること ・子どもと一緒に遊んで楽しむ ・子どもと共に喜びを分かち合う、笑い合う
	公営		・年度はじめに目標を設定、半期ごとに検証し、施設長とのヒアリングを行う			・誕生会、準備	・事務時間が長い ・信頼できる上司が少ない	・子どもの成長を感じる、楽しい
	公営		・毎月自己評価表を園長に提出	・子どもの状況に応じて必要ないシフトは減らし、保育が充実できるようにしている		・行事の準備(台詞整理)		・子どもの成長を近くで実感することができる ・毎日大好きな子どもと触れ合い、笑顔にすることができる ・保護者の方と少しずつだが信頼関係を感じた時
	公営	・記録の取り方 ・危機管理について	・各自のチェック表と、園全体に対するチェック表、保護者アンケート	・一時緊急保護事業を行っている為、オープンスペースを使用したクラス保育 ・当番保育時間の合同を、通常勤務時間内はクラスごと、それ以上もできるだけ、クラスごとに見れる体制をとる				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・保護者対応等の難しさ ・仕事量の多さ ・難しい子の対応	・子どもとの関わりを楽しめる ・子どもの成長を身近で感じ喜べる		・運動会の準備	・準備等の時間の使い方の工夫がうまくできずに持ち込むことが多い	・子ども、保護者他との関わりで保育のやりがいを感じていられること
	・研究会データまとめ	・保護者対応の難しさ ・職場の人間関係	・子どもの成長を日々感じることができる ・仕事にやりがいがある		・運動会の遊戯の振り付け変更 ・日誌記入	・体力的にきつくなってきた ・子どもも保護者もかわってきて昔より難しくなっている	・子どもが立派に1年生になっていくとき、何よりやりがいを感じる ・運動遊びなど子どもと一緒に取り組んできたことが達成できたとき、共に喜び合える ・行事が終わったとき、作り上げたという喜びを感じる
					・運動会係の仕事	・職場の人間関係で言葉のきつい人への対応	・子どもの笑顔を見る時
						・保護者対応が年々難しくなってきたこと ・事務仕事が多いこと ・職員の人間関係の難しさ	・子どもと関わることの楽しさ

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤 務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営		・毎日自己チェック表にてチェックしている				・事務仕事を する時間がない	・子どもの成長 を真直かで見 ることができる
	公営		・チェックリストにより、自己評価を行い乳幼児で出し合い課題を探っている					
	公営		・日誌、週案、月カりに自己評価の欄を作り記入後、次への保育にかしている					

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・異動すること で一から人間 関係を築いて いかなければ ならないこと ・男性というこ とで他職員と 関係を築いて いくのには難 しいところが ある、異動前 も3年はかか った ・異動前に通用 した経験が通 用しない	・日々子どもの 成長や笑顔と 接することが できること ・卒園しても子 どもや保護者 が親と手紙な どで連絡を頂 けること ・子どもと担当 した一年を一 緒に過ごせる こと		・当番表作成	・保護者対応 ・職場の人間関 係 ・仕事量の多さ	
			・子どもの達の 成長を見て、 その成長を子 どもや保護者 の方々と喜び 合える ・今まで自分の ことをなかなか 受け入れて くれなかった 子が、笑顔 を見せてくれ たり、話をし てくれたり、 受け入れてく れるようにな った時 ・子ども達と遊 んだり、悩ん だり考えたり と日々一緒に 生活していく 中で共に成長 していくこと ができる			・体が痛くなる ・行事前など常 に頭から離れ ない ・当番等で夜、 学校等に通っ て学ぶことが できない	・健康的な生活 を送ることが できている ・子ども達の成 長を見守って いける ・成長を共に喜 べる
						・集団からはず れてしまう子 への指導 ・筋力の弱い子 への指導	・子どもと接し ていてかわい い、この子成 長したねと実 感できること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	(株)	・園外研修の内容研究等	・年2回本部から自己評価の課題が出され、自己評価し、それを園長が評価する	・有休休暇は本人の希望を優先する ・ローテーションはなるべく平均に回るようにする			・膝などが悪くなってしまうこと	・毎日子ども達と関われること ・将来、自分の子どもを育てる時に必要なことが学べること
	民営	・テーマを決めた研修	・チェックリストによる園長面談年3回			・事務仕事 ・保育教材		・子どもから大好きと言われる事 ・卒園した子どもや移動したところの子ども達に名前を覚えてもらっている時 ・子どもの成長を感じる時
	民営		・園独自の自己反省表に毎月記載する			・週案の作成	・給料が安い(残業代が出ない)	・仕事(子どもと関わっていること)楽しい
	民営		・年1回、年度末に行う	・職員の勤務体制は万全です(ベテラン職員が多いため)				・毎日色んな子どもと関われること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・日誌 ・保育製作物	・もう少し社会的地位をあげてほしい ・給与が少なすぎる	・子どもの成長を感じる		・保育教材の作成 ・事務的な仕事	・給与が少なく将来が不安である。仕事には満足しているが経済的な面で続けるか迷っている ・保育士の人数が少なく、必要な保育ができていない ・保護者の要望は毎年増えていくが、上の2つが増えない為、対応しきれっていない	・多くの子ども、保護者、職員と関わることで色々な考え・意見を聞くことが出来、世界が広がった ・子ども達の成長を間近で見ることができた ・マニュアル通りにいかない仕事なので以前よりはよく考えるようになった
		・腰痛が慢性的になり辛い	・日々成長する子どもたちと過ごす喜びを毎日感じることができた				
		・保護者対応 ・後輩育成	・信頼ややりがいを得る事ができた ・人として成長できた		・行事書類	・家庭との両立が難しい ・自分の子を優先できない ・給与面（仕事量と合わない）	・子どもに対しての知識がついた
		・自分が保育士として適正があるかどうか ・保護者との会話 ・話を聞けない子への対応	・子ども達の成長とともに自分自身も成長できる ・幼児期の過ごし方の大切さを知ることができた ・関わった子ども達の成長を見ることができ、卒園を見届けることができる	・運動会に使う物の準備	・資料探し（園に残って）	・年齢とともに体力の低下（疲れがとれない） ・保護者の対応の難しさ	・子どもからパワー（笑顔・笑い）がもらえる ・季節を感じ一年間過ごせる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営						・自分の保育が子どもにとって、本当に成長する過程において基盤となっているか	・子どもの笑顔が見られること ・先輩職員の保育の進め方や考え方を学べること
	民営		・各年齢別のカリキュラム・業務の成果、評価(年2回)	・個々に応じた対応ができるよう小グループに分けて保育(乳児) ・縦割り保育(幼児) ・食育をテーマにバイキング方式で食事 ・延長児が多いため細かい時間差で勤務				
	民営	・実技研修(ピアノ、絵画)	・年2回Do-cap表を提出し、管理職と面接	・土曜日の合同保育の際は、リーダー保育士の配置を心がける ・8:30~18:30のコアタイムには必ず担任がいるように配置する ・早朝、延長時間、乳児、幼児に分けるようにしている(保育の質の確保のため)	・研修に向けての作成物	・週案の作成 ・研修に向けての作成物(裁縫)	・仕事量の多さ ・時間外手当がつかない ・長期休暇がとれない(4日以上)	・子どもの成長を感じられる ・子どもの発達段階を知り得ること ・季節ごとの遊び、歌、制作物等、自分の引き出しが増えたこと

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・会議の準備	・運動会につい て	・幼児経験が全 くない中での 一人担任を任 されたこと ・先輩によつて 言う事がバラ バラで園とし ての統一がな されていない ことを感じた ・園として土台 がしっかりし てないこと	・以前いた職場 を退職する 時、保護者の 方々にねぎら いの言葉をた くさんいただ いたこと（自 分では保育に 自信がなかつ たので、保護 者の方々が言 ってくれた時 は本当に嬉し く少し自信と なった） ・子どもの成長 をこの目で見 た時 ・子どもの笑 顔！！（なに よりこれが一 番最高だと思 います）			・職員同士の意 識の違い、方 向性の違いな ど	・子どもの笑顔 を見ること成 長を日々感じ られるところ
	・研修報告書作 成	・保育感の違い が大きい人と 同じ職場にい る時は困る ・指導に対して 同調できない 人がある時 ・子育て支援に 対してクレーム を言う人が いる時	・子どもの成長 と一緒に感じ られること ・子どもの成長 の手助けが 出来ること ・子どもの成長 とともに笑顔 で多くの時間 を過ごせるこ と		・運動会資料作 り		・仕事をしなが ら楽しさを感じ られること ・自分の子ども 以外の子の成 長を間近で感 じられること ・自分の仕事に 対して熱くな れるところ
		・予想外な保護 者の言動や行 動にたまに困 惑している	・保育だけでな く、医療的な 知識や栄養士 的な知識を勉 強することが できたこと				・子どもと触れ 合い保護者と 関わることで 自分の成長に もつながり視 野が広がった ・協力し合うこ との大切さを 知ることがで きた

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・研修の報告会		・非常勤職員の配置		・会議の進行のためのまとめ書類		
	民営	・要支援児指導巡回先生毎月	・自己評価項目を書いた用紙に記入してもら	・各クラスにリーダーをおき、リーダーがクラスをまとめ指導する体制	・出勤前と仕事を終えた後の着替えの時間です		・人間関係（職場内での上下関係、保護者） ・保護者対応	・大好きな子ども達と沢山の時間を過ごす事が出来楽しい ・行事や目標に向かってやりとげた時の達成感は気持ちがいい ・コミュニケーションの力、人前で何かをする力がついた ・子育てに役立てたい知識も得た
	(株)		・査定	・園児が数多く登園する時間帯（8：30～18：00）に各クラス担当どちらかがいれるように体制を整えています、保護者と話ができるように ・なるべく研修に参加できるようにシフトの調整に取り組んでいます ・新しい園児が入園してきた時、クラスリーダーが一か月間は8：30～18：00の勤務体制にして園児が園に慣れて落ち着くまで、同じ職員で対応できるようにしています		・月案の検討 ・運動会のダンスの振り付け	・困っていることではないが、これから自分が出産などできる環境が不安 ・自分の保育スタイルがまだ固まっていないので、自信がありません	・子ども達が新しいものを発見したときのうれしさや楽しさを共有しながら自分自身も新しい発見ができること ・毎日が刺激があり、楽しくすごせること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 日誌の記入	・ 他の保育士との考え方の違い ・ 保護者支援の難しさ ・ 他の保育士のきげんをそこねない様に保育していかなければならないこと（子どもにも影響するから）	・ 大好きな子ども達と一緒にいられること ・ 保育の経験を自分の子育てにも活かせること ・ 子ども達の成長にたずさわリ、それを保護者と共に喜べること		・ 勤務表作成	・ （保育時間の長さから）事務体制 ・ 休憩が取る習慣がない ・ 職員間のまとまり	・ 自分自身が成長できること ・ いつまでも若くいられる ・ たくさんの人たちと関われる
		・ 難しい親に対する対応や声かけ ・ 行事等での製作が進まない事	・ 子どもたちの笑顔を見たり、一緒になって遊んだりして子どもと触れ合っている時 ・ 母親や保護者に子どもの事で相談された時 ・ 一つの行事に取り組んで、その中で子ども達の成長を感じられた時		・ 週カリの記入 ・ 連絡ノートの記入 ・ クラス便りのコピー	・ 保護者対応（特に精神疾患を持つ保護者への対応） ・ 事務時間を勤務内で作れない ・ 若い人材育成	・ 子どもとの毎日のかかわりから、沢山の感動をもらうこと ・ 保護者から感謝される機会に恵まれること ・ 卒園児がいつまでも保育士のことを覚えていてくれること
		・ 子どもから風邪をもらいやすいこと	・ 子どもたちのたくさんの笑顔が見られること ・ 子どもと一緒に成長できること		・ 運動会準備（書類、買い物） ・ クラス書類（下書き）		・ 子どもとの触れ合い、成長の喜び ・ 沢山の人の出会い

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営						・保護者に対する対応の難しさ	・子どもの成長を間近に感じられること
	民営			・3～5歳クラス→異年齢クラスとしている				
	民営	・年一回の職員と園長面談の中で、園長作成のアンケートによる自己評価をして面談で話し合う				・ビデオの残量（テープ）の確認 ・子ども（担当）のバースデー作り	・子ども同士のトラブルなどの仲裁に入る時、どんな言葉をかければ子ども同士が納得できるか悩んでしまう	・子どもの成長を近くで見れる ・子どもが楽しい面白いと言いい、満面の笑みを浮かべた時、嬉しい気持ちになる
	民営	・保健師講習（感染症、アレルギーなど）	・2月頃に今年度の課題に対しての評価を書いてもらう、それに対して来年度の課題をたてる					・実際子どもを産んでいなくても子どもの成長を感じることができる
	民営	・園外研修、報告	・指定用記述後園長と面談			・清掃 ・記録	・保護者への報告や保護者対応 ・時々ある急な残業	・子どもの笑顔が毎日見られる ・毎日「ありがとうございました」と保護者から声をかけてもらえる ・やりがいがある ・自分が成長できる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
					・ 鍵をあける、 カーテンをあ ける（園の） 等	・ 疲れがたまる と、腰痛等で 痛いとき々大 変に感じます	・ 経験を重ねる ごとに子ども という時間が 楽しく感じま す
		・ 子どもが体調 を崩した時の 勤務の調整	・ 子どもの笑顔 が見られた時 ・ 子どもの成長 を感じられた 時		・ 保育記録のま とめ		
		・ 精神的に追い つめられる時 ・ 社会から見た 保育士の地位	・ 人間相手の仕 事、良くも悪 くも自分を見 つめられる、 そして相手の 気持ちをわか ろうとする仕 事につけたこ と ・ 子どもの成長 した場面に立 ち会えること			・ 身体が疲れて すぐ寝てしま い、自分の時 間がほとんど 持てない	・ 子どもや父母 が喜んでくれ ることがうれ しい
・ 着替え（準備）	・ 手紙作成	・ 昨年の5歳児 の担任との対 応が違う（上 司）	・ 子どもと一緒 に過ごす喜び を知った		・ 保育室の掃除	・ 職場（保育感） の人間関係 （保育に向か う姿勢）	・ 子どもの成長 を発達援助に よって見る事 ができる ・ 自分の身体を 使って仕事を している実感 を味わえる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・全職員へ個別ファイルを配布し、自らの評価をいつでも振り返られるようにしている	・異年齢が交流して遊ぶ体制 ・子どもの興味を深めるための環境作り ・ローテーション勤務体制		・書類 ・ピアノの練習	・書類の持ち帰りの仕事が多い（勤務時間内では出来ない） ・給与が低い	・毎日が同じことの繰り返しではなく、日々の中で子どもの成長や笑顔が見られ、子どもと過ごすことの楽しさを感じられる ・大変な仕事ではあるが、やりがいのある仕事 ・色々な人との関わりの中で、自分自身の考えや行動等成長できた
	民営	・年2回合同研究会 ・月一回の職員会議、カリキュラム会議、管理職会議、全てが研修になるような内容になっている	・職務基準書に基づき、毎月自己レビューする				・行事が忙し時は体力的にきつい ・帰宅が遅い、給料低いと生活に響く	・やりがいのある仕事
	民営						・市役所など公共の施設に行くことがむずかしい（平日の保育時間と重なってしまうので）	・初めのうちから責任のある仕事を任せてもらえること ・子どもの成長を周囲の人（保護者や職員）と共有できたこと
	民営	・考課者研修（リーダー層中心に、業務改善） ・園内保育研修（自分達の保育を客観的に見直す）	・職員全体で確認した人事考課を基に年に1回自己評価をして提出してもらう、その後主任・園長との面接も昨年度は行った	・各フロア（クラス）を2交替制で行うと共に、早番・遅番体制を取り入れている ・延長保育は基本的に専用保育士・遅番保育士で行っている		・遠足の準備 ・運動会の準備 ・保育計画	・「あれをやってみよう」という事があっても、記録や計画を立てるものが多い、なかなか取りかかれない時がある ・日々の筋肉痛	・子どもとの関係が深まっていく事に喜びを感じる事 ・季節の変化や自然物との触れ合いを自身自身で楽しめるようになった事 ・人とのコミュニケーションがうまいと感じる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
					・運動会用書類作成 ・展示会用書類作成	・チーム（クラス）の保育士の人数が多いと意志統一が難しい ・新任保育士の教育	・日々成長していく子どもたちに関われること
		・サービス残業が多い	・お子さまの成長を身近で感じることができる ・お家の方に感謝の言葉を頂いた時				
		・後輩、同僚への指導	・楽しいと思える事 ・様々な知識を身につけたり、様々な経験を子どもたちとできること		・制作物の仕上げ ・書類の作成	・自身の年齢と仕事のきつさのギャップ（思うように身体がついていなくなってきたのを感じる） ・リスク管理、保育士同士のリスク感のギャップ ・家庭環境（子どもを取り巻く）の複雑さを感じると厳しい	・子どもたちとの一体感 ・子育てで、できなかった（自分の）子どもとの向き合い方を学べること ・いつまでも若いられる?!
・仕事以外の時間での職員と行事の打ち合わせ等	・誕生日カードの作成	・保護者対応の難しさが出ている、ニーズが高まっている ・給料が低めなこと	・子どもの成長を日々見られること ・大変な時もあるが、毎日何かしら笑っていられること ・健康になった（心身ともに）			・保護者との信頼関係を気付く事の難しさ	・子どもの成長していく姿を見られる事 ・仕事のやりがいを感じられる事 ・子どもと喜びを共感したり、自然の中で一緒に遊ぶ中で季節を感じられる事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・人材教育担当部	・第3者評価 ・利用アンケート	・3歳以上児は縦割保育 ・労務管理担当部が毎日の降園（退社）時間を記載し、遅い場合は注意を促す	・運動会に使用する曲選び		・保護者との関わり ・発達に関する専門知識 ・パフォーマンスのバリエーション	・子どもと接する楽しさ ・成長を手助けし見届ける事ができる
	学校法人	・園外研修（保育、保健、食事） ・園外研修（保育関係）	・園独自の項目に5段階で自己評価し、施設長へ提出年3回	・時間外保育時間帯の利用人数に添って、勤務人数の調整をして出勤表作りをしている ・休暇者の代替にフリー主任を当て、現場の手薄状況を作らない配慮をしている		・月案作成（一部）	・行事が近くなってくると、行事の仕事に追われてしまい、保育中心に動くことができなくなる ・子育て中の勤務だが、自分自身の仕事が保育中に進めることができず、残業（サービス）持ち帰りの仕事があり、家庭に影響することもあり、悩み中	・子どもの成長を身近で見守ることができ、やりがいを感じる ・人と接することで、日々いろいろな体験ができ自分自身も成長できる
	民営	・0～3歳のモンテッソーリ教育について	・一年の反省のところで5項目に分けて自己評価反省を行う（1月末までにその年度のことで）	・8:30には3歳未満児クラスは2名担任が揃っていること、9:00には全員出勤しモンテッソーリ教育の自由活動がスムーズに行えるようにしている ・職員会議は月1回土曜日の午前中に全員そろって行い、その間は、バイト、早番の先生（パート職員）で保育に実施する				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			- 子ども達と行事に向けて取り組みやり遂げた時 - 年長児を卒園させた時	職員同士との話し合い、行事準備	研修報告書作成	- クレームを言ってくる保護者への対応 - 新人職員がなかなか仕事を覚えてくれない - 職員から他職員の欠点を言われどるの様に对应したらよいか	- 子どもの成長を見られること - 行事をやり終えた後の充実感と子どもの成長や満足感が与えられること - 保護者とうまく信頼関係が結べた時
		- 子どもの園制度の複雑さがいつまでたっても解決していかない - 保護者の勤務形態等、子育てする保護者への支援として社会の理解（災害等）がもう少し深まって欲しい	- 子ども達の成長を見守り、成長した子どもと再会できる喜びが与えられる - 仕事や様々な方と関わる事で自分自身を高めることができる、見聞きを広められる - 子育て支援、地域支援に関われる		保育計画月案の作成	- 長時間保育等、現在保育園に求められていることが本当に子どものためになるのか疑問に思う事 - 保育内容について、行政などから規制が大きくなっているように感じられること	- 子ども達と関わり合って過ごす時間が本当に楽しいこと - 自分に合うと思われる職業を持って生活できたこと - 保育の仕事についたことで様々な経験を積むことができたこと
			子どもの成長が間近で見れ、やりがいを感じる				

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	絵本部会、散歩部会、食育部会、栽培部会、環境（室内）部会				行事の準備、明日の保育の準備		1日1日充実した生活を送れること - 四季、行事など季節感を感じ、生きている実感を感じられること - 子どもたちが園生活を楽しんでくれていること
	公営	- 人権に関する研修 - 個人情報に関する研修	カリキュラム会議の中で話し合っている	休暇、早番、遅番が同じクラスに重ならないようにしている	翌日の保育の準備	明日の保育の準備	- クラス内でも色々な性格の子どもがいて、子どもを教育、しつけることが大変。どう対応していいかとても迷う - 職場だけでは、その日の仕事が終わらないこと - 残業や翌朝早く出勤してまで保育の事を考えなくてはならないこと	- 子どもたちが寄ってきて一緒に遊ぼうとしてくれること - 子どもの成長を実感したとき
	公営	H23年度のテーマ（教材作り、環境の見直し、保護者支援について）	各クラス、乳児、幼児全体会議等で振り返りと改善をするようにしている	- 職員が交代勤務となり、連携がスムーズに行くように留意している - 伝え忘れがないように、メモと記録を心がけている			ひざ、腰が痛い	子どもの成長を間近に感じられること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
					・人形づくり	・肩こりと腰痛 がひどくなる こと	・子どもたちと 心から楽しんで遊んだり笑 えること ・子どもたちと 1つのことを やりとげられ ること
						・保育以外の事 務量が多い ・年々体力が追 いついていか なくなってい る ・保護者とのか かわり	・生涯やりがい を持ち、仕事 を続けられる 事 ・子どもの成長 とともに喜び、 楽しく仕事が 出来る事 ・人と人とのか かわりを持ち 続けられるこ と
						・パソコンを使 っての事務は 職場ではほと んどできず持 ち帰って行っ ている ・保護者の子ど もへの愛情が 薄くなってき ている、愛情 をもって子育て でできるよう 支援するには どうしたらよ いか ・支援の必要な 子や保護者が 多く単数担当 では援助しき れない	・子どもの成長 がみられた時 ・保護者と共感 し合えた時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・研修報告を1人10分で発表する	・子どもが多い時間帯に職員の層を厚くし、安全保育に努めている ・職員の情報を共有するためにミーティングノートに日々の伝達事項を記入し全員が目を通し周知できるようにしている			・ペープサートの作成	・保護者に伝えたいこと（子どもの姿や必要事項など）をうまく言葉に出来ない ・踊りの動きにキレがないこと	・子どもの成長していく姿をそばで見ることが出来ること ・子どもの成長していく姿を保育士間でも共感できること ・準備すればその分楽しんでる姿が見られる手応えが見られること
	公営	・こども園、小学校、中学校の連携研究 ・保育内容研究 ・環境教育 ・里地里山研究	・アンケート及び記述形式 ・外部者評価	・昼の時間を活用し、勤務時間内になるべく多くの職員が参加し、会議や研究会がもてるようにする ・時間で仕事からあがれるよう園全体のまわしを意識している ・園児数をあらかじめ把握することで、有効的に働いてもらえるようパートの職員配置を考えている ・全職員が保育内容や情報を共通理解し、把握できるようまめに報告し合ったり、連絡ノートを活用したりしている				
	公営	・老人ホームとの交流 ・他園、小学校との交流	・自己評価表を作成し、月1回提出してもらう ・日誌に保育に対する反省及び自分の思いを書いてもらう		・着替えなど		・クラスのほとんどの子が長時間保育を利用しているので、保護者とコミュニケーションが取りにくい ・大学で学んできたことと、現実に出来ていることのギャップに悩んでいる	・子ども達の成長など喜びが多いこと ・自分の工夫の結果がすぐわかり、やりがいがある

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・保護者との対応や助言が難しいことがある ・後輩の指導	・子どもの成長を肌で感じられ、喜びを保護者と共感できる ・毎日大好きな子ども達の笑顔に力をもらっています ・人と人とのふれあいで、自分を高めたり、刺激を受けることができる			・年をとってきたので体が思うように動かない ・行事や事務仕事に追われ、本来の子どもとの関わりが薄くなってしまっている ・自己啓発に関わる時間がとれない	・子どもたちの成長 ・日々の充実感 ・信頼出来る仲間に出会えたこと
	・運動会競技用の曲探し ・保育で使う踊りの振り付けを覚える	・時間に余裕が持てない ・子ども一人ひとりの関わり、ふれあいを大切にしたいが、仕事をこなすことに精一杯になってしまう ・言葉の表現や、保育の豊かさに欠けている	・保護者と共に子どもの成長を感じられた時にやりがいを感じる ・正直な気持ちで子どもと関わるができる ・子どもや保護者から学ぶことがたくさんある		・保育教材	・保護者のニーズや家庭環境が複雑化しているため、それに対応することが難しい	・子どもの成長を保護者と共に喜び合えること
	・事務的な仕事	・保護者対応 ・外国家族への対応	・子どもたちと過ごす楽しさ			・事務仕事が多すぎて、時間内に終わらず自分の時間でやっている(残業手当はつかない) ・休暇がとりにくい	・子どもと常に関われること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営			・非常勤職員との組み合わせ				
	民営	・法人研修 ・各経験年数に分かれて研修 ・各担当別研修 ・男性保育士研修	・年度のはじめと年度途中そして終わりにチェックシートを使って自己評価を行う	・書類が書ける日を、勤務表の中に入れ、フリーに出しやすい体制を整えています			・保育の記録や教材を作る時間があまり取れないこと	・子どもの成長を感じられること
	(株)		・査定	・朝・夕の合同保育		・運動会準備 ・クラスだより作成、書類関係	・職員での立場	・行事などで子どもと一緒にやりがいを感じられること
	民営	・アレルギー、障害、手遊び等の実践 ・マナー、虐待について等	・保育計画の見直しの際の自己評価 ・毎日の保育日誌の中での自己評価	・変形労働時間制を導入している ・パートだけの保育にならない様、正職が朝夕必ずいる様にする				・子どもの成長を保護者と一緒に感じられる
	民営	・園外研修の報告 ・消防訓練 ・不審者対応 ・救急法	・毎月、自分の保育を振り返り自己評価と反省を記入し提出。それに対し園側より指導助言評価を記入し返却。日誌、月案にも自己評価記入欄を設けている	・乳児クラスは必ず担任が朝の受け入れと帰りの引き渡しができるように配置している ・非常勤職員の勤務時間をムダのないように配置している				・子どもたちの成長を近くでみていけること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・製作物の準備等 ・事務的な仕事	・一般職と比べて給料少ない ・肉体的なしんどさ(肩こり、腰痛など)	・子どもの成長を感じられること		・運動会の制作	・仕事が多すぎる ・人間関係	・子どもの成長を目の前で感じられる ・やりがい
製作物の整理		・保護者との人間関係	・子どもの成長が間近で見られる ・自然に子ども目線になるので、沢山の気づきや喜びが見つけられる		・書類を作る	・仕事量が多い(考えることも含め、子どもとかかわる以外の仕事)	・子どもの成長を感じられる
・退所準備			・自分の関わった子どもの成長が見られる事 ・やりがいがある				
	・書類見直し		・子どもの成長、姿を通して自身に発見があること ・子どもの成長する姿、表情の豊かさなど日々見られること		・指導計画	・人材育成について、特に0歳児クラスは子どもの対応や保護者の対応で知識や経験が必要であり、日々緊張感を持っての保育なので、0歳児クラスの担任になると悩んでしまう保育士が多く、新人の育成について悩みます	・多くの子どもを見る事によって、同じ人間はいない事を感じ、日々の保育の中で子ども達と一緒に楽しんで過ごせる事 ・子どもの成長と発達を保護者と一緒に喜び合える事
		・子育てとの両立	・楽しい！ ・向いてると思ってる！	・着替え、トイレ、出退時の他職員への挨拶		・年長的(50代)に心身ともに疲れる事が多い(昔に比べて)	・子どもの笑顔を見る時 ・子どもの成長を感じて抱きしめたい時 ・保護者や他の職員から信頼された時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	認定こども園	- 市等の主催する研修に行った保育士の報告 - 毎日の事例報告	日誌	- フリーが3人いるので、代休の先生のかわりや0歳、1歳児保育をやってもらっている - 今年の春オープンで幼稚園より分かれてきた為、試行錯誤しています - 色々やってみてから決めています			- 前年度まで幼稚園部にいた為、乳児（0～2）への学びは、短大時代で止まっている - 日々子どもたちの姿から学び直し、先輩や経験のある同僚から学んでいるが、基本的な乳児保育を再度学び直したい、食事、排泄、午睡など生活の基本を学び直したい - 毎日細かい所で、自分の知識のなさに困っている	- 子どもが自分を必要としてくれる時と、保護者にありがとうと言われた時が一番うれしい - その年だけでなく成長してからも、その年の仕事は忘れない。思い出と共に在る仕事だということありがたい
	財団法人	各自がテーマを決めて取り組む、年度末にまとめて発表する	年1回、法人から配布される自己評価シートを記入する	- 早番、遅番が偏らない様にチェックする - 平等に休みの希望をとる - 時間内で事務的仕事を行える様、シフトを考えていく（残業を減らす努力をする）			- 一人ひとりの子どもへ適切な対応がとれない - 体力的	- 子どもの成長を身近で感じることができる - 子ども達と一緒に過ごすことで新しい発見ができる - 子どもたちの発達が勉強できる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・子どもの目に みえての成長 ・親から「あり がとう」とい う言葉や態度			・自分の子ども が病気になっ た時休む事が あるので（施 設は早く休ま せて頂ける） 申し訳ない気 持ち ・保育が個々の 子どもに合っ たものである か常に向上心 を持ちたい ・保護者に会っ てお話がなか なかできない ことがある	・子どもとのか かわり合いが 楽しい保護者 とのかかわり も楽しい ・仕事のやりが いがある ・成長した姿を 見られ幸せを 感じる
		・保護者の一部 の方（特に関 わりが長い 方）にプライ ベートな質問 をされること ・自分より経験 年数と年がか なり上だが、 スキルが下手 な保育士との 関わり方 ・役割は私が上 だが、プライ ドが高いた め、仕事を指 示されることが嫌で聞こえていないふりをされてしまう	・子ども達の成長を身近で見守ることが出来ること ・卒園した子ども達がたまに園に会いに来てくれること		・事務整理	・休憩が取れない日があることとサービス残業 ・気になる子ども（要配慮児）の他機関との連携がとれない ・職員間の連携、質向上	・子どもの成長発達をみること ・子どもの笑顔を見ること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・新園なのでまだ行っていないが、3月の年度末に保護者向け、職員向けの自己評価を行う予定です	・職員が休みでもすぐ手伝いをしていけるよう余裕をもって配属している ・早朝保育、延長保育になる前の時間帯の園児数を見て職員移動が出来るようにしている				
	民営		・簡単な課題について一年間を振り返り自己評価する					
	(株)			・各クラス担任2人制にして早出、遅出に分けている。早出が保育の主となる ・年齢が低いクラスには補助である、固定の非常勤の配置		・製作準備	・お給料が低いこと ・残業代が頂けない事	・子どもと関わること ・勉強をしたり、やりがいが感じられること
	民営		・園長との面接	・乳児と幼児の協力態勢がとれるようにしている				・子どもとその保護者と親身になって関わることができる ・子どもの成長などを身近に感じることができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・年々体力が落ちている ・給与の面	・毎日、子どもと接して大変なこともあるが、重要な時間に携わっていることの責任を強く感じる ・子どもの頃からの夢だったので、可愛い子どもたちに接することができて働きたいを感じる ・自分に子どもはいないが、今後母にな身として離乳食や育児を含め知識が多少あるので力になる		・児童票の記入		・子どもたちの成長にとっても生きがいを感じ仕事をさせて頂いています ・自らをふり返り日々勉強させて頂いています
		・勤務時間内に仕事が終わらない(事務面)	・大好きな子ども、信頼できる上司に恵まれたこと				
		・勤務時間（シフト）の幅が広い ・持ち帰って行う仕事が多い	・育児経験が活かせる ・子どもたちの笑顔に助けられ、毎日頑張っている			・休憩時間がほしい	・子ども達の笑顔が毎日みれること ・自分が子ども達に癒されること
	・運動会準備	・どのように接することが正解なのか分からない児がいる ・見通しを立てて保育をするが、なかなかその通りにいかないこと	・子どもの成長していく姿が見れること ・1つのことをやりとげた時に一緒に喜ぶことができること			・医療等専門機関との連携があまりないので、最新の対応等がわからない ・すべてにおいて最新の知識が本等でしかないこと（チャンスがない） ・家庭(子育て)との両立	・子ども達の成長を感じた時の達成感 ・子ども達と何かを共感できたときの一体感 ・保護者の不安や悩みにより添えた時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・市販されている本を購入して実施（年1回）、独自の用紙を作成し、毎月実施					
	民営					・児童票等		
	民営		・保育士については園で設定した評価に視点について、個人で月間について評価し、更に年間を通して評価を行っている。園の自己評価は評価項目についてA、B、Cで評価し、提示を行っている（Aおおむねよい、B一部検討を要するC改善を要する）	・園児の在園する時間に則した職員の配置を非常勤の職員で補っている ・経験年数の浅い職員にはベテランの職員がフォローできる体制にしている			・職員同士の人間関係（直接はあまり関係ないが見ているのがツライ）	・子どもの成長を間近で感じることができる ・子どもの成長に少しでも触れることができる ・小さい頃からの夢が叶った
	公営		・保育士の自己点検、自己評価チェックリストをしている			・教材作成 ・保育記録作成	・持ち帰りの仕事が多い ・クラスを持っているので休暇がとりにくい	・子どもと過ごす楽しさ、やりがい
	指定管理 社会福祉法人	・県外研修参加者からの伝達講習 ・実技講習（母園との保育士たちの学び合い）	・12項目の自己評価表を毎月記入、月案と一緒に提出している ・保育所全体では職員会議での内容を保育所だよりに掲載している	・都合による勤務交代は当人同士で自由やりとりしている ・研修の第4土曜日はパートの2人の保育士に来てもらっている		・週、日指導案の記入	・職場の人間関係	・子どもたちや保護者とのかわりだけではなく、自分自身を見つめ直すことができた ・子どもたち一人ひとりの成長を日々感じ、毎日充実していること ・地域の子育て支援に貢献できていること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・子どもと過 す楽しさ		・保育記録作成	・保護者の対応	・子どもから活 力をもらえる 事
					・ピアノ練習		・日本の国を支 える子どもた ちの成長
					・事務的なパソ コン作業		
		・自分の子ども が体調を崩し て、お休みを もらったり、 早退したりす るときに、同 僚は「大 丈 夫」と言っ てくれるが、心 苦しいこと ・保育理念が他 の保育士の方 たちと考えが 合わなかった り、理解しづ らかったりす るときがある こと	・様々な人た ちと出会えて、 毎日がとても 楽しいこと ・子どもたちの 感性豊かなと ころや、成長 を日々感じら れるところ ・何よりも毎日 かわいい子ど もたちと楽し く過ごせるこ とが幸せ				・子どもの成長 や保護者との 関わりの中 で、やりがい を感じられる こと

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・研修参加からの報告会	・自己評価チェックリストに評価	・ローテーションを組む上でつなぎ、保育がスムーズに行くため非常勤をあてている ・早遅番のところに非常勤を当てたりしている、ローテーションがスムーズに出来る為に			・子どもの同級生の親が保護者という方がいらっしゃるので少し困ってます	・子どもの成長と一緒に喜べること ・自分の子どもも保育士という職業に興味をもって好ましく思っていること
	公営		・記述と面談	・職員会議後議事録を回覧				・子どもの成長を間近で感じられる
	民営	・外部研修の報告	・定型様式に自己評価を記入している	・非常勤職員を多く配置することで振替や有給を取得しやすくなる				
	民営	・保育について ・造形、音楽等の活動について						・日々子どもたちの成長を感じられること
	民営							・子どもの成長を日々感じとれること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・自分の子どもとの行事が重なってしまうこと	・色々な子ども達の個性や成長が見られること ・毎日楽しく仕事ができていること				
		・保護者との関わり方	・子どもたちからパワーをもらっている ・毎日が楽しい ・人との出会いがある		・保育所の鍵あけ、見回り等	・保護者との関わり方	・子ども達から感動をもらえる事 ・いろいろな人と関わる事で勉強させられる事
		・複数担任での意見が合わない	・子どもがかわいい		・保育計画（週案）の作成	・保護者への対応が内容により難しいことがある	・人とのつながりが広がったと思います
			・子どもと共に成長できること ・子どもの成長を近くで感じられること				・子どもがさらに好きになり、知識も広がることで、いろいろな分野が学べる事
		・外国人の保護者に話をしても理解してもらえない	・自分が考えた事により色々出来るようになった事 ・子ども達が笑顔で名前を呼んでくれる時				・色々なことに子ども達が喜んでくれること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務 体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	医療 法人 運営 の民 営		・毎月項目毎に 自由に記述し ている	・月1回の職員会議は常勤・非常勤・栄養士も含め全員参加で全園児のことを共通理解している ・早遅番を専門に担当する職員(パート)がいてくれるので常勤は通常の保育時間にいられる ・契約の職員を確保することで職員本人もしくはご家族の体調不良時等対応できるようにしている		・行事の書類作成 ・保育記録	・職場の先生方との人間関係 ・体力的なキツさ	・子どもの成長に携われること ・保護者の方と子どもの成長を共に喜び見守ることが出来ること ・子どもの笑顔に元気をもらえる
	公営						・ピアノが苦手なため、ひかなければいけない時は多くの時間が必要なこと ・事務時間が十分に取れない時は休日でも仕事のことを考えなければならない時があること	・子どもの成長する姿を身近で感じられること ・自分の子育てへの勉強にもなること
	公営		・面談、書面提出	・休暇、出張、早出対応で、人員配置もきびしい状況ですが、主任、延長もフルにクラスに入ったりして対応しています				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・運動会の準備 (資料作り)	・給料が少ないこと ・成長の記録など、持ち帰りの仕事が多いこと	・6年間の子どもの成長を見守り、一緒に喜ぶことができた ・なりたくなかった職業なので、毎日子どもと触れ合えることが幸せに感じる		・児童記録票		・毎日、元気な子どもたちと楽しく過ごせることは幸せです ・子どもの成長が楽しみです ・かかわった子どもたちに慕われる充実感
						・ピアノが苦手なで避けて来たので悲しい思いをすることがある、どんどんひけたら子どもにも良い！ ・年齢的なこともあり、体力がついていけない	・子どもたちから毎日元氣がもらえる ・とてもやりがいのある楽しい仕事
	・運動会用の競技用具製作	・家庭のことより園の仕事が中心にならざるを得ないこと ・家庭に持ち帰る残業の多さ ・朝早く（7：00）に出勤しても、仕事が多まっていて早出の時間に帰れないこと	・子ども、保護者から信頼してもらっていること ・楽しそうな笑顔 ・慕って近づいてきてくれること		・保育記録	・仕事量に対して体力がついていけない ・事務時間がとれない	・子ども達と過ごせ、成長を共にし笑顔の中ですごせたこと ・生活の心配がない

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働いて 困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営						・他の先生の保育を学べる機会が少なく、自分の行っている保育が適切なかわからない ・子どもへの支援、関わり方が適切かわからない ・経験、実力が伴っていないのにクラス担任を任されること	・子ども達の成長を感じ見守ることができる ・かわいい子ども達に毎日会える ・周りの保育士の先生とチームとして子育て、保育ができること
	公営	・食育かむカム研修部会 ・園長部会で支援を必要とするこの支援体制の充実について	・月案、週案の記録により自己評価を行う					
	公営					・行事の準備		
	公営	・研修報告による勉強会						
	公営	・今年度は各クラス担当がテーマ設定（年度当初、職員間でテーマ決定）	・園独自のチェックリストを用いてチェックしている			・おたより	・書き物が多い ・給料が少ない	・職場の環境が良い ・子どもの成長を感じられる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・保育困難児への対応と保護者への伝達、専門機関との連携	・子ども達の成長を日々感じる		・保育記録 ・指導計画作成、教材研究 ・打ち合わせ会議等のまとめ		・将来ある子どもと接し、エネルギーをもらうことができ充実している ・子育て、母親の悩み等一緒に寄り添っていける
					・運動会準備		・子どもの成長が目で見え感じられる事
						・職場で仕事を終わらせようと思うと帰りが遅くなってしまう	・人間と関わる楽しさを感じ、人として豊かになったと思う
						・早朝、延長保育を利用されている親となかなか話ができないこと	・子どもたちの成長を身近で感じられること
		・休みがとりにくい ・持ちかえる仕事が多い	・子どもの成長がそばでみれる ・子どもに成長をさせてもらっている			・保護者に対する支援の仕方 ・気になる子への対応	・子どもの笑顔、笑い声で嬉しくなる ・子ども達の成長

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	- 調理員による夏冬健康メニューの講習 - 子ども、職員の健康について - 防災について	自己評価表に毎月書きこむ	異年齢保育を毎週月曜日にやっている			- 複数担任の場合の連携の取り方 - 保護者との関わり	- 子どもの成長が感じられた時 - 子ども、保護者との関係を築けたと感じられた時
	公営		自己評価用紙（保育の振り返り）を使っている。（前期と後期に向け、目標を書いてもらい園長のコメント（面談）を行う）	職員会議を確保するため、休憩時間（2交替）を工夫している				
	公営	園外での研修の伝達	前期と後期にわけて反省と目標などについて自由記述で用紙を提出してもらっている					
	公営		評価表に記入					

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・作品展の準備		・子どもの成長 を見る事がで きたとき			・主任保育士な ので、保育士 に対して思っ ていること、 言わなければ ならないこと が、上手く言 えない ・保育士だけの 仕事内容でな いことが多い、 集中して取り 組めない ・保育士の資格 を持っていな いののに、同 じ様な仕事を している現状を、 どうかと思っ ている	・楽しいと思え る場がありう れしい ・保育士(公立) の安定 ・子ども達の笑 顔が見れたり、 自分と大きな 声で笑ったり できること
					・職員研修会議 に提出する書 類作成	・年齢的にきつ くなってきた (体力面)	・子どもが好き でやりがいがある
		・保育の難しさ で精神的に落 ち込んでしま うことが多い こと ・子育て経験が なく、保護者 よりも知識不 足なこと	・子どもの成長 を子どもとと もに感じ、喜 び、送りだす ことができる こと ・子どもから学 ぶことが多い こと			・保護者にこち らの考えがう まく伝えられ ないことがあ る ・休暇の取り方	・子どもと接し ていると楽し い ・子どもの成長 を感じると嬉 しい
			・子ども達の成 長を共に喜び ながら保育が できること		・月間指導計画 の作成		

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・保育士、保育士助手、調理員、調理補助を対象に自己評価を行ってみました。そして保護者からもアンケートを作り、第三者評価をしてもらいました	・毎月行う何回かの職員会議では、保育について悩みや、支援のいる子どもについて、職員の共通認識をはかるために討議している ・遅番でクラスの先生が勤務が遅い場合も、他の職員がそこにあたり、子ども達が戸惑わないよう人員要求して、安全体制で臨んでいる				
	公営	・研修受講者の復命 ・パソコン研修 ・非常時伝達訓練（職員間）	・月間、週間指導計画及び日誌の反省評価でのふり返り ・人事考課制度において自分の行動へのふり返り	・正規職員、臨時職員共に情報の共有ができるよう努めている				
	公営	・衛生講習会（感染症に対する理解と実践） ・食育について（年令別食育の取り組みと実践）	・自己評価シートを使い行っている				・時々どう接していいかわからない時がある	・子どもと沢山接する事が出来て良かった ・子どもの成長が見れてうれしい
	公営	・研修発表 ・書類の記入の仕方etc					・臨時（無資格）なため専門知識が少ないこと ・子どもへの対応力	・子どもの成長のかわいさ
	民営	・保護者、来客、電話対応	・自己評価を半年毎に提出	・土日休みの回数を増やすため、4交代制を行っている				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・若い人を扱う 難しさ	・子どもの成長 を見られるこ と
						・自分の生きて きた年代より 若いお母さん と考え方が違 うところ	・子どもが保育 園が好きと言 ってくれた時 ・子どもの成長 がみれた時
	・クラスだより				・個人だより作 成	・保育記録など 事務的な仕事 が勤務時間内 にはではない ので持ち帰り の仕事になっ てしまう	・やりがいを感じ る ・子ども達と過 ごす時間が楽 しく、成長を 感じると嬉しい
	・保育記録 ・おたよりづく り	・書類の書き方 が分からない ・支援児に対し ての関わり方	・子どもたちの 笑顔で元気に なれる ・子どもたちが 満足そうに達 成したときの 姿を見られた とき ・子どもたちと 関われること				
・園舎の戸締り		・問題がある幼 児の保護者に 問題点の伝え 方や意志疎通 の難しさ ・保育や子育て について保護 者との考え方 が根本的に違 うと感じるこ とが多い	・子どもの成長 を日々感じら れること ・人と人とのコ ミュニケーシ ョンを学べる		・発表会のため の準備	・仕事量が多く、 勤務時間内の 他に家に持ち 帰る仕事はほ ぼ毎日ある ・年次有給休暇 が取りにくい	・子どもの成長 を見る事で喜 びが感じられ る、やりがい が感じられる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・真宗について ・年間指導計画見直し ・QC	・自己チェック表を使用 ・各自がチェックし園長からの評価を受ける	・早朝・園長保育はパートを補助とする		・教材研究		・子ども一人ひとりの小さな成長をも感じられること
	民営		・自己評価表の提出と全職員に回覧	・主任の下に、主査長、副主査長、主査、主査補を取り入れ、やる気をおこす。 ・グループにまとめ、グループ長を中心とした内容が実践されている		・描画製作の準備	・仕事内容に対する給与の低さ ・世間ではあまりきつい仕事として認識されてないこと	・子どもの成長に身近で携わることができる点 ・様々な人（保護者も含め）と関わりが持てる
	財団法人							
	民営						・話をしてもピンとこない親との関わり方	・保育を卒園しても子どもとの関係が続いていること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・事務仕事をす る時間のやり くりが困難 (持ち帰って しまう)	・子どもたちと 共に過ごし、 成長を感じら れる		・製作物 ・書類書き	・勤務時間が長 く、どうして も仕事を持ち 帰りになって しまう、仕方 ないが… ・有休は簡単に とれない	・やりが、生き がいを感じら れる仕事は誇 りに思う！！ ・子どもの人生 に関われる充 実感が味わえ る！！
	・実習生の実習 等チェック ・運動会に向け ての個人的な 準備	・子どもの事を 想うあまり、 時間外の持ち 帰り仕事や残 業が多い ・やりがいのあ る仕事で続け たいが給与が 安いこと ・声帯ポリープ が持病（職業 病）になって しまったこと	・自分自身のス キルアップが できてること ・保護者と信頼 関係をもてる ようになった こと ・たくさんの子 ども達と出合 え、成長のよ ろこびを味わ えたこと		・運動会準備	・時間内仕事が 終わらない ・人間関係	・子どもと信頼 関係を築くこ とができ成長 を日々感じと れる
	・運動会準備	・休みも仕事を したり、常に 子どものこと をかんがえて いる ・疲れがとれな い	・子どもと関わ るすばらしさ を感じる ・成長を見れる 喜び		・壁面作品のし あげ ・運動会の競技 に必要なもの を作る	・今主任ですが、 保育士の指導、 事務、0歳児 の補助と一人 何役もしなく てなならなく 大変です ・若い保育士が なかなか育た ず、3年後の 退職後を心配 しています、 1つ1つ教え ている毎日で す ・保護者との関 わり、親への 支援が年々ニ ーズも大きく なり、モンス ターもでき たり難しいで す	・日々成長著し い子ども達と 接し、エネル ギーをもらえ ます
					・9月の出席ノ ート（あゆ み）の集計、 保護者への通 信欄記入 ・9月の小口現 金の集計	・主任としての 事務仕事と自 分の（担当ク ラスの）事務 仕事の両方を こなす時間が ない ・家の義父の介 護が必要にな ってきて両立 が難しくなっ てきている (定時に帰宅 ができない)	・毎日子ども達 と触れ合い、 新鮮な気持ち で過ごせる ・適度に身体を 動かして体調 がよい

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営							・子どもの成長を身近で見られること、感じられること
	公営		・「今日も一日保育を振り返りましょう」ボードを作成し、毎日嬉しかった事や感動した事、悲しかった事などを2色の付箋に色分けして貼り、その中でもっと詳しく内容について知りたい事柄のものや、保育士の工夫や配慮した点などについて、交換日記と称して、詳細に記入してもらい、ミーティング会などで報告、検討している			・保育記録	・家に持ち帰る仕事が多いこと ・休みが取りづらいこと	・子どもの成長を感じたこと ・保護者に「保育所に来てよかった」と言われたこと
副所長	公営	・障害児研修	・各自、自己チェックリストを参考に自分自身を振り返るようにしている（随時）	・早番、遅番で保育士が欠ける ・保育室へは、時短対応保育士、又は副所長が入る様にしている		・保育教材作成 ・書類作成		
	公営		・毎月、月指導計画や個別保育記録の欄に記入し、職員会議等で意見交換し、共通理解を図るようにしている。 また、期毎に各自がPDCAのサイクルで自己評価している	・延長保育もしており、職員の勤務時間も多様であり、その中で職員間の共通理解や情報交換の場や、時間の取り方が難しく時間をどのように持つていくか工夫が必要とされる		・クラスだより作成	・子どもにとっては保育園で過ごす時間が長いので、様々な面で責任が重いなど感じる ・保護者との関わりが難しいこと	・子ども達が成長していくのを見ることが出来る ・子ども達と一緒にしかかわって遊べること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・設備点検		・給料が安い ・帰りが遅い	・子どもと共に 成長している 自分がある ・子どもの笑顔 に囲まれる				
	・運動会衣装作 り				・保育室内の整 理 ・保育教材の確 認、見直し	・持ち帰りの仕 事などで休日 も休日と感じ ない時がある	・子どもの成長、 発達を目の前 で感じれる ・子どもにとっ て、より良い 保育を考え勉 強できる環境 にいること
・昆虫、植物の 世話	・保育計画 ・教材準備	・休暇も仕事を して当たり前 な環境 ・時間外の労働 の多さ ・日焼け・女ば かりの職場環 境 ・精神的プレッ シャー	・子どもからパ ワーをもらえ る ・感動したり、 うれしいこと、 楽しいことを 経験できる ・給食が食べら れる		・保育記録の作 成 ・保育教材の作 成 ・書類作成 ・行事の準備	・仕事に対する やりがいがある が、精神的、 時間的に十分 にできないこ と ・自分の保育を 文章や言葉で 伝える力が足 りないこと ・年々、体の衰 えを感じ、健 康面に不安が あること	・子どもと過ご すことが楽し い ・保護者や地域 の人と関わる ことで、自分 の世界が広が り、成長を感じ る ・子どもの成長 や発達を感じ る喜びがある
	・指導案の作成	・まわりの協力 が薄い。一人 で頑張ってい る気がする	・子どもが自分 を好いてくれ ているなあと 思うとき ・行事がうまく いったとき ・楽しいと思え る時間がある とき		・保育記録作成	・最新機器の扱 いに時間がか かる ・分からないこ とが多い	・色々な人に会 えて勉強にな った

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・行事のあと、環境（人的、物的）などについての項目チェックや記述式で行っている	・縦割保育、年齢保育を組み合わせている				・子ども達の成長過程を側でみている中で出来るようになった喜びを共に感じられる ・笑顔がみれ癒される
	公営		・自己評価チェックシートを使って自己評価する					
	公営	・特別支援児研修 ・保護者対応	・年2回、園アンケートを実施（保護者向け）、公表することにより次年度につなげる。また年2回職員アンケートを実施（保育士向け）し、自分の保育をふりかえるきっかけとしている	・幼保一元化施設ので、複数担当（1クラスに幼稚園担当と保育園担当配置）をしている ・特別支援を必要とする子どもに対する個別指導を実施している ・園評価を活かした園運営に取り組んでいる		・事務的な仕事	・風邪や病気にかかりやすくなった	・子どもの成長を目にしなが、日々の生活を一緒に送ることができる ・先輩方の姿から様々なことを学び、自分自身成長できる
	公営		・人事評価(市)の中で行っている	・勤務条件や体制が多様化しているので、ギリギリの状態です工夫する余裕もなし		・行事の書類作成 ・子どもの個別記録記入 ・月、週案の記録記入	・保護者とのコミュニケーションに勇気がいる ・子ども一人ひとりの気持ちに寄り添って話を聞いてあげる時間的なゆとりがない、心にもゆとりがないのか ・行事の見通しがつかない	・子どもの笑顔や成長を見て一緒に喜ぶことができる ・保育のための自分自身の人間力を高めなければと思わせてくれる ・色々な家庭があり、色々なライフスタイルがあるということがわかった

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・職員の数が子どもの人数に対して少なく、ゆったりした保育ができない ・保護者とのコミュニケーションが難しい ・精神的にストレスを感じることもある	・大好きな子どもとたくさん関われる ・行事があることで四季を感じとれたり、いろいろな経験ができる ・日々勉強できることがある		・指導計画作成	・持ち帰りの仕事が多く、家で家事以外の時間はほぼ仕事になっていることが多い	・子どもの成長を感じられた時、やりがいを感じる
	・クラスだより作成	・時間外、持ち帰り仕事が多い ・仕事中心の生活、家のこと、我が子の育児がどうしてもおろそかになってしまう	・子どもたちの成長を感じることができ、喜び、幸せを感じる			・書類を書く時間がなく、家に持ち帰りになることが困る ・行事に追われて日々を過ごすことが苦痛	・自分が受けもった子どもが、保育士を目指していることや、保育士になって仕事をしていると聞いた時
	・教材製作、教材研究	・持ち帰り業務がよくある ・(特に5歳児の時) 行事が多く、行事中心の生活になってしまう	・子ども(クラス)の成長を感じられる喜び		・実習生の実習日誌の評価の記入	・やるべき事、やりたい事が多く、こなしていけない	・子どもの成長をそばで見ることができ感動が多い
	・買物(テープ) ・記録 ・買物(医薬品等)				・保育記録	・年と共に体力がなくなり、いつ病気になるか心配 ・家庭に介護を要する親があり、何かあったら休まなければならない	・子どもの成長が見られ嬉しい ・とてもやりがいのある仕事だ ・かわいい子ども達と色々な事を考えたり、経験したりして毎日が楽しい

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・ 人事評価に合わせて行っている	・ 子どもの人数に応じて無理なく保育できるよう体制や配置を心がけている				
	民営	・ 内容(テーマ)を決め、年間計画に基づき実践し合う	・ 1年間の自分自身の反省をまとめ、用紙に記入して提出又は全体で話し合う	・ 園児の人数(時間帯による)を把握し保育士の勤務体制を考える ・ 各保育室の園児数に対しての保育士の指数が満たされているか、確認し、配置する				
	公営		・ 毎回1回、自己評価表を記入し所長へ提出			・ 制作	・ 時間がない ・ する事が多い ・ 肉体的・精神的に負担がかかる	・ 子どもと関わりながら仕事ができる
	公営		・ 保育実践や保育内容を4つに分類し、さらに保育指針を踏まえ、10の項目から31の自己評価の観点を示し実施している			・ 月間指導計画作成	・ 年齢に合った保育ができているか ・ 書類の作成に時間がかかる	・ 子どもの成長が感じられる ・ 「先生」と喜んで一緒に遊ぶことができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 保育記録	・ 思うように休 暇が取れない	・ 子どもの笑顔 から元気がも らえる ・ 子どもの成長 を身近に感じ ることが出来 る		・ 指導案、他	・ 年齢が高年齢 となってきた いるので子ど も達の体力に ついていけな い ・ 若い保育士の 指導やリーダ ーとしての役 割など果たせ ているのか ・ 保護者との良 好な関係を持 てているのか	・ 子どもと一緒 に過ごせたこ と ・ 行事などやり とげたときの 達成感を子ど も達が、感じ とってくれて いる様子を見 た時
	・ 保育記録下書 き	・ 保護者との関 わり方 ・ 保護者のニー ズ ・ 終わりのない 仕事量	・ 子どもが可愛 い ・ やりがいがあ る ・ 週休二日		・ クラスだより の製作 ・ 運動会用小物 製作	・ 自分の子育て との両立があ る為、どちら も手を抜いて しまったりす る（特に家事 全般） ・ 保育所に子ど もを預けてい るので、お迎 えの時間を気 にして行動し ている ・ 若い保育士と 上司との間に 入ることがあ る	・ 子ども達に、 先生大好きと 言ってもらえ ること ・ 10年 以 上 た ち、やっと保 育士らしく行 動したり、対 応したりでき るようになった と感じられる こと ・ いつも大好き な子どもたち の笑顔に出会 えること
	・ おたより作成 ・ 指導計画作成		・ 子どもの成長 がうれしい ・ 共に 過 ぐ す 日 々 が 楽 し い		・ 誕生会の準備、 行動計画の作 成 ・ 誕生会の準備、 装飾物の作成 など	・ 家に持ち帰っ てする仕事が 多く、家事と の両立が難し く（忙しすぎ る）なること	・ 色々な地域 の方々と交流 ができる
						・ 行事の多さ ・ 保護者の要望 が多い ・ 行事が多い	・ 子どもといろ いろな発見や 驚きを楽しめ る ・ 子どもと関わ ることができる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・ 保育所保育指針の勉強会 ・ 研修報告会及び勉強会（年令別）等	・ チェックリスト（年2回）					
	民営		・ 人事考課表に記述し、所長との面談を年に1回行う	・ 主活動時間の保育の妨げにならないよう、人員配置（シフト）をしている			・ 帰宅しても次の日の準備などでゆっくりと休めない	・ 大好きな子ども達の笑顔が近くで見れる ・ 人間として成長出来る
	公営		・ チェックリストを利用して行う ・ 市における人事評価で年3回行っている	・ 園児数に応じて、指数補完を行っている ・ 職員が年休研修等で欠ける時、代替職員にきてもらっている		・ 指導計画の作成		・ 子どもの成長を身近で感じられること ・ 子どもの笑顔が見られること ・ 毎月、気づきがあり自分が成長できること
	公営		・ チェックと目標設定の評価					
	公営						・ 人間関係 ・ 子どもの一人ひとりの関わり方	・ 子ども達が私を保育士（先生）として認めてくれたこと

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		自分の子どもに満足に関わっていない	- やりがいを感じる - 辛いことがあっても子ども達が笑っているとつられてこちらも笑顔になれる		事務	- 休暇がとりにくい（行事と我が子と重なることが多く仕事を優先せざるを得ない状況） - 勤務時間で帰れない - 書類物が多い、事務的な仕事が多く教材作り等の時間がなかなか持てない	- 多くの子、保護者、職員との出会いがあったこと - 冷静に子どもを見ようと意識するようになったこと
					- 保育記録 - 行事内容を考える	後輩への指導	- いろいろな人との出会い - 子ども達と一緒に過ごすことで楽しい事、苦しいことがあるが、結局は喜びに変わっていくことが嬉しく思える - 子ども達からも学ぶことがあり私自身成長させてもらっている
			子どもたちの成長を目の前で感じ保護者と喜びを共有し合えること			やりたいこと、しなければならないことは山ほどあるが時間がない	- 子どもの発達の1つ1つに喜びを感じる - 保育を工夫していくこと
						- 家庭をほったらかしにして仕事ばかりしている - 自分の時間がない	
						0歳児は途中入園の子が多いので一年を通してバタバタしている	- やりがいがある - 充実感

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・気になる子について ・行事についての検討会	・各自、保育や自分自身について振り返り、自己評価表を記入し、月毎に年令（クラス）で話し合い、まとめたことを会議等で報告する	・早出、遅出で保育士が手薄にならないように年令で合同保育を行ったり、フリー保育士がサポートに入る		・保育記録	・いろんな事を言っておき、保護者についていくこと	・子どもの成長や喜びを保護者や子どもたちと感じられる ・子どもと活動を共にして楽しい ・子どもの笑顔がいつも感じられる
	民営		・当園独自に作成した自己点検記録簿により問題点をあげクラス毎で話し合う	・新人保育士同志、経験ある保育士同志、同じクラスの担任同志が重ならないようにする ・土曜日は別に体制を組む			・残ってする仕事や持ち帰りの仕事が多い事 ・ピアノが苦手なこと	・子ども達の成長や喜んでくれる顔が近くで見れる事
	民営	・ケース会議 ・ヒヤリハット会議	・保育士のチェックリストを活用	・短時間で早番、遅番専門の保育士がいる			・人間関係	・子どもの成長が嬉しい
	公営	・保育に活かせる遊び、言葉かけなど、怪我の手当、自己防止について	・シートにより自己評価を行い、主任、園長へ提出、まとめたものの傾向について話し合う	・時差出勤を行うにあたり、安全加配保育士、主任で対応する				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・時間が足りない ・休憩時間がない ・休日に行事が入って休めない	・子どもの成長を見ることができ感動できる	・欠席している子の様子を聞くため、母親に電話をかける、その後園長に報告する	・保育教材作成 ・行事準備物（書類）作成	・保護者からのニーズ対応（モンスターペアレント的な保護者が多くなってきている） ・早朝保育、長時間、延長保育に対応して出勤する場合、自分の子どもをみることができない（自分の子育てが十分にできない）	・やりがいを感じることができる ・卒園した子どもが園に遊びに来たり、保育実習に来て成長した姿を見せてくれることがある
		・土曜日の休みが少ない ・家のことがなかなか後回しになってしまいう、自分の子どもと十分にかかわれていない感がある	・大好きな子どもと接することができる ・いろんな方と話ができる ・生き生きと生活できる			・行事に追われ準備など毎日遅くまで残らないとだめなところ（追いつかない）	・子どもといると楽しく笑顔でいられること ・子どもや保護者から「先生」と慕ってもらえること
		・子どもたちがまとまらない（まとめようとしているからなのかもしれないとあせり） ・↑他の保育士の目が怖い ・自分に子どもがいないので適切なアドバイスができない	・子どもの成長がみられたとき ・子どもたちと楽しさや嬉しさを共感できたとき ・保護者の方に感謝されたとき、一緒に喜び合えたとき			・記録物が多い	・子どもの成長を共に喜ぶことが出来た
			・子どもの笑顔や成長を見れること ・自分自身毎日楽しく過ごしていること	・次の日が運動会のため、運動会準備	・週日案の記入	・だんだん体力が衰えてきている感じがして、肉体的なきつさを感じる ・書類など持ち帰りの仕事があり、休みの日も仕事のことが頭から離れない ・自分の子どもと行事が重なると見に行けず、子どもに申し訳ない気持ちになる	・子どもと一緒に過ごす時間がとても楽しい ・子どもの成長は間近で感じられることが嬉しい ・なりた職業だったのでやりがいを感じる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・保育士チェックリスト					
	公営	・指導計画案	・自己評価、チェックリストを使い、年2回全体で行います	・障がいの子が長時間保育の時間帯に何人か残っているので安全面で配慮した体制にしている		・誕生カードの作成	・保育で子どもと関わっている時間以外にも、事務的な仕事、保材研究、製作にかける時間、行事の準備などが大変	・子どもの成長を感じ、一緒に喜べる
	公営		・チェックリスト					
	公営	・園内研修をして2月に発表している					・臨職という中途半端な立場なので将来が不安	・子どもと関わることができる ・自分の持つ資格を活かすことができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		子どものことや保護者への対応等、ゆっくり相談する時間がないこと	子どもの成長を近くで見ることができ喜び		- 日誌記入 - 来月の予定表作成 - 運動会について園内環境作りと提出書類チェック等	仕事量(量的、質的、精神的)の増加に伴い、家庭がおろそかになってしまっている。又、十分なことができない	- 心から子どもや保護者に信頼され、子どもの成長を見る事が出来た時 - 人として学ぶことが多く、色々な人と関わる中、自分自多少成長できたのではないかと思う - 子どもの笑顔と頑張りにつれ過ごす事ができる毎日
	- 週案 - 運動会の準備	持ち帰りの仕事が多いこと	- 子どもたちと一緒に思いきり遊んだり、いろんなことを感じる事ができること - 子どもの成長を感じた時		事務的な仕事	保育だけの仕事ではなく、その他の事務的な仕事や教材研究などの持ち帰りの仕事が多い。時間が足りない	- 子どもと過ごす時間がもてること - 子どもの育ち、成長に少しでも関わり喜べること
	保育記録や代替日誌などの記入	- 園児が小人数でも事務的な作業も多く、期日に間に合わず迷惑をかけてしまう - 持病があるので体力的に辛い時がある - 主任など会議で留守にすることが多く、何かあった時の責任など不安がある	- 自分の子ども以外での、子どもの成長を毎日感じられる事(保護者よりも) - 様々な研修会での人との出会いや情報が勉強になる - 巡回指導や園長先生の話がとても参考になり、指導していただける事ありがたい		保育の記録	持ち帰り仕事が多い	仕事は大変だが、子どもの成長を感じることで、やりがいはある
				身回りの事		自分の子どもの行事に参加できない(同じ市立保育園なので)	- 卒園児が保育士をめざしてくれている事 - たくさんの人(親、子ども、同僚)に出会えた事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務 体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営	・救急講習会	・村で実施して いる人事考課	・朝7:30から 受入れ（長時 間）している が、未満児が 多いので未満 児クラスの嘱 託を7:30～ 4:00までの 勤務にしてい る（子が慣れ ていてスム ーズに入れるた め）		・資料作成 ・保育準備、製 作	・帰宅後の持ち 帰り仕事が多 い	・子どもと関わ れる時間をた くさんもてる
	公営		・職員会月1回 他				・ピアノの練習 をする暇がな い ・アカペラで歌 うと音を外し てしまう	・子ども達の成 長を見れる事 ・子ども達が笑 顔で「先生 !!」と呼んで くれること
	民営		・年度末に項目 を決めて文章 にまとめる ・全職員に配布 し職員会で報 告	・早朝、夕方の 保育できるだ け正規職員で できるように 工夫している ・延長の職員 も、職員会議 に参加し、子 どもの様子等 話合っている				
	公営	・担当職員が講 師になり行う	・自己評価チェ ックリスト使 用	・以上児クラス の異年齢交流 ・外からの人形 劇、コンサート の時は職員が 全員出勤でな い時でも催す ・勤務体制は職 員のそれぞれの 思いもあるので 平等に近い状 態で組んでい ます ・朝・夕2Hと決 まったパート 保育士がいる		・個別記録表、 週案		
	公営							

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・運動会、音楽 づくり	・保育者への対応 ・グリーゾーン の子に対する 保育、クラス 運営	・子どもの成長 を保護者の方 と喜べること ・子どもと一緒 に新しいこと に挑戦できる こと		・運動会用品作 り	・子育てとの両 立 ・支援児への支 援方法、また は保護者から 理解を得る事	・子どもたちか ら元気がもら えている ・様々な出会い がある
		・自分の子ども の具合が悪く なってもすぐ に抜けること ができない (代替が必要 なので) ・行事前に持ち 帰りの仕事 がある時	・子どもの成長 や保護者との 信頼が目に見 えてわかった 時のやりがい			・保護者の方と の信頼関係	・子ども達の成 長を見守った り一緒に喜べ る ・一緒に何かを やり遂げる充 実感を味わえ る ・子ども達の純 粋さや笑顔に 癒される
	・月案を立てる	・保護者や職員 などの人間関 係の難しさ ・持ち帰り仕事 が多い ・仕事とプライ ベートの差が つけにくい	・1日たくさん 笑える ・子どもの成長 に感動する瞬 間にたくさん 出会える ・「昨日と同じ」 な日がない			・パートなので 給与が安い ・業務以外(勤 務時間外)の 会議や仕事 がある	・やりがいがあ る ・一緒に成長で きる ・楽しい
	・運動会衣装作 り	・書類の量(持 ち帰りが多 い)	・子どもの成長 を身近で感じ られる ・保護者とのコ ミュニケーシ ョンがとれて いるとき		・資料映像の整 理プリント	・持ち帰り仕事 が多い ・書類等を行う 時間がなかなか 取れない ・子育て支援に 携わりたいが、 立場が変わり クラスに入る ことや子ども に接する時間 が少ない	・子どもの成長 を自分の仕事 の成果として みられる ・充実感やりが いを感じられ る
	・クラスだより づくり	・個別記録を書 く時間がない ・保護者との関 わり方	・子どもと過 ぎす時間が楽し い ・子どもの成長 が見られて嬉 しい			・保護者との対 応、子育て支 援の難しさ ・発達の遅れや 障害の子ども の指導や保育 ・事務量の多さ	・やりがいを感じ る ・子どもが可愛 く、幸せな毎 日を送ることが できる ・正規職員なの で安定してい る

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・チェック表の利用	・急に早出があった時など次の日また都合のつく日に時間分早く帰る				
	公営	・特別支援（CLM）	・市の人事評価（目標管理）	・夏期は3歳以上児は混合保育			・子どもの気持ちをうまく汲みとってあげられないこと ・その子に合った関わりがどのようなものなのかが分からないこと	・子どもからたくさん笑顔や感動をもらっていること ・子どもの成長を間近で見られること
	公営	・研修会参加報告	・チェックシート活用 ・目標管理シート共に記述を含む	・認定こども園となり、幼児教育は14時までとし、14時以降は担当保育士に引き継ぐ（4、5歳児） ・職員数は計画時より集まらなかったため、早朝保育、バス乗車、14時以降専門、長時間延長保育のみ担当等、利用者の希望時間により細かく対応している ・副園長2名はフリーとして、研修、休暇対応等にも対処			・書類作成 ・有休消化ができない ・人間関係	・子ども達と過ごす時間が楽しい
	その他		・自己評価チェックリスト					

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
					・ 日誌などの記 録	・ 休みたい時に なかなか年休 が取りづらい (代わりの人 がいないため 他クラスの先 生に迷惑をか ける)	・ 子どもが成長 し、大人にな ってからも親 しく話しかけ 、遊びに来て くれること
	・ 日誌や週案	・ 気がかりなこ と、心配なこ とがあると休 みの日もとて も考えてしま う、気持ちが 休まらない	・ 子どもの成長 を近くで感じ られること				
		・ 家事、育児と 仕事の両立の 難しさ	・ 毎日子ども 達と関われ、 色々な発見が できること		・ 保育日誌	・ 体力の低下 ・ 事務的な仕事 の増加	・ 日々、新しい 発見があり、 感動出来る事 ・ 事務的に仕事 を消化するの ではなく、自 分で考え、進 めていくこと ができる
		・ 個々の育ちに 如何に対応す るか、自己研 鑽を感じる	・ 成長期にある 子のその日そ の日の楽しさ		・ 保育記録	・ 保育教材など 製作時間の確 保	・ 子どもの笑顔 が見れる (泣 いた顔もかわ いらしい)

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・まだ民営化して初年度ですので、体制を整えてから園内研修を実施します ・県の研修、市の研修には職員を積極的に行かせています	・朝7時からパートの先生2名（7：00～9：00） ・夕4時からパートの先生2名（4：00～7：00） ・6時間（9：00～16：00）の嘱託の先生を配置しています			・運動会の準備	・仕事量	・子どもの笑顔 ・子どもの成長 ・子どもから「だいすき」と言ってもらえること
	民営	・年齢別研究会 ・委員会（3園合同で月1回） ・主任会	・チェック表	・初任の保育士が学習しやすい複数担任制など		・クラスだよりなど書類作成	・子どもの気持ちがつかめないこと ・職場での人間関係	・子どもたちの笑顔や大好きと言ってくれること
	民営	・関市保育会の研修 ・民間保育園研修（県・市）		・朝（登園）夕方（降園）は二人ですが、一人は非常勤にしています ・未満児から年中までは1クラスでやっています（担任は複数）		・運動会準備		
	民営		・園独自の自己チェックリストを作成（保育内容等の自己評価） ・年に2回、園長と主任保育士が実施			・製作の準備、仕上げ	・有休が取りづらい、とりたいたい時にとれない ・残業時間がいまいなのでタイムカードにしたい	・毎日子ども達と生活できる ・子どもの成長が見ることができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・運動会衣装の見直し ・個別記録の下書き	・複数担任の連携 ・人間関係 ・様々な親との対応	・子どもが慕ってくれる ・保護者が頼りにしてくれる ・様々な世代の保護者と通してその時々親子関係が見える		・ピアノ練習	・親への支援の難しさ	・子どもと居ることが楽しい ・子どもの成長が良くわかりやりがいがある
	・週案の記入	・仕事量と給与が割りに合っていない、ボランティア残業が多すぎる ・定時に帰れない、帰ると家での仕事が増える ・人間相手なので接し方に正解がない	・子どもが自分のような先生になりたいと思ってくれていること ・毎日うれしそうに登園してくれること ・多くの人と接し（幅広い年齢層）、多くのことを学べる				
	・運動会準備	・幼い子が増えた	・子どもに癒されること			・家庭で教えるべき事も、全て保育園でやってもらおうとする保護者が増えた	・子どものかわいさと、癒されること
	・明日の保育活動の用意	・上司の相談したいこと、報告したいことがあっても忙しく、なかなか見えない為相談したり報告できない ・有休が取りづらい（取りたい時に取ることができない） ・残業時間がタイムカードにして欲しい	・子どもと楽しく過ごすことができる ・笑顔でいられる ・子ども達と楽しく体を動かせる			・10年前と比べて過保護な保護者が増えてきた ・延長保育が無料なため、必要以上に保育時間が長い子が多い ・上司が忙しく、相談や報告がすぐにできない時がある	・やりがいがあり楽しい ・人とのつながりがあり、卒園児や保護者と長くつき合いがある ・自分の今後の人生（子育てなど）に活かせる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	その他		・自己チェックリストにて評価	・クラス担任が保育に支障が少ないように 遅番をパート職員で行っている		・個別記録	・保育の難しさ ・保護者との関わり	・子どもたちの成長を毎日感じることが出来ること ・子どもたちの笑顔を見ることが出来ること
	民営			・少人数であるが年齢の発達を考慮すること				
	公営	・各保育士が企画、進行の自己研修 ・調理、延長保育研修		・子どもの年齢、人数に合った人員の配置 ・早朝、延長保育時の危機管理のマニュアル化と見直し ・基本的には年齢別保育ですが、秋～春にかけて、縦割り保育の時間も持ち異年齢交流保育を行う ・特別支援の子への保育（その子にあった加配保育士が配置されています） ・延長保育、土曜保育ではなるべく加配担当できるように工夫しています		・気になる子どもの行動チェックリスト	・家でも持ち帰り仕事をやらなくてはいけない時がある ・子ども一人ひとりの発達や特性の把握が難しい	・子どもと一緒に成長できる、成長を見れる ・子ども、保護者、同僚などとの繋がりが深まり毎日が楽しい ・自分らしく仕事ができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・来週の週案	・保護者との関わり（伝えたい事をどう伝えるか？事実をそのまま話すのか？） ・腰、ひざなど悪くすること ・新人などの指導法、関わり（新人の気持ちがまだ分かる年令なので強く言えず（同じ事はしないでおうと…）でも、フランクにしすぎて緊張感を持たせられず、なানাあになってしまった気が…）	・大好きな子どもと、ずっと真剣に向き合える ・自分の考えたもの（保育）アイデアを出して保育という形にできること ・小さかった子どもが心も身体も大きく成長していく姿を見れること		・指導計画の作成、教材研究	・月案、週案、日誌、月だより、期案などの書類が多く書くのが大変である ・公開保育も計画を立ててやったりするのは日々の保育をやっている大変である ・親支援という事で、お休み（仕事）の日でも遅番に残る子どもが多く、たくさんの子どものなになってしまい見るのが大変（先生の数を増やせば又負担になる）	・子どもの成長が見れて嬉しい ・自分の計画した活動を子どもが楽しんでる姿が見れる
	・環境設備、受け入れ準備 ・保育教材作成	・命を預かる責任の重さにつぶされそうになります ・保護者との意思の疎通	・子どもと共に、自分も成長できる、日々学習 ・子ども達の笑顔、素直な気持ちに触れられる	・保育準備、保育園フェアの練習	・週案作成 ・月案作成 ・フェアの楽器作り	・年々保育のニーズが複雑になり、対応が難しくなっている事 ・家庭との両立	・子どもの成長を喜び合えた時（本人・同僚・保護者と） ・子ども達の中から出てきた思い気持ちをとらへ、活動に繋げていくことの過程を子ども達と楽しんだり、その活動の中で、子ども達が関わり合い成長したり、お互いに達成感を感じ合えた時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・感染症対策の実技研修	・自己評価のチェック項目を各自チェックし、職員全員で検討し改善できる部分を実施している	・園児数が少ないので、以上児は一緒のクラスにして縦割りの良さを活かしている			・自分の保育に自信が持てず、常に後悔してばかりいること	・子どもが本当にかわいくて、触れ合ったり遊んだりする時間が心底楽しいと思えること
	公営	・クラスの見直し ・年齢別話し合い	・各自評価を行いグループ会議をしている				・体力的にハードで疲れた状態が抜けないうまま働くことが多い	・子どもに好かれていると感じるときやりがいを感じる
	公営	・わらべうたについて						・乳児と関わる機会がもてる ・幼稚園、保育園の違いを知れる
	公営	・職場内研修（自己チェック） ・職員会の研修（事務的なもの） ・時間内保育内容研修（年令別）	・チェック項目を分析、自分の弱点・強みを知り、保育・職場に活かす	・体制や改善案は常に公立園全体で情報交換・話し合いをし、足並みをそろえている		・個人記録	・腰が痛い、体力がない ・週案・月案はどうしても家でやらなければいけない ・子どもとどう関わったら良いかわからない時がある	・子どもたちがとにかくかわい、嫌なことがあっても、救われます ・たくさんいい先輩先生と知り合えたこと ・週休2日で安定していること
	公営	・給食検討会	・公立3園で統一した内容の評価表を使用し、年1回実施結果を基に個別に不足している部分の話し合いをする	・入園希望者多数のため4、5歳児、1、2歳児クラスを各1クラスずつ混合クラスにしている ・入園児の保育時間に合わせ30～15分単位での職員の勤務時間を臨機応変にローテーションを組んでいる（月単位で見直しをする）			・家事と仕事の両立 ・我が子の子育てが、園で見ている子と同じようにはできていない事 ・プライベートな時間でも保護者と偶然会う事もあり、保育士としての意識を常に持ち続けなければならない事	・子ども達が一つ一つ成長していく姿をすぐ側で見守る事ができる ・仕事での経験を自分の子育てに活かす事ができる ・やりがいがある

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・子どもの成長を共に喜び合えること				
		・同僚との保護者観の違い	・楽しい				
					・クラスだよりの作成 ・月案	・年々、保護者に対する対応の難しさを感じている	・大きな行事を終えた時など子ども達と一緒に何とも言えない達成感を感じる時など ・子どもと一緒に生活をしていなければ普段見過ごしがちな小さな発見や感動を子ども達に教えてもらえる
	・運動会(教材)作成		・子どもが自分をたよってきってくれること	・子どもの準備・支度など ・保育室の準備など	・製作などの準備、記録など	・後輩保育士への接し方 ・持病がありいつ悪化するか不安 ・自身が持てない、体力、気力が減っている	・子どもの成長を近くで感じることができる ・子どもなど自分を頼ってくれる(感謝されたり…)、人の役に為になることができたと感じる時
	・運動会関係の書類作成	・自分の体力が追いつかない事 ・もっと専門性を高めたいが、その事に費やす時間の余裕がない事 ・受け持つ保護者の生活面、精神面へのフォローができず、子どもに返せない事(1名)	・子どもとの触れ合いの楽しさ(日々の生活) ・乳児のちょっとした成長を肌で感じられる事 ・0歳から6歳までの成長を見届けられる幸せ		・運動会について		

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・チェックリストによりチェックしてグループで話し合いを行う	・原則として複数担任で保育を行っています。		・保育教材の作成		・子どもと関わる事が、保育士になってからの方がより楽しいと感じるようになった ・仕事は難しい事が多いが、学生の時よりも学ぶ意欲が増してきていること ・自分の将来にも役立つし、人として相手にどう関わるべきかを考える事が増えた
	民営		・テキストを使って自己評価をしています			・行事の立案や練習 ・書類	・病気等全く知らない為、保護者からの質問にすぐ答えられない	・子どもの発達を知れる ・毎日子どもの笑顔を見せて幸せ ・子どもが成長した（していく）姿が見れる
	民営	・記録について（児童票、日誌他） ・苦情について（内容、対策、対応）	・チェックリストの項目→集計→検討（園内研修）	・環境（物的、人的）を大切にしたい保育 ・非常勤（非正規）職員をフルタイムにし、又、固定勤務時間にし、正規職員のローテーション等を軽減している。			・人間関係の難しさ ・子どもに対する声かけ、援助の方法 ・保護者とのコミュニケーション	・子どもの成長を感じられること ・子どもが笑顔で遊ぶ姿を見た時 ・子どもと信頼関係を築けた時
	民営							

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 打ち合わせ資 料をまとめる	・ 保護者へのお 願いしたい事 柄や子どもを 怪我させてし まった時の伝 達の仕方 ・ 先輩、後輩と の人間関係作 り ・ 書類（パソコ ン作業）の多 さや森帰り仕 事の多さ	・ 子ども達の成 長を感じられ る事 ・ 自分が提案し た保育内容を 子ども達が楽 しそうに取り 組んでいた時 ・ 子ども達の笑 顔で気持ちが 和らいだり、 癒された時			・ 子どもの怪我 に対して ・ 1人1人の感 情に対して、 十分に接して あげられてい ない事に対し て	・ 子どもと毎日 楽しく過ごせ ている事 ・ 成長なのを十 分に感じられ る事
・ 行事(運動会) の用具準備な ど	・ 行事のプリン ト作成など	・ 保護者の関わ りが難しい (子どものた めに行ってい ること、行事 のことなどで 自分中心の意 見が多い、言 うことは多く、 手伝いなど協 力的ではない)	・ 子どもたちの 成長を長い子 では0歳～み ているので嬉 しく感じる ・ 毎日同じこと のくり返して はないのでや りがいいがある ・ 自分の奥さん にも子育ての アドバイスが できる	・ 勤務に入る入 る前の準備		・ 保護者の対応	・ 子どもの成長 を近くで見れ る
	・ 児童票下書き	・ 保護者への対 応 ・ 勤務体制、仕 事内容	・ 子どもと一緒 にすることで 楽しさを感じ 笑顔になれる		・ 行事について (資 料 探 し、 ピアノ練習)	・ 保護者との人 間関係 ・ 休み（有給） が取りづらい …取れない ・ 仕事内容が難 しくなってい くこと	・ 子どもの成長 を喜べる ・ 保育士という 響きが周りの 受けがいい
		・ 自分のやりた いことを素直 にできないこ と ・ 家に持ち帰る 仕事の多さ	・ 子どもの成長 を間近で見 ることができ 、素直な反応 や感動をとも にあげられる ・ 自分が考えた 保育内容で、 子どもたちの 笑顔がたくさ ん見られたこ と ・ 様々な人との 出会い、子ど もたちと過ご す中で、自分 自身が成長で きること			・ 保育記録作成 が職場で時間 が取れず、家 に持ち帰って やらなければ ならないこと ・ 保育士が少な い為、有給休 暇が思うよう にとれない	・ 子どもが一つ 色々な事がで きるようにな った時、教え たことが出来 た時、成長を 見れる時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・実技研修（わらべうた、文学遊び、救急） ・子どもの発達、指針、保護者との関わり、環境設定	・チェックリストを使用し自己評価を行い、前年度評価と比較し、集計したものを個人に渡す。後日会議等でそれを基に話す				・クラスが3人担当で、担当制で自分の担当ではない子に対しての接し方（上の先生に気をつかう） ・自由保育のやり方がいまいちわからない	・子どもの成長が目で見えてわかること
	民営	・年齢部会 ・それぞれ職種の研修をしている	・（評価表を作る） ・自分の目標を3つ掲げ（2つは職員共通の目標）（残りの1つは自分の目標）それに向け取り組んでいる、これに対し毎月自分で評価をし反省を記入し○×△を入れる	・早番遅番に関し人数調整しそれに対しての職員を配置する		・運動会の製作物		・子どもの成長を間近で見られること
	民営		・年1・2回実施し、園平均と法人保育園の平均を集計している、そして個別面接やグループ会議を行い、質の向上につなげている	・正規職員が早・遅番勤務を行い、非正規職員にはあたらないようにしている ・書類等もなるべく正規職員が担うようにしている		・児童票	・保護者への対応 ・複数担任の連携の難しさ ・個々に合わせた保育の難しさ	・可愛い子どもの成長した姿が見れる ・子ども達から“せんせい”と呼んでもらい、頼りにしてくれている ・毎日子どもの笑顔にいやされる
	民営		・年3回、○×方式でチェックし、各項目毎にグラフ化した後、他者との比較をし、気づき・課題を挙げている	・できるだけ勤務時間内で業務を終えていただき、清掃後速やかに帰宅できるようなシフト作り ・早番・遅番・土・日・祝日の出勤は不平等にならない勤務表作成		・書類	・職員関係があまり良くない ・家での仕事が多い	・子どもと一緒に成長できる ・子どもの成長が見られる
	民営		・一年間の反省の中で自己評価する				・休日でも保護者や上司等に会うこと（プライベートがあまりない）	・子どもの心の成長を見る事ができた時、良かったと思う ・自分の子育てに役立てる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ その月に出す 新しい絵本を 用意した	・ 若手保育士へ、 上の先生達、 園長、主任の バックアップ がもっとほし いこと	・ 人とのつなが り、心温まる エピソード ・ 子ども達から もらうすてき な笑顔、元気 や力をもらっ たり励まされ たりするetc … ・ 子ども達から 学ぶ自分が成 長できたこと			・ 親との関わり が年々難しい と思う	・ 不安定な子ど もが保育園に いる時間だけ でも楽しく過 ごしているな と感じた事 ・ 子どもが自分 に甘えて（心 から）いるこ と
			・ 今の子どもや 保護者の実態 を知ることが できる ・ 興味のある研 修や勉強会に たくさん出さ せてもらい、 知識が増えて いくこと ・ 行事を通して 季節が感じら れること		・ 子どもの記録	・ 他の保育士が 残って仕事を している手前、 業務終了時刻 をまわっても 帰りにくい ・ 異動がある	・ 子どもが成長 していく姿が 見られること
	・ 運動会用小物 の製作	・ どうしても持 ち帰りの仕事 があるので休 日でも仕事を 離れることが できない ・ 生理日のプー ルが大変	・ 自分自身成長 することがで きた ・ たくさんの人 と出会うこと ができた ・ 辛いことがあ っても子ども 達のおかげで 笑顔でいるこ とができた				
	・ 運動会お遊戯 用の衣装	・ 頼まれ事があ るとうまく断 れず結果的に 受けてしまう こと ・ 長年いると頼 られてしまう ことが多く、 荷が重い時が ある	・ 毎日子どもと 楽しく過ごせ ること		・ 月のクラスだ より ・ 担当行事に向 けての計画 ・ 新入園児の資 料まとめ	・ 先輩に教えて もらった経験 が少ない中で の後輩指導 ・ 気になる子、 生きにくい子 に対しての支 援とクラス運 営 ・ 自分が行って いる事が良い のか、間違っ ていないか不 安になる事が ある	・ 保護者の支援 ができること ・ 成長を共に感 じ喜びの多い 仕事であるこ と（笑顔でい られる事が多 い仕事） ・ 卒園児が大き くなり遊びに 来てくれて保 育士になりたい と言ってくれ た事
	・ 児童表、日誌 の記入				・ 児童票の記入	・ 保護者への対 応 ・ 職場での人間 関係	・ 子ども達と一 緒に過ごすこ とができる、 成長が見られ る ・ やりがいがある

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・危機管理 ・環境作品	・全国統一の評価表に基づく	・子ども達の安全への配慮、安定への配慮をして、必要な時間の保育士の移動をしている ・長時間保育児が体制以上に多いので、超過勤務とならない時間内で保育士を配置(独自の勤務体制)している			・職員間や保護者との人間関係を築くことで悩みがつかない	・子どもの成長の瞬間に日々立ち会えること
	公営	・園内で資料をもちより研修をする	・自己評価チェックリストを各自で行い、その反省や評価を自分自身で書き出し、改善すべき点を職場内で話し合う	・夕刻の保育を遅番1人もう1人17時15分までの時間で2人体制にし、朝の8時30分から時間帯に保育士が集中するようにし、受け入れるようにしている	・戸締り、着替え	・CD体操の練習	・女性の職場の為、しっかりと馴染む事が難しい ・男性、女性という事から、考え方、捉え方の視点が違う ・強く意見が言いつらい	・多くの子が見れる事 ・子どもの自由な発想がみたり、聞ける事 ・自分で考え、子どもの達と一緒に目標に向かえる事
	公営		・評価項目は決まっておりそれに対して自由記述	・フリー保育士を遅番対応としている		・教材研究	・持ち帰り仕事が多い ・保護者との人間関係が難しい	・子どもが笑顔で園に来てくれる ・子どもとの関わりが楽しい
	公営		・豊田市で作っているものを使用している	・小規模園ということで、2つの園を園長が兼務しています、一日置きに交替で行ったり来たりです、主任・保育士・公務手さんは両園にそれぞれいます				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・時差勤務が肉 体的にきつい と感じる時	・子どもの成長 を感じたり、 子ども達の姿 を可愛いと感 じた時
		・子どもや保護 者への対応で 難しさを感じる 時	・子どもの成長 を側で感じる ことができた こと				
				・出勤前の環境 整備と早番の 部屋の鍵開け	・運動会の教材 製作 ・実践記録	・私物の荷物が 増え置き場所 がない	・人としての自 分の行動につ いて振り返る ことができる ・健康的に生活 を過ごせる ・いろいろな人 とのつながり ができる
					・実習生の記録 作成	・家庭とのバラ ンス、両立を とること	・自分がおもし ろいと思った ことが、全て 仕事で役立て られること ・人間的に成長 できる仲間に 会えたこと ・自分は足りな い所もたくさ んあるが、周 りの人に支え られているこ とを実感でき ること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働いて 困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営		・保育士のための自己評価チェックリスト	・時差出勤	・行事の準備	・行事（運動会）で必要なものを製作	・家に帰ってからの仕事も多いこと ・行事（運動会、生活発表会など）のプレッシャー ・人間関係	・子どもたちの成長を間近で感じることができた ・子どもたちとの関係が少しずつ深くなっていくことの嬉しさ ・やりがいを感じられること
	公営		・年度初めに1～5評価の各項目に丸をつけ、自己評価をとり、年度末に再度同じようにとりその差を評価する	・障害児担当とクラス担当が入れかわり、担当する日を作り、お互い違う立場で子どもを見合い共通理解をする				
	公営					・指導計画の作成 ・保育記録の記入		

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・運動会の用具 や衣装作り、 構成作り	・持ち帰りの仕 事が多く、プ ライベートの 時間が減って しまう ・給料が少ない ・様々な家庭背 景における家 庭支援	・子どもの成長 が知れた ・自分が成長で きた ・満足感を感じ る		・運動会小道具 作り ・事務的な仕事		・これからの子 ども達の成長 の手助けがで きる ・自分の子ども を育てるのに 参考になるこ とが多い
		・書類が多い	・子どもの関わ りが楽しい ・子どもの成長 を喜ぶことが できる		・事務的は仕事 にかけた時間 ・保育教材を作 成するのにか けた時間	・保護者との子 ども理解のズ レ ・書類など家へ 持ち帰る仕事 の多さ ・若い保育士と の連携の取り にくさ	・子ども達が慕 ってくれるこ との喜び ・母親から感謝 されることの 喜び ・保育の充実感、 達成感
		・保育の内容や 課程を保護者 に伝えづらい ・平日に休暇を いれると、他 の保育士の負 担になるので フリーの保育 士が欲しい	・子育てに関す ること、子ど もへの理解を 深めることが できた ・子どもと心が 通じ合った時、 やりがいを感じ る		・事務 ・保育準備	・持ち帰りの仕 事が大変多く て家庭の事が 全て後回し ・帰宅時間が遅 くて、自分の 子どもと関わ れる時間がお ろそかになっ ている ・休日でも仕事に 費やす時間が 多く、休みが 休みでない ・全てストレス、 年を重ねるう ち体にも異変 が現れてくる (めまい、難 聴、流産など) 追加 ・クラス担当し ていると休み が取れないた め、自分の子 どもの行事に 参加できない ・自分の子が病 気で休んでい つも他の子と 遊ばなくては (保育) いけ ない矛盾！ ・仕事を頑張る 程、母としての 役割が果た せない現実、 男性同等もし くはそれ以上 働いていると いう状況を把 握し、改善し てほしい ・子どもを預け る人に任せる のではなく、自 分の子を自分 で見るという 時間の確保を お願いしたい です！！	・保育はすばら しい仕事とい うことは感じ ている、自分 も育つことが できる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・保育自己診断表をつける			・保育教材の準備 ・書類整理	・自分自身、要領が悪かったり、書類に時間がかかったりすることもあるため家庭で仕事することも多い ・幼児担任1年目で、分からない事もあり、毎日の保育や行事など悩む事も多い	・子どもの成長を身近で感じることができる ・毎日子どもたちと様々な遊びをするなど関わる中で、私自身も楽しい時間を過ごしている
	公営	・エピソード検討会 ・保育室の環境について	・自己評価のためのチェックリスト「保育士編」という資料をいただき、自分で評価し、自分の保育をふり返る材料としています			・指導計画作成 ・広告で箱作り		
	公営		・チェックリストの活用				・持ち帰りの仕事、サービス残業が多い	・毎日子どもといると元気でいられる
	公営	・保育マニュアルの読み合わせ ・ヒヤリ、ハット、アクシデント検討会	・自分の記録による評価反省 ・自己評価チェックリスト ・保育環境等自己チェック(週毎)	・幼児と低年齢の交流を図るため、戸外で一緒に遊ぶ機会を作っている			・時間が足りない(保育準備や書類)	・やりがいを感じる ・楽しい ・日々勉強になる
	公営	・ビデオを視聴し、自分の保育をふり返り、保育に活かす				・本を借りに行く ・パネルシアターを作る	・教材準備や記録等に時間がかかる ・仕事の時間以外でやることが多い	・子どもの成長を見守ることができる ・仕事にやりがいがある

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
					指導計画	・非正規職員と の人間関係	・子どもと過ご すことの楽し さ
・運動会で使う 物を作る。曲 選び等、運動 会準備	・クラスだより 作成		・子ども達と触 れ合える時間 ・子ども達と季 節の変化を感じ て過ごせること ・子ども達の 日々の成長を見 れること、一 緒に成長してい けること		・園だよりのク ラスの子ども の姿をかく ・報告書を記入	・勤務時間内 には、ほとんど 書類ができな い、持ち帰り が多い	・子ども達の成 長を保護者と 一緒に喜び、 分かち合える ・思いが伝わ った時
	・指導計画書作 成 ・壁面飾り作成	・複数担任にお いて他の保育 士との仲	・子どもの笑顔 に救われる事			・家のこと、自 分の子のこと があまりでき ない ・家での仕事 が多い	
	・パネルシアタ ーの作成 ・クラスだより 案考え	・自分が未熟な 面もあり、持 ち帰ってやら ないといけな い仕事ができ てしまうこと	・日々、子ども たちと楽しく 関わることが できているこ と ・良い同期、先 輩に巡り合え たこと		・延長保育当番 表作り	・勤務時間内に 事務仕事を終 えられないこ と	・子どもの成長 に携わること ができたこと
	・壁面飾り作り		・子どもの成長 を一番で身近 で見れる ・子どもの笑顔 に癒される			・人間関係の難 しさ(職員間) ・全体の意見を まとめる難し さ(職員間) ・子どもへの関 わり方(いろ いろな子が多 い)	・子どもの笑顔 に元気をもら える ・日々変化があ り、色々な行 事に向け、職 員や子ども達 と一緒に取り 組み、達成感 を味わいなが ら楽しむ事が できる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働いて 困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営	・園内研修テーマについて話し合う		・連絡事項等、口頭及び記述で行い共通理解をしている ・休憩・パート等により休憩が取れるようにしている ・職員全員で園児を保育する体制となっている			・書類の書き方	・子どもの日々の成長が見れる ・名前を子どもに覚えてもらえたこと ・一緒に遊べる
	公営	・救急法 ・実技研修 ・公開保育 ・インシデント研修 ・主任研修 ・新任研修 ・障害児研修(特別技術研修) ・経験年取別研修など	・自己評価チェックリストを使用している			・ピアノの練習		
	公営	・園内研修、テーマを決めて1年間研修(事例検討)	・毎年自己評価し、年度末に話し合いをし、次年度に活かす	・障害児指定園のため、子ども4人に対して1人の保育士での指導を実施 ・早番、遅番の二人体制確立、休憩対応保育士の配置、延長保育士の配置				・子どもの成長の手助けができ、一緒に成長を喜べる
	公営					・ペープサート作成		

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
							・毎日たくさんの子どもや保護者の方と明るく挨拶をし楽しく過ごすことができること ・季節を感じ、色々な行事に合わせ楽しい活動ができること
	・運動会に向けての取り組み、書類作成	・人員不足のため、個別に支援が必要な子へ行き届かない、他の子をしっかりと見てあげられない時もある	・子どもたちのステキな発想にふれられること、笑顔に出会えること ・共に驚いたり、泣いたり、笑ったり、喜んだりできること ・共に成長できること		・実習生の実習記録指導 ・指導計画作成	・事務時間がすくないこと ・加配がついていないこと(全体的な人で不足) ・家庭とのバランスや肉体的なつらさ	・一年間を通して季節を感じ過ごせること ・自分らしさを十分もって生活していること ・子どもたちとのかけがいのない存在になれたりつながりがもてること
					・来週案の作成 ・今週案の反省		
		・保育事務の多さ ・人間関係に難しさ(保護者対応など)	・子どもたちと楽しく過ごせること ・好きなこと、得意なことができる			・保護者の対応 ・障害のある子またその親の対応について	・子どもの育ちに寄り添えること ・楽しい気持ちで共感し合えること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・研修報告等聞き、それにつき全員で話し合い勉強する	・資料に基づき行う	・3歳以上は縦割り保育を取り入れており、1月以降は年齢別になります ・少しおくれ気味の子等、同年齢の子についていくのが大変な子も。異年齢集団なので年下の子等友だちをみつけて遊べる。また大きい子が小さい子に思いやりを持って接し、いたわりの心が育つ。小さい子も身の回りの始末等、大きい子の様子をみて覚える				
	公営	・伝達研修会	・大府市自己評価チェックリストを使用している	・一日の中で子どもに関わる保育士が多くなりすぎないようにし、安心して過ごせるようにしている	・誕生会の準備	・万国旗の名前書き ・退園児の思い出の表紙作り ・週案のねらい ・アンケート ・連絡帳	・仕事量の多さ	・休憩から戻ると子どもが「おかえり」「せんせ～」と言ってくれるとき ・「先生大好き～」と言ってくれる時 ・成長が感じられた時
	公営	・研修参加者報告会 ・自己評価と課題確認 ・散歩マップ作り ・発達の道すじ、体育遊び、表現あそびなどの学び	・各自が簡単な様式を使ってチェックし、園全体で話し合い、課題を見つける ・保育のふりかえり、記録をとる	・時差勤務は基本的には未満児の担任がやっているが、幼児の担任も長時間児の保護者と話せるように、二帰りで遅番勤務とする			・他の保育士たちとの連携の難しさ ・子どもへの言葉の掛け方 ・かみつきがある子どもへの対応の仕方	・子どもの成長を近くで感じられること ・子どもたちと信頼関係ができてきたこと ・尊敬できる先生方が近くにいること
	公営	・園外研修報告 ・園内研究	・チェックシートに基づいてチェックしている	・早延長児、子どもの人数に応じて、保育、保育準備と時間を有効に使っている				・毎日子ども達と接する時間がとっても楽しい

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・保護者の方と子どものことについて話す時間がない ・保護者の方の色々な要望(勝手すぎる)	・自分のやりたかった仕事、子どもとかかわれる
	・連絡帳書き ・翌日の保育準備	・事務仕事などが多く、保育準備にあてる時間が少ない	・やりがいがある ・子どもの成長が見れる		・書類作成	・仕事量が多すぎて定時になかなか帰れない	・やりがいを感じる ・様々な研修に出させてもらい勉強になる ・子ども達の成長が喜べる
	・運動会の準備	・担当クラスにより精神的なきつさが違う ・家に仕事を持ちかえると仕事とプライベートの境目がなくなる ・行事の前になると仕事量が増える	・毎日生活が新鮮 ・子ども達の成長を見ることが出来る ・やりがいがある				
					・指導計画 ・保育準備(製作)	・自分勝手な要求を言ってくる親が増えてきている ・人材不足により保育の質の向上が難しい ・年を重ねるごとに負担が大きくなるので今後続けられるか心配	・子ども達と関わっていると楽しいし、自分も成長できる ・様々な人と関わる機会があり、勉強になる ・「先生、大好き」と子どもに言われたり、「ありがとう」と感謝(親)されたりしてやりがいがある

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・訪問療育（市の臨床心理士、養護施設のコーディネーター等の方に訪問していただいたのケース検討会）	・自らの保育を振り返り、保育の質の向上を図る ・自分の保育を振り返って子どもの気持ちを受け止めることができた場面や、子どもの気持ちに共感できたエピソードなど、子どもと関わって驚いた事、感謝したことなど発表し合う	・早朝保育と長時間保育（18：00まで）を行っており、長時間保育の担当者は次の日の早朝保育の担当にならないよう配慮している				
	公営		・自己評価チェックリスト				・子どもが加配の話は聞いても、担任の話はなかなか聞かないこと ・同年の他のクラス、加配との連携	・毎日子ども達と一緒に過ごせること ・子どもの成長を見届けられることができる
	公営		・チェックリスト			・週案の作成	・子ども一人ひとり向き合う時間が、事務的職務などに時間を割かれなかなか取れないこと ・職員同士の連携を取るのが難しいこと ・休んだ時、子どもや保護者に迷惑がかかってしまうこと	・毎日毎日子どもと関わる事ができる喜びを感じられること ・子育てに携わることが出来、保護者の方から悩みや相談ごとを持ち掛けられ、相談して頂けること ・自分が成長出来ること
	公営		・保育士のための自己評価チェックリストを使用して評価する					

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・子育て（自分 の子）につい て、周りから 完璧だと思わ れること	・天職だと思 います ・子育てしてい て色々な場面 で対応するこ とができる		・保育教材を作 成		・大勢の子ども 達に会い、 成長が見れた 事
		・要領が悪いか ら、帰る時間 が遅くなったり、家に仕事 を持ち帰ったりすることが 多い事 ・保護者対応の 難しさを感じ ていること	・子ども達の成 長を見るたび に嬉しく思 い、やりがい を感じる ・子ども達と楽 しい気持ちを 共有しながら 過ごせること		・指導計画	・残業や持ち帰 り仕事をしな いと、仕事の 消化ができな いこと	・子どもの成長 やかわいい姿 が見られるこ と
		・どこまでが、 個性環境なの か、どのよう に子どもに接 したら良いの か分からなくな ってしまっ た時	・子どもと一緒 に過ごし、子 どもの笑顔を みている時 ・子どもたちが できないこと ができるよう になったり、 頑張っている 姿を見ている 時 ・保護者が「先 生が先生で良 かった」と言 ってもらえた 時		・指導計画（週 日案）作成	・保育士として ではないです が、家庭・子 育てと仕事の 両立面、休 みの取り難さ ・指導計画、作 成や残務は勤 務後の短時間 ではこなさ れない所 ・利用と現実の ギャップ	・子どもや保護 者の方の「あ りがとう」の 笑顔 ・充実感や達成 感を感じられ る事 ・信頼関係を築 けた時
	・月末帳面コメ ント作成	・持ち帰りの仕 事があつたり、 常に保育の事 を考えている 為、仕事とプ ライベートで なかなか気持 ちが切り替え られない、 常に何かに追 われているよ うに感じる	・子どもの成長 を感じ、日々 感動すること ができる。行 事などで子ど もの成長を感じ、とてもや りがいを感じる ・様々な年中行 事を子どもと 一緒に経験す ることができる ・自分の得意な ことを仕事に 活かすことが 出来る ・大変人生勉強 になる。特に 子育てについ て		・週案の作成		・子どもと関わ る事が楽しい ・自分で計画を 立てクラスを 進めていくこ とが楽しい

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	- 縦割保育について - 職員会議					保護者への対応の仕方	- 子どもの成長を感じられること - 楽しんで取り組む子どもの姿が見られること
	宗教法人	- 不定期に勉強をしている - 園外研修を利用している		- パートの保育士の活用 - 有休はなるべく、夏季保育、冬季保育期間にとるようにしている			- 土曜日を完全休みにしてほしい - 後輩にちゃんと仕事を教えてあげられない - 有給を好きに使えない	0歳から5歳までの色々な子どもと関わること - 体力が付いたこと
	宗教法人	園外の研修に参加した保育による報告会	- 保育日誌、指導計画の反省 - エピソード記録				手遊びや体操などのレパートリーが少ない	
	民営	研修発表					自分の知識、経験不足	- 子どもがいるから楽しく仕事ができる - 子どもの成長を感じられる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・子どもの気持ち が分かって あげれない時 ・集団をまとめ きれない時	・子どもの成長 を間近で見ら れ、共感でき ること ・落ち込んだ時 も子ども達の 笑顔でまた 頑張ろうと思 えること				
		・平日休めない ・腰がいたい、 筋肉痛になる ・自分の子ども の行事など行 けない	・楽しい ・早起きでき るようになった ・やりがいを感じ る			・週休2日制に してほしい ・緊急時に早 退、遅刻、欠 席がしにくい	・子どもたちの 成長と一緒に 喜べる ・自分が母親に なった時たく さんの喜びを 伝える事がで きた
	・制作準備	・人間関係 ・ぎっくり腰か らきた腰痛の 慢性化	・子どもの成長 を身近に感じ られる ・子どもの喜び を共有できる ・笑顔に癒され る		・来週使用する 祖父母競技の ペンダント片 切り	・保育士同士の コミュニケーション ・室内の生理整 頓がうまくい かない ・自分の思いが 保護者に伝わ っていないよ うな気がする	・子どもの成長 を感じた時 ・子どものアイ ディアのすば らしさを感じ た時 ・子どもから 「先生大好き」 と言われた時
					・指導計画の反 省、児童票の 作成等	・常に体調を万 全にしておか なければならないこと ・平日は疲れて しまい、なか なか持ち帰り の仕事がはか どらない。そ のため、休日 に主に行って いるので心身 共に休まらない	・子どもとの関 わりに生きが いを感じる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		第三者評価に基づく自己チェックリストでの自己評価を年2回	- 正規と契約のバランス - 時間帯の人が薄いところは短時間パートを置く(3時間)			- 子どもとの関わり - 保護者との関わり - 自分の機転のなさ	- 子どもたちと共に成長していけること - 少しでも子どもたちの心の拠り所になれること - 自分自身を見つめ直すことができたこと
	公営	- 人権学習会 - 救急法 - ISO関係	- 各クラスの課題をあげていく - 園全体で課題をあげていく	- 異年齢の交流が持てるように一定期間縦割り保育を行う - 時差出勤		運動会の準備	- 保育をする為の準備をする時間がないこと、勤務中にはまずできない - 書類を書く時間がないこと - 昼休けいがないこと	子の笑顔や成長などに触れられること
	公営		- 個々に評価表に記入する - 園内研修でPDCAサイクル表を利用した話し合い	連携を取るための連絡ノートを活用している			- 正規職員が少ない - 給与が安い - 事務仕事(書類等)をこなす時間が少ない	- 子どもと関わることができる - 子どもの成長を感じられる - 自分が成長できる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・法人全体のま つり準備	・クラスだより 作成	・保護者支援 ・グレーな子の 対応	・子ども達がな ついてくれ、 笑顔を見せて くれること				・卒園し、何年 もたって大き くなった卒園 児に会い、「せ んせ～い！」 と声をかけら れ嬉しそうに する姿を見る とすごく思う ・毎日子ども達 と関わって仕 事をし、日々 の成長や子ど も達のあきな い笑える行動 を側で見る事 ができる事 ・自分が子ども を育てる上で も役に立った 事が多い
		・早番・遅番が あること ・腰痛	・充実した日を 過ごせる ・楽しい、やり がいがある		・子どもの姿の メモ ・職員早遅当番 表の作成	・保護者にもよ るが、家庭内 の様子が見え てこない家の 姿を聞き出す こと	・子どもの成長 の姿を実感で きること
						・自分の体調が しんどいな…、 休みたいな… と感じるとき でも職員体制 や当番に余裕 がないので、 よほどのこと がない限りは 休みにくい ・体調管理には 十分注意して いるつもりだ が、感染力の 強い病気や子 ども特有の病 気に感染して しまうことが ある ・子どもの保育 に携わってい く中で子ども のより良い成 長や発達のため には家庭との 連携が重要だ が、家庭の中 にはなかなか 入っていきな い部分やどう することもあ ること	・たくさんの子 どもたちや保 護者の方に出 会え、いろい ろな関わりの中 で私自身いろ んなことを 学べているこ と ・いろいろな研 修や専門機関 に行かせても らう機会もあ り、いろい ろな知識を得 ることができ ていること ・自分のしたい 仕事ができ ていることが幸 せだなと思 います、頼れる 先輩や同僚の 保育士に出会 えたことが幸 せです

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
副園長	公営	・カリキュラム会（年齢発達、行事について、地域とのかかわり、職員間の連携、家庭支援）	・一次評価、一般職員の自己評価を実施（セルフマネジメントシートの業務目標をたてる、能力、態度評価、面談という流れ）	・開園時間から勤務体制シフトを組んでいる、その日の勤務に合わせて、退園時間を心がけている。職員間の連携を密にとり声かけをしている				
	公営		・チェックリストの採用 ・保育日誌などの様式に自己評価欄を設けている			・保育日誌の作成 ・運動会飾りの準備	・女性の職場であるということ（男性保育士が増えてきているとはいえない…） ・自分の仕事の効率の悪さ	・子どもの成長、発育に関わることができる ・子どもの笑顔や喜ぶ姿を見て共感することができる
	公営	・保護者もまじえ講師を招き講演して頂く	・月末に職員会議を持ち、保育士それぞれの評価、反省を出し、その中で所長、主任、保育士が思いを言い合い、次へつなげていけるようにしている	・職員がかけた時など大きい子（4、5歳）は混合クラスで保育したり、午睡時（2、3歳）は一緒に寝たりする				
	公営	・保育課程、保育指針について検討 ・デイリープログラムを通して情報交換		・保育所全体で子どもたちを見ていくという考えの元、その日の状況に合わせて合同保育や職員の配置人数の変更をしている			・保護者との関わりの難しさ	・日々、子どもの小さな成長が感じられること
	公営							

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・指導計画の作成 ・作成準備				・指導計画の作成 ・クラスだよりの作成 ・保育教材の作成	・体力的な不安とほんの少しでも子どもと離れての休憩時間の確保を保障して欲しいこと	・子どもの成長にたずさわれることです
	・クラスだよりの作成 ・日誌	・腰痛がひどくなっている ・家で持ち帰りの仕事が多い	・子ども一人ひとりの成長を感じられる ・自己成長につながっている	・遅番の仕事…、カギ閉め身回り、給食サンブル片付け	・保育日誌 ・当番表の作成（下準備）		
					・運動会の作りもの ・運動会の曲を探す	・保護者への対応 ・時間内に帳簿ができない ・常に子どもといるので休まる時間がない、休暇がとりにくい	・子どもの成長にふれた時にやりがいを感じる ・子どもが変化してきた時うれしく思う
		・書類が多く、勤務時間内にはなかなかできない ・一年でクラスが変わるのでさみしい	・子どもと楽しい時間を共有し合える ・やりがいがある			・指導計画、個別記録など事務時間をなかなかとることができない ・現在の保育所では、良い人間関係ができているが、以前はとても悩んだ（保育の考え方や人間性）	・人として大切なことを子ども達から教わっているように思う ・子ども達と関わることにより、季節の変化など自然や風情に敏感になった
					・指導計画の作成や事務	・腰痛等肉体的にきつい ・常識に欠ける保護者との付き合いで精神的に疲れる	・未来ある子ども達の成長が見られる ・大人になった教え子たちが親しみをもって話しかけてくれる ・子どもも保護者とも人としての付き合いで自分を省みて人間として成長させてくれる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営			・その時々に出合った体制を考えています(子どもの数や年齢的な配分など)			・打ち合わせや時間がなかなかとれない	・子どもの成長を感じる
	民営		・職員自己評価表を毎月提出	・フリーで動ける保育士を3名設置している			・自分の保育のやり方が合っているのか不安	・子どもたちの笑顔が毎日みれる(成長も) ・子どもの素直な考え方が自分も成長できる、刺激になる
	民営							
	民営	・担任と主任、園長と気になる子やクラスの話し合い	・チェックリスト			・制作	・子どもへの接し方	・子どもの成長を身近で感じることができる ・子どもと接することで元気がもらえる
	民営	・保育研究会 ・年齢別部会(年齢別にテーマを決めて研修)	・職員会議等で各々の保育についての話し合いをし、自己評価につなげていく				・男性職員が少ない ・この給料でこれからも食っていけるのか	・子どもと遊び一緒に過ごしてつらいこともあるが、子どもの笑顔に癒されたり「先生ありがとう」といつてもらったときにやりがいを感じます

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・継続した成長を感じる事ができる				
		・保護者との関係	・子どもの成長とともに自分が成長できている ・子どもと関わる楽しさを実感している ・一日一日がとても速く充実している			・若い保護者とのコミュニケーションの取り方	・日々の子どもの成長を感じられる
		・保護者との関係	・子どもの成長に関われたから			・保護者の中で難しい方がいる ・休暇の取得が難しい	・子どもの成長の助けになれたこと ・卒園していった子どもが保育士の道に進んでくれたこと
						・転勤が多く、慣れたと思ったら、転勤させられてしまう ・保護者との関係 ・サービス残業や持ち帰りの仕事も多く、給与が上がっていない	・達成感や喜び、楽しさを子どもと共感できる ・いろいろな年齢の子ども達の成長を見ることが出来る ・職員で団結して一つのものを作り上げたり、行事を作りあげられる
	・書類関係 ・製作	・人間関係の難しさ ・自分の力量不足 ・時間のたりなさ	・子どもの楽しそうな笑顔をみているとき、関わっているとき ・子どもの成長を感じる事ができたとき		・書類 ・保育教材	・対応に困るクレームの多い保護者が増えている ・子どもも障害ではないがグレーゾーンが増えていて指導に行き詰る。自分も勉強不足である ・長く保育士をしていて子どもとの関わりに新鮮さが欠けてきている	・子どもがよくなつてくれたり、信頼関係ができたと感じるとき ・クラスがまとまってきて行事や日々の生活や遊びが充実してきたとき ・子どもの成長を間近で感じるとき

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・毎月テーマを決めて勉強会をしている		・早番の職員が帰る時間から遅番や手伝いをする職員が子どもを見るなど役割分担している			・保育の進め方 ・子ども一人ひとりに合わせた接し方の難しさ	・子どもの成長を日々感じることができる ・子どもと関わる時間が楽しい事
	公営	・保育士交換研修（他クラス間）	・アンケート形式にて（大津市立独自作成のもの） ・県より保育サービス評価	・パート、保育支援員、常勤の配置（朝夕は2hパート対応）			・休みが取りにくい（夏季休暇のみとれる）	・子どもの成長を感じられたとき、それを子どもや保護者と喜び合えたとき ・子どもの発達を学び、少し理解できてますます子どもが好きになった
	公営	・絵本について、子ども達に来てもらっている。お話会の先生を招いて、絵本の研修もしています。年齢別の絵本の与え方など		・A.M.7:30～P.M.6:00までの保育時間の中で、早朝保育、延長保育を当番制にしてシフトを組んでいます		・ピアノの練習 ・教材研究 ・教材準備	・疲れがたまりやすく、持ち帰り仕事は自分の時間が少ない。精神的にも疲れる ・給料が安い ・街中で保護者に会おう ・日に焼ける	・やりがいを感じる、社会に貢献できている気がする ・自分の成長につながる仕事内容が多い ・人と関われる仕事
	民営		・滋賀県健康福祉サービス自己評価を実施	・早朝・夕刻保育担当職員を採用することで保育士への負担軽減に努めている ・最低基準以上の人員配置を通年実施している			・職員不足でバタバタしてしまうことが多い ・書類が多い	・子どもの成長を間近で見られる ・乳児～幼児の子どもに関わり方、接し方が身に付いた ・一緒に身体を動かして楽しんで遊べる
	民営	・少人数グループに分かれて、自由に意見を交換し合う（年齢は近い者で） ・研修結果を報告し、皆で学ぶ機会を設ける	・各クラス、担当委員などで話し合い、難しかった点、工夫された点などを出し合い記録し残していく ・規定の項目について評価を行い、市など数か所に結果を送付する	・乳児クラスは担当制をより充実させるために、パート職員やフリーが入り、雑務を行っている ・時間外保育も充実されるように15分差の細かな勤務体制を組んでいる			・一人ひとりの子に合わせた対応が分からなくなったりすることがある	・子どもとの信頼関係が少しずつ出来ていった時 ・子どもが頑張って取り組んだことを発表しているのを見た時

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・仕事のことがば かり考えてし まい眠れない 日がある ・ピアノが上手 く弾けない	・子どもとい うと素直になれ る ・子どもと一緒 に何かの目的 を持って取り 組むことが楽 しく感じる			・人間関係の難 しき ・保護者への対 応言葉での伝 え方	・子どもの成長 を身近で感じ られること
				・行事について 話し合ったり 資料にする		・勤務時間外も 精神的に考え てしまうこと がある（子ど ものけが）	・子どもの成長 を感じ、保護 者の方と喜べ たり保育士同 士で喜べるこ と ・子どもの楽し そうな顔を見 たり、慕って きてくれるこ と
	・保育教材作成	・人と関われる 仕事なので自 分の代わりが いないので休 みを取りづら いこと	・子ども達との 関わりの中で 得られること がたくさんあ ること ・精神的にも肉 体的にも強く なれたこと			・休暇が取りに くい	・子ども達の成 長をそばで見 ていられる
			・子ども達の 日々の成長を 感じられるこ と			・自分の子育て との両立（行 事が重なるこ とがある）	・保護者から感 謝されること ・子どもの成長 を見られるこ と
	・クラスだよりの作成 ・日誌の記入	・保護者対応 ・人間関係 ・プライベートな時間の少なさ	・子どもたちの成長を間近で見られる ・子どもたちの笑顔に触れ元気をもらえる			・若い保育士との関係	・いつも子どもたちの中で生活でき毎日笑ったり、時には怒ったりして、楽しくすごせること ・仕事が終わって家に帰ると疲れがでるが出勤すると身体が元気になる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・講習会(人権) ・AED講習会	・県指定の方法				・保護者とのコミュニケーション	・子どもの成長を見ることができた ・子どもと一緒に遊んだり、楽しんだりできること
	民営						・長期有休をとって遠出旅行へ行けない事	・毎日かわいい子どもに会うことができ楽しい
	民営		・県の様式を利用				・保護者との関わり ・子どもの内言語や機嫌の悪さの関わり	・子どもの成長が見れたとき(立つ、しゃべる、食べるなど) ・保護者から「先生がいて良かった」「任せられる」と言ってもらえた時
	公営	・ビデオにより保育のふりかえり	・市独自の様式による自己評価・個人ヒアリング、チェックの実施 ・保育所使用の資料冊子本による自己評価及び保育所評価の実施				・事務的な業務が多く、勤務時間内にできない	・人に関わる仕事ができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			子どもと共感できる			園での出来事をどこまで保護者に伝えていくか	- 子ども達のたくさんの笑顔が見られるから - 自分の作った教材を喜んで見てくれている時 - 親から感謝された時
	指導計画の作成		たくさん子どもたちと触れ合い、その成長が見られること			保護者との関係の中で難しいと感じることがある	- 子どもたちからたくさんの笑顔をもっていること - 子どもたちの成長を自分の目で見るができること
		保護者対応	- 子どもたちの成長を肌で感じることが出来る - 人との触れ合い	事務所対応15分		クラス担任同士、変則勤務のため、話し合う時間が少ない	- 子どもたちと分かり合えたとき - 子どもの様子を保護者と一緒に話し合っていること - 子どもの成長を近くで見れること
	保育準備	年令的にも体力の低下があり、しんどいと感じることが増えてきた	保護者、子どもと心の通じ合いが感じられ、保育をすることがとても楽しくやりがいを感じられること			- 体力・責任感で疲労が回帰できないまま日々過ごしている - 時差出勤のため子どもの生活（我が子）を振り回してしまう、時間に余裕がない - 夜の職員会議、研修等で家庭を空けることが多く、他人への子育てを頼んでいるがめどが立たず、見てもらう人を探さなければならず大変 - 事務が多い	- いろいろな人に会えることで十人十色なのが人としてあたり前と思え、子育てや人生観にプラスになった - 人に感謝してもらえる子どもの笑顔で元気をもらえる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・個人が個人の目標に対して自己評価を行う ・保護者アンケートを実施し、評価を行う 上記2つについて保育所の自己評価とする	・毎日の予定(設定)がわかるように、一週間毎に表にして、事務所に掲示している ・毎日の勤務体制がわかるように、日々表に記入して事務所に掲示し、ここが理解できるようにしている ・乳児部、幼児部、調理、事務所が常に連携をとりながら日々保育を進めている			・自分の保育がまだまだできていない	・子どもの成長を共に感じることができる
	公営	・自己研修の報告、勉強会		・クラスに正職員ができるだけいるよう工夫している(早番、遅番の工夫)				
	公営	・わらべうたのDVDを視聴する						
	公営						・上司や同僚に相談ができない自分 ・ピアノがひけない ・事務処理が苦手	
	民営		・特に基準を決めて行っていない				・他のクラスのベテラン保育士との人間関係 ・休憩時間が取れない、休みがなかなか取れない	・子どもの笑顔に癒される ・将来母親になった時に役立ちそう

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ クラスだより 下書き					・ 保育士の集団 のチームワー ク	・ 自分自身の子 育ても楽しい
			・ 子どもの成長 を身近に感じ られる		・ 月1回のお便 り、公立保の カリキュラム	・ 保育士間の連 携がうまくで きていない時 ・ 保育施設が十 分でなく、子 どもに影響し ている時 ・ 保護者との信 頼関係が難し い時	・ なりたい仕事 についてずつ とやってこれ たこと ・ 子どもたちの 笑顔、素顔に ふれたこと ・ 子どもたちの 成長、発達が 見れたこと
	・ 週案（次週） ・ 指導計画の作 成	・ 拘束時間が長 く、自分の休 憩時間を事務 仕事に追われ てしまう ・ 職員体制的に 休みにくい	・ 子どもの成長			・ 職場の人間関 係	・ 子ども又保護 者から信頼さ れる事
	・ 保育日誌の作 成	・ 個別に対応の 必要な子ども の関わり方	・ 大好きな子ど もの笑顔が見 られる				・ 子ども達と一 つの事をやり とげた時の達 成感

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		年間2回、前期と後期各クラスから保育のまとめの資料を出して検討				- 体力的にしんどいこと - 人間関係	- 子どもの成長をみれたとき - 規則正しい生活を送れること
	民営		何度末自由記述をして各自提出	子どもの時間、登園時公園時を把握して体制を取る（早出、遅出のみ）				
	民営	- 幼児、保護者又は、地域の人対象おしゃべりクラブ - 未満児及び未就児対象ももちゃんクラブ	日々の保育を見ながら足りない要素を考え主任と話し合って進めている	- 有資格者を必ず置くように（開所時間中）との事で毎日2人は残業手当対象の時間 10時出の職員の担当のクラスの朝の間は皆でカバーする - 朝晩はパート職員を多く入れている		保育記録、事務的な仕事		子どもの成長を側で感じられる
	民営	保育協会での研修に基づいた研修	理事長、園長、主任保育士による人事考課	- 子どもの年令や登園降園時間を考慮し、その都度シフトの見直しを行っている - 早朝保育午前8時行くと延長保育の午後18時までではそれぞれの年令のクラスで子どもたち一人ひとりに手厚い保育が出来るようにしている		- 週案を作成する - 週回の出し物の準備	休みが少ない	やりがいのある仕事を見つけた
	民営		自由に記入して頂いてます（園独自のもの）				保護者の方とコミュニケーションをとることが苦手で、思いを受け止められてないと感じる	子ども達の成長を見る事ができ、やりがいを感じる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・病気をもらいやすい ・体がゆがむ→足、腰を痛めてしまう（聖体に通う）	・肉体的、精神的にしんどい時でも子どもと接することで元気をもらえる ・仕事にやりがいを感じる ・特技（ピアノ）を活かせる			・理想と現実とのギャップを感じる ・人間関係（保護者、職員）の難しさ ・体調管理	・子ども達の成長を側で見られる ・仕事を楽しいと感じられる ・保護者、職員、子ども、色々な人と関われる事ができ、人として成長できる
	・リトミック楽譜はりつけ作成	・健康管理について ・時間配分がうまくできないこと	・職場の環境 ・保育をしていく上での日々の子どもの成長を見てのやりがい		・運動会の見取り図作成	・人間関係 ・腰痛	・子どもの成長 ・保護者からの信頼
	・書類作成				・実習生の実習簿		・毎日子ども達と関わり成長を見れること
			・各年齢の様子が分かり将来に役立つ ・行事や日々の保育で子どもたちと共に満足感や達成感を共有できる			・保育士の給料が低いこと ・急な休みがとりにくいこと	・子ども達と楽しさや楽しさをいつも共感できること ・自分の性格や特技を活かせること ・人と人とのふれあいを身にしみて感じることができる
		・保護者との連携の難しさ ・若い保育士とのコミュニケーションの難しさ	・行事等で子どもが一つになった時の達成感 ・優しく接し合う子どもの姿を見た時 ・自分と同じ思いで遊んだり、行事にむかっている時			・自分の家庭での仕事はやや手抜きになること	・子どもと過ごすことで、自分自身が成長できること ・仕事をする中で逆にストレスを発散できること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・他のクラスの保育、子どもの状況も分かるように ・保育士交換保育も行っている（年1回だが）	・日々、勤務の最後に振り返りとして、自己記録を取るようになっている	・必ず、対比は崩さないように、又、パートさんが時差の間に入り、担任不在の時間帯はないようにしている ・引き継ぎはきちんとする			・喉、腰が弱く痛めやすい ・やること、気がつかないことに自分がついていけない ・体力に自信がない時がある	・子どもの笑顔が可愛い ・子どもの成長を見ると嬉しくなる ・やりがいがあると思う
	公営		・項目別に記入				・勉強してきたことや経験してきたことを、保育の中で活かしていくのが難しく、反省が多い ・自分の子どもを預けられない時に休まなければならないこと ・他の保育士との相談や連携が上手いかわからないことがある	・子ども達の成長を見ることや、一緒に遊ぶのが楽しいこと ・反省から学ぶことが多く、自分も成長できること ・行事や季節ごとに、達成感を味わえること
	公営	・教材研究					・腰をよく使うので、腰痛になってしまう ・持ち帰りの仕事がある	・子ども達が成長していくこと ・日々のやりとりの難しさ ・子どもとともに成長できること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・ 保育の準備、連絡ノートの記入等 ・ おたよりの作成	・ 保育の準備（内容を考えたり）	・ 子どもが病気の時など、休むことが難しい（担任クラスがあるため） ・ 子どもの行事と園の行事が重なったり、行事前だと子どもの行事に出席したくても、休みが取りにくい	・ 仕事にやりがいがある。仕事が好き ・ 保育を頑張ることで、子ども（集団）の育ちが実感できて、自分自身も達成感もてる			・ 定年退職などで人の入れ替わりの激しい中で、どう人間関係を築いていくか ・ 「自分の子ども時代」が今の親世代と少しずつズレていく中で「子育てで大切にすること」をどういう視点で伝えていくか ・ 「少子化」が懸念されながらも、どんどん子どもが育ちにくい「世の中」に変えられていっているのに、それがみんなの問題になりにくいこと	・ 自分が関わった子どもがどんどん成長していく姿を間近にみることができ、子どもの持つエネルギーにその心に感動する機会をもらえること ・ 子どもの笑顔がいつも自分のすぐそばにあること ・ 人とつながり合いながら自分は生きているということが実感できる場所
	・ 保育に必要な準備物の確認 ・ 会議や資料の内容確認	・ 自分自身がまだ出産、子育て経験がないので、お母さんの目線で悩みに気付いたり十分なアドバイスをでききれない（その分、クラスのベテラン保育士がフォローしてくれます）	・ 子どもの成長に関わる中で、色んな感動に出会える ・ 子どもから元気をもらえる。日々を充実して過ごすことができる ・ 自分の課題が見える ・ 職場、保護者、子ども達など、色んな人と出会い交流する中で、自分自身人間として成長していける		・ 運動会に使う小道具作り		
	・ 子どもの記録 ・ 保育の準備	・ 事務的なことや書類が多く、勤務時間内にはやりきれない	・ 毎日子どもと一緒に笑ったり、怒ったり、感動したり、いろいろなことを感じられ、成長できること		・ 誕生カードづくり	・ 子ども達の言葉が、人を傷つけてしまうことを話すことをやめさせられないこと ・ いろいろな考えをもつ人と一緒に働き、どうしても分かり合えない時	・ 子ども達の成長を感じられること ・ 保護者とともに子どもの成長したことを喜び合えること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・ふりかえりポイント（自己評価チェックリスト）2回／年記入	・夕方パート保育補助員の出勤と変則勤務時間30分を重複させて、正規職員の事務時間を確保している			・自分の動きはこれでいいのかと不安になる ・子どもへの怒り方 ・親への接し方	・自分の子育てに活かせる ・毎日が楽しいと感じられる ・大人同士のやりとりでは得られないものを得れる小さな発見
	公営	・園内研修（うたと遊び）	・毎年、年度末に実施する					
	公営		・課題に対して自由記述 ・業績評価ノート使用 ・保育指針に基づく自己チェックシート使用	・早出・遅出を正規職員で勤務 ・変則勤務の為、日タシフトボードに記入し、勤務状況を全職員で把握できるようにしている				・子どもと触れ合う事の楽しさを感じた時 ・人の役に立てるという事 ・子どもの成長の大切さと知れた時
	公営	・研修参加した職員から伝達演習を行い学びをしている	・参加カリキュラム検討の際、前月の保育について自己評価を行う	・報告、連絡、相談は欠かさないように特に保護者対応については全職員で見守る体制を大事にしている		・指導計画、保育の準備	・職場の人間関係 ・自分自身のメンタルの弱さ、勉強不足	・子ども達とたくさんの時間を一緒に過ごし楽しさや難しいことも共感できること ・子ども達や保護者の方の笑顔に会えた時
	公営	・毎年「子どもの人権」という視点をもってテーマを決め全職員で学習					・自分の保育の質の低さ ・子どもたちのトラブル、ケガ ・保護者への対応	・子ども達が笑ってくれること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・日々、子ども達の成長していく姿を側で感じる事ができる ・仕事が楽しいと思える ・世の中には、いろいろな家庭があることを知ることができた				・毎日がとても充実している ・子どもと接する仕事でエネルギーになっている ・毎日考える事がたくさんあり楽しい
							・子どもと一緒に色々楽しく話が出来、過ごせること
		・上司が現場把握出来ていない時など、勤務の体制が厳しかった ・保護者の対応が大変でした ・子どもの人数が多く1人ひとりの対応を細かく出来ない事があった。保育所にもゆとり教育があってもよいのではと思う	・子ども達の笑顔が見れた時 ・子ども達の1年間の成長を感じられた時		・個人指導計画の作成	・保護者の対応や書類作成など、家庭に帰ってからの時間が削られること ・保育所内での人間関係の難しさ	・子どもの成長を見る事ができる
	・おたより作成 ・記録	・肩こり、腰痛 ・仕事量の多さ	・将来自分の子どもができた時に役に立つ仕事内容 ・たくさん子どもとかわれること ・仕事に対するやりがいがあること		・保育準備 ・部屋の掃除	・子どものケガや病気を対応	・子どもたちの成長する姿を日々感じることが出来る
					・保育教材作成	・年齢とともに体力の衰えを感じる ・まとまった休みが取りにくい	・担当の子ども達の成長ぶりを感じたり、仕事にやりがいを感じる ・育休などの制度がしっかりしていたので仕事を続けられた事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・保育会議（月案検討） ・職場内研修	・日誌の活用				・持ち帰りの仕事や休みの日にする仕事が多い ・どんな時も常に、仕事のことを考えていなければいけない ・自分の思いが、子どもになかなか伝わらないことがある	・子ども達の成長を見ることができ、子どもや保護者と一緒に喜ぶことができる ・子ども達と接している時が楽しい
	公営		・人事考課シート					
	民営			・保育時間は長いので、支援児にあたっては二交代制をとっている ・正規、非常勤を含め、年間休暇の希望を取り事前にシフトに反映させる ・非常勤の職員どうして突発的な欠勤をカバーしてもらうようグループ化する ・主任担当は決まっているが、主担当が休みの時は全職員がローテーションで他クラスをカバーする体制を取り、全園児を全職員で見っていく意識づけを高める		・玄関のはきそうじ、くつ箱整理	・当たり前かもしれませんが、平日の休みが少なく、病院や銀行など行きづらい	・毎日笑顔で過ごせている ・保護者の方など、年齢が違う方と接する機会が増えた ・保育を通した様々な経験ができた

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・運動会について	・自分の保育の引き出しの少なさ ・保育士間の人間関係 ・持ち帰りの仕事も多いが、疲れもたまるので、帰宅後では仕事が進まない	・子どもたちと一日のほとんどの時間を一緒に過ごせる ・子どもたちの笑顔をたくさん見れる ・子どもたちとたくさん笑い合える			・年々身体に負担がかかっているのか痛みを感じることも多くなった	・子どもたちの笑顔に囲まれて仕事ができること ・子どもたちの成長が感じられること
					・写真の選択と整理	・肉体労働のため腰痛、背中痛などの身体がきつい ・時として持ち帰り仕事・残業がかさむことがある	・子どもと接することのできる仕事につけ保護者の方と一緒に子どもの成長を見守ることができること
		・手遊びの種類が減ってきたので、新しいものを取り入れたい ・保育園での感染症の流行で、自分の体調が崩れてしまうことが怖い ・時々、人前で喋る（誕生会、クリスマス会など）時に舌が上手くまわらない時があり、相手に伝わっているのかと不安になってしまう	・保育士によって段取りの良さを身につけることが出来、又、上司からの正しい指導があつて、自分のあやまちに気づき、上司からの助言を取り入れ、自分のものにしようと考え、良いものを真似たい ・保護者の方々に恵まれていた、雰囲気良く、話しやすかったです ・1～5台までの子ども達の発達が見られ〇〇〇（文章が中途半端で終わっていたため〇〇〇で代用）				・子どもから元気をもらえる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・年度末に個人総括をしています（文書を園に提出）	・勤務体制は乳児クラスと幼児クラスで分けて組んでいます ・7時～22時の保育時間なので、朝・夕の短時間パート職員を配置しています			・やることが多い ・子どもの発達を促した保育をどうするか ・他の保育士さんとの連携	・子どもたちと喜び合えること ・子どもたちの成長を感じられること ・社会のマナーなどが勉強になること
	民営	・劇遊び	・日々の保育日誌 ・週案、月案、年間カリキュラム	・週40時間・シフト制、有給消化を心がけています。縦割り保育・合同保育（特に土曜保育）は、園全体で設定保育を考え、子ども達の姿、保育士同士の姿を見守るようにし、保育の質を高めて行えるように取り組んでいます			・保護者対応	・子どもの成長を見る事ができる
副園長	民営	・公開保育の中に「一日保育デー」という形で年間10回、保護者参加の保育探検日を設け、年度初めに募集している	・年2回、自己評価表（独自のもの）を提出してもらい、それに基づいて面談を行い、課題を見つけ、また評価することを繰り返している	・各クラスリーダーは正規の職員が担い、サブリーダーを契約職員をパート職員で担っている ・時差出勤は全職員で全園児のことを知る上でも必至で、勤務を取り組みにくい一面もあるが、早出遅出をうまく活かした生活スタイルをとり、プラスにしているように思う		・クラス懇談報告書 ・教材制作	・自分の技術、知識の低さ ・書類の多さ ・生活が苦しいこと（金銭的に）	・子どもや周囲の人と関わることで、その分やりがいを感じられること ・将来自分の子育てに活かせること ・子ども、保護者等悩むことは多いが、その分やりがいを感じられること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
・次の日が休み (有休) だった ので、その 段取りや行事 の準備	・懇談会に向け ての資料作成 ・総括資料作成 ・行事の準備	・保育情勢のき びしさ、公立 の民営化や子 ども子育て新 システムの導 入に対する国 や府の動き ・気になる子ど も、気になる 親が増えてい て対応の難し い ・給料が安い、 持ち帰りや残 業も多い	・子どもの発達、 成長を日々感 じられること ・子どもととも に四季を感じ 生きている実 感がもてるこ と ・親子のキズ ナ、親が子に 対する愛情、 子が親を思う 心を感じられ ること		・半期総括の資 料作成	・持ち帰りの仕 事が多い ・給料がとても 安い ・休みが少ない	・毎日が違って 新しい発見も あり、仕事が 楽しい ・子どもの発達 を知れたこと ・子どもや保護 者、同僚など たくさんの人 に出会えたこ と
		・保育士として 素質があるの かと悩んでい る	・子ども達や優 しい周りの先 生方と、楽し く過ごしなが ら過ごさせて いる事			・自分の子ども の保育園が台 風で休園にな るのに、出勤 しないといけ ない ・子どもが熱を 出しても休め ない	・子どもの成長 を身近に感じ る
	・運動会で使用 する小道具づ くり	・我が子と行事 が重なったり、 時間単位で休 みが取りにく いこと ・書類をパソコ ン作成となると 苦手で時間 がかかる上、 持ち帰り仕事 となってしまう こと ・延長保育士を 使っている家 庭との連携が 深めにくいこ と（直接話し をする期間が 少ない）	・いろいろな子 ども、保護者、 保育士の方々 と出会いをさ せてもらえた こと ・同じ年令のク ラスでも毎年 違う子どもた ちで同じ保育 にならないと ころが楽しく 新鮮なこと ・季節の変化に 敏感になれた り、泣いたり 笑ったり様々 な感情が味わ える仕事など ころ			・時々肉体的な 疲労がぬげな いこと ・保護者支援に おいて伝えたい ことがうまく 伝わらないこ と ・忙しい時期に 休憩が取りづ らく、家での 仕事も多くな ること	・子どもの成長 を実感できた とき ・研修などで自 分自身の勉強 になったこと ・仕事のやりが いを感じられ ること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営					・保育日誌 ・保育記録	・経験年数が少ないためトラブルへの対応が難しい	・毎日、子ども達と楽しく過ごせること ・自分の子育てに役立てる ・製作や絵本の読み聞かせなど自分のできる事が増える(技術力の向上)
	民営	・知識、技術面に関する研修 ・ロジカルシンキング	・定量評価、定性評価、保護者アンケート	・労働時間 ・新人と中堅等職員配置バランス ・事項の共有化				
	民営			・入園数の割には保育士数が多いが、配慮の必要な子どもも加配対象外(多動等)が多く、短時間職員等で対応している			・自分の時間(プライベート)があまり持てない ・書き物が多い	・子どもの成長を間近で見られ、実感できること(やりがい)
	民営		・保育所保育指针对応、自己評価チェックリストを活用(萌文書林出版)	・必要な時間帯に多く配置できるようにシフトを工夫している			・週休2日でないこと	・好きな仕事ができている ・やりがいを感じる
	民営		・自己評価表を作り5段階で○印をつける ・面談の時に少し園側の意見も伝える	・行事等で土曜出勤や日曜出勤になった場合は、出来るだけ代休を取る ・会議は短時間で切り上げる ・昼間の間に短い打ち合わせをする		・ピアノの練習	・子どもの内面を見きれていない ・頭が固い ・視野が狭い	・子どもたちの成長を縁側で見守ることが出来る ・子どもたちの笑顔に囲まれている

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・保育日誌作成	・自分自身が子 育て経験がないので保育士 としてのアド バイスはでき るが、母親と してのアドバ イスができな い	・子どもたちと 毎日過ごすこ とができる ・成長、発達面 など母親にな っても活かす ことのできる 知識がつく ・絵本の読み聞 かせなどで読 み方などの知 識がつく			・姉妹園が多い ので、他園と の連携に戸惑 うことが多い (カリキュ ラムの統一な ど)	・様々な出会い からたくさん 刺激をもらっ たりプラスに なった ・子どもと色々 な事を経験す ることができる 、又、喜び や悲しみを共 有できる
	・書類作成				・日誌 ・書類作成	・常に時間に追 われ、家庭(自 分の子育て) が、おろそか になっている こと ・仕事の内容量 が多すぎるこ と ・自分の保育に 満足できない こと ・実力のなさ	・子ども達1人 ひとりをよく 見れること、 成長を感じる 事 ・やりがいがあ る ・頑張っている 人(親や職場 の同僚)が見 れること
・運動会の準備	・クラスだより ・CDの編集	・家に帰ってか ら仕事をし なければならない ・休みが取りに くい ・他の職業の友 人よりも給与 が少ないこと	・毎日楽しく仕 事ができる ・子どもたちと 関わる中で元 気になったり 癒されたりす る ・得意分野を活 かすことがで きる		・クラスだより 作成	・子どもの書類 が園にいる時 間に書ききれ ず、持ち帰り が多い ・有休を使いづ らい、保護者 が足りない	・子どもの笑顔 ・子どもが一つ のことに向か って活動しや り遂げた時の 充実感
		・体がきつい	・子どもの成長 を常に見る事 ができる			・体調を崩した 時やケガをし た時に休みに くい	・子どもたちと 過ごしている 毎日が充実し ている

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・コンプライアンス ・情報セキュリティー	・所長ヒアリング～保育士 ・所長、主任は自己点検表記入しヒアリング	・乳児、幼児担当がペアを組む ・経験等を含め、保育技術、管理能力				
	公営	・研修報告回覧 ・区内で研修実施① ・ケース検討する中で意見を出し合う	所長ヒアリングの中で実施	・乳児、幼児担当はあるが休憩体制、事務時間体制では、複数の乳児担当者が全体の中で配置される体制をくむ ・事務時間を勤務時間内で平等にとれる様体制を組んでいる				
	公営	・環境（保育室、園長）の見直しを定期的に ・感染症、保護者対応	・保育実践、日記、ビデオ等により、保育を振りかえる、また園内で研修を行う。評価、反省、改善を行う	・子どもの体調、家庭状況など、共通理解すべき事項（援助の仕方を含む）についての伝達方法（週一回、定期的のミーティング、記録回覧） ・職員の役割分担を明確にする：リーダー、サブリーダーからの伝達→職員へ→主任、所長へ		・運動会の台本打ち直し	・保護者との人間関係 ・自らの要領の悪さ	・人の気持ちを考えようとなった

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		腰痛や体の不調があり、疲れてしまう	- 子どもの笑顔で元気になる - 子どもにとっての貴重な時間を過ごせることが嬉しい - 心ゆたかになる		指導計画の作成	- 体力的、精神的にキツイ!! - 日々の事務に追われ、本来の子どもとの関わりや遊びに十分（思いきり）発揮できない - 様々なしめつけや、しがらみが多く、自分の保育をすることが難しくなってきた	- 自分も成長することができたから - 子どもから学ぶことが沢山あり、保護者の方に助けられ、同僚からも支えられたこと - 自分の世界を広げ、色々な人との出会いがあり、充実した人生を送ることができたこと
	保育教材を作成するのにかけた時間	- 仕事から気分が切り離すことが出来にくく、休日でもどこかで仕事の事を考えてしまうこと（特に保護者とのことなど） - 常に行事や業務、日々の事務に追われてゆったりと仕事がしにくい - 一人にかかる負担が多すぎる（人数は一に無理がある）特に幼児をもつと本当にきつい	- 自分の特技を活かすことができ、子ども共に成長していけること - 感謝された時にとても充実感を味わえる - 自分自身の感性を広げたり、伸ばしたり磨いていけること			- 対応の難しい子どもや保護者が増えている - 体力の衰えを感じる	- 子どもの成長が見られる - 子どもとの関わりの中で楽しさや喜びを感じられる - 達成感や満足感を感じられる
		子ども同士のトラブル	- 子どもの成長を側で見れること - 大好きな子どもを関われること - やりがいがあること		ネームプレート作成	- 幼児と乳幼児担当保育士の連絡が取りにくい - 後輩保育士に対する指導などが十分できない	- 喜怒哀楽がはっきりと出せる事が多く、子ども達と元気に過ごすことができる - 子どもの成長発達が大きな喜びとなる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・研修報告会	・保育士の自己点検表のチェック					・子どもと過ごす時間がとても楽しく充実している
	公営			・早出、遅出は決めています が、なかなか退所できなく、出勤時間も決められた時間より早く出勤するのが日常です。 ・遅出勤務の職員の穴埋めは、出勤している職員で対応しています（パート職員がいないので苦労しています）			・保護者の方との接し方 ・子どもに対する叱り方	・たくさんの子ど もと触れ合 い色々な子 どもの姿を見 れた事 ・子ども達が なついてくれ たり、多くの 笑顔を見れ たりした事
	公営					・児童票の下書き	・保護者との連携の難しさ	・子どもの成長 や笑顔が見 れてよかった
	公営			・分担制、担当制を取り入れている			・保護者との連携	・卒園した子どもたち（保護者）が声をかけてくれたこと
	公営		・市独自の方法で実施、保育士については別途保育士に該当する項目をあげた様式に基づいている	・正規保育士と嘱託保育士の勤務時間数が違うため、かなり無理がある。実態は嘱託保育士や調理師が制限勤務時間まで延長して勤務してくれている。工夫のしようがない				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・年々事務が増 えてきている ・保護者対応が 難しくなって きている	・自分自身の考 え方が変わった ・自分自身やま わに対しても プラス思考に 見なければい けないと思う ようになった
	・保育記録の作 成	・持ち帰りの仕 事が多い	・子どもたちの 成長が感じら れる		・運動会のCD のコピー作業 (自宅パソコ ンにて)	・年齢を重ねる につれて、責 任のある仕事 が多くなり、 制菌的にしん どい ・フルタイム働 くので自分の 家庭や子ども との時間が少 ない事 ・体調が悪い時 でも、代わり の人がいない	・自分の担任し た子が目に見 えて大きな成 長をした時 ・運動会や発表 会など、大き な行事でこち らの期待に答 え頑張ってく れた時 ・「〇〇先生好 き！」という 言葉を聞いた 時
	・指導計画の作 成					・時間がない	・子ども達から 沢山の事が学 べる ・自分の得意な 事を活かせる
	・経過記録 ・運動会につい て	・休暇に融通が きかない	・子ども達の成 長を目の当た りにでき、そ の時の喜びと 感動が味わえ る			・雑用を含めし なければなら ないことが多 く十分にでき ない	・子どもに励ま され力をもら うこと
	・保育日誌など	・行事に追われ るところがあ る ・家庭にも持ち 込まなくては いけないこと も多い	・子どもの成長 を感じ、喜び 合えること			・保護者の自己 中心的なところ ・肉体的にきつ くなってきた	・子どもと関わ り、信頼され る喜び

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・年度末にマニュアルの見直し	・保育士等各々の自己評価（月ごとに記入）に基づき、期末（年2回）施設長と面談、年度末に園全体の自己評価を行う	・最も早い出勤、最も遅い出勤には必ず正規職員が担当している（セキュリティ開閉のため）			・腰痛	・礼儀をきちんと覚えた
	民営		・保育職員用と調理職員用で独自に作成、5分野ごとに25項目（計125項目）を3段階評価し、これをもって園長と懇談する	・1歳児18名は2グループも分け、9名に対し保育士2名で保育している ・早出と遅出の回数を合わせて、勤務時間数を調整している		・日誌	・家に帰ってからの仕事が多い ・ピアノが大変	・たくさん子どもと関われる ・人として成長できる ・毎日充実している
	民営					・クラスだより作成	・書類が多く、大変である	・毎日かわいい子どもたちと過ごせて楽しいと ・子どもの成長を感じた時
副園長	民営		・チェックシートの活用					・子ども達の日々の成長がみられたり、笑顔が見られたりする事 ・毎日、楽しく子ども達と過ごせている ・いろんな事をみんなで行っていく達成感を味わえる事

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ クラスだより	・ 保育者との連 携が難しい ・ 後輩保育者の 育成	・ 子どもの成長 が間近で感じ られる ・ 子どもとの信 頼関係が築け る				・ 人と接する仕 事なので、自 分自身が成長 できる ・ 子どもの成長 を間近で見ら れる
・ 保育祭の用品 確認	・ 保育日誌の作 成	・ 後輩保育士の 育成。伝える べきことをど のように伝え ていくか悩み ます ・ 実習生への指 導。多忙な中 でどこまで指 導することが できているか 不安です	・ 子ども達の成 長を身近で感 じながら、共 に日々を過ご せること ・ 毎日、一日一 回以上笑える こと				・ 子どもの成長 に関わる喜び を日々感じら れる ・ 子どもの保護 者など人との 関わりの中で 得られること が多くある ・ 仕事のおもし ろさ、やりが いを感じられ る
						・ 書類作成や保 育準備が勤務 労働時間内に 出来ず、持ち 帰りになる	・ やりがいを感じ る ・ 子どもの成長 を喜べたり、 毎日取り組む ことができる
	・ 保育環境作り (壁面飾り)	・ 一週間（7日 間）のうち、 朝から晩、夜 眠りにつくま で頭が仕事か ら離れられな い日が多い ・ 休みの日も素 材集めや教材 研究にあてる しかなくON とOFFの切り 替えができな い ・ 職員の人数や 自分が担当 である責任も考 えると休みが 取りにくく取 る気にもなれ ない	・ 人と人との優 しさや子育て の楽しみ方を 教えてもらっ た ・ 子どもの側に 居ると小さな 季節の変化に も気付くよう になり四季や 節句を大切に するようにな った ・ 自分の両親や 家庭をありが たく思い、大 切に思えるよ うになった		・ 保、幼、小連 携回のリポー ト	・ 自分の子ども の行事や参観 日になかなか いけなかった ・ 休みが自分の ほしい時にな かなか取れな い ・ 仕事で休憩が 少ない、あつ ても気が抜け ない	・ いつも子ども たちに囲まれ て楽しい ・ 身体を動かし ているのでス トレス発散出 来る時がある ・ いろいろな事 にチャレンジ できる、毎日 同じことをす るのが少ない

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・園外研修報告会	・自己評価チェックリストを使い年1～2回行っています	・幼児のみで職員数が少なく、勤務のローテーションや役割分担に苦勞します ・職員の希望を聞きつつ、相談しつつ、全体のバランスを考えています		・生活発表会		・子ども達の笑顔が見られること
	民営	・特別支援保育児研修	・「保育士のための自己評価チェックリスト」を用い、自己点検、自己評価を行い、チェックリストの結果を活かしているような方法をとっています				・自分の保育方針がみつからない ・保護者とのコミュニケーションが難しい	・毎日が楽しくなった
	学校法人	・臨床心理士によるカウンセリング研修				・実習生の記録の直し	・職場以外でも保護者がいなか周りを気にする ・食事にかかる時間が短くなったこと	・子どもの成長を身近に感じられる ・子どもと一緒に自分も成長できる
副園長	民営					・指導案の作成		

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 研修報告書、 作成	・ 日々行事や保育準備に追われ、行事前は帰ってからゆっくり休むことができない ・ 定時に帰れる事がなかなかない	・ 沢山の子どもや保護者と接する事が出来、頑張った分だけ結果が返ってくるところ ・ 責任を持って保育をする為、責任感が身についてきた ・ 毎日手作りの美味しい給食が食べられる				
		・ 人間関係 ・ 後輩への指導（後輩の仕事に対する態度・言葉遣い）が難しい ・ 保護者との関係	・ 子育ての勉強になる ・ 子どもたちの心や体の発達を側で見ることができ、共感できる ・ 子どもたちから学ぶことができる、また感動も与えてくれる			・ 信頼できる同僚に恵まれている中で保育士同士のコミュニケーションが取りにくい時がある	・ 信頼できる同僚に恵まれたこと ・ 大好きな子ども達に囲まれて生活できその成長に携わっていると実感できること ・ 研修など、自分の知識以外の分野も勉強することができたこと
		・ 体力の無さ ・ 技術力の無さ	・ 子ども達の成長を身近で感じ保護者と共に喜び合える環境 ・ 子どもへの理解を深められる環境 ・ 様々な人々と出会えた事、自分自身を成長させられる環境			・ 家事と仕事の両立が自分の納得のいくように出来ないこと	・ 子ども達からパワーをもらい、日々一緒に成長しようと努力できている事 ・ 身体を常に動かしている為、比較的健康的に過ごせている事 ・ 子ども達の興味、関心を伸ばそうとする為、いろいろな事に自分も興味関心が持てる事
					・ 指導案の見直し	・ 子どもをみるだけでなく色々な業務が多いので専門的知識を増やしたいがなかなかそういった時間がない	・ 子どもたち一人ひとりの成長を感じる事 ・ 保護者の方と子どもの成長で一緒に喜びあえる事 ・ 自分自身も一緒に感じる事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・園内栄養士、看護師による研修	・週・月単位で自己評価を月案、週案に記入する ・行事の後には必ず自ら振り返りを口頭で発表する	・複数担任のクラスには経験年数にバラツキがあるように配置する ・同年齢児複数クラスの各担任も同様にしている				
	民営					・事務的な仕事	・主として保育すること ・保護者の方との会話	・子ども達の成長を日々感じることが出来る ・大変なこともあるが、やり終えた時の達成感 ・子どもや保護者の方の笑顔が見れた時
	民営		・各保育士が年度末に自己評価のレポートを提出し、それにより園全体の評価を行ない、理事会に報告する			・保育教材を作成		・子どもの成長を感じた時
事務担当職員	宗教法人	・園外研修の内容を職員会等で報告し、話し合いの気化を設けている		・月一回の職員会と保育士会で日常の問題や問題行動ある児童への対応等に共通認識を持つようにする ・早出、遅出が均等になるよう割り振りをしている				
	民営	・自己評価表によるチェック	・職員の連携、情報の共有 ・職員の労働時間、休み等を考えた勤務体制が難しく、工夫の仕方を逆に教えて頂きたいです…保育との兼ね合いがあり、難しい				・園の近くのお店等に行きにくいことがある	・子どもと関わることができ感動や発見がある ・いろいろなことを学ぶことができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・書類		・毎日子どもの 笑顔が見られ る			・年齢とともに 感じる体力の 限界	・子どもや保護 者などたくさ んの出会いが あること ・子ども達の笑 顔を見ることが できること
	・運動会のため の製作	・給料が安い ・帰宅後の仕事 が多い ・腰を痛める	・子どもと触れ 合え、成長を 近くで見られ ること ・子どもに関す る病気や成長 過程など色々 と知ることが 出来たこと		・保健衛生用品 購入 ・運動会 の 案 内、プログラ ム作り	・職場の人間関 係 ・休みが取りに くい	・子ども達の笑 顔 ・一緒にやり遂 げた達成感
	・クラスだより づくり	・上司と考え方 が合わない、 頼りない ・他園で経験の ある先生が今 の園のやり方 を無視し、自 分のやりたい ように保育す る ・パートが就労 時間を無視し、 自由に休み退 所している	・子どもの成長 を見られ、保 護者と喜べる こと ・自分が母親に なった時に役 立つ				
		・事務仕事をす る時間がなか なか取れない	・行事が多く大 変だが、やり がいはある			・自分より年下 の保育士の指 導について ・職員同士の連 携の取り方につ いて ・情報の共有	・子ども達の笑 顔を見るとパ ワーをもらえ る ・たくさんの人 達と関わるこ とが出来、又、 仕事を通して 自分が成長で きる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・子育て支援、未就園児キッズサークル月3回	・TOMORROW CHALLENGEとして当会経営11施設と輪番当番制で年11回開催し、職員の評価を受ける	・休暇が取りやすい環境を整えるため「休暇希望同書」にて毎月の休暇希望を聞いて処理する ・職員の急な希望に対して勤務時間の調整(変更)も図っている		・書類作成	・保護者への対応 ・要領の悪さ	・子どもの成長を身近に感じる事ができる ・やりがいを感じる事
	公営							
	公営		・年3回自己評価を行いそれがクラス評価、園内評価につながるよう努力している	・時差出勤実施の為、3H勤務のパート職員の位置づけを行うようにしている ・保育士不足もあるが長時間保育については、お互いの連絡を密にし、保育士が交代で担当し対応を行っている		・保育教材の作成	・休日でも保育に活かせることはないかと中々切り替えができないこと ・中々休暇が取れないこと ・日焼けや体調管理の重要性	・母親になる準備や経験がつかめること ・子どもと触れ合えること ・変化のある日々が送れること
	民営			・有休消化をめざしています		・運動会の制作	・保護者とのコミュニケーション ・子ども一人ひとりと向き合うこと	・年の最後にはみんな色々なことができるようになり、一緒に喜び合える ・子どもの笑顔が見える
	公営	・保育参観 ・園庭開放		・在園児が少ななので家庭的な温かい雰囲気の中で過ごせるよう気を配っている ・職員間も常に子どもの様子などを伝え合い、どの職員も子どもの状態を知っておくようにしている ・保護者とのつながりも大切にし何でも話して頂けるよう努めている				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			子どもたちの成長を身近に感じることができ、それがやりがいや喜びにつながる				
					児童票		
		- 子どもがいないので上手くアドバイスできないことがある - 予想と違った行動を子どもがした時に、うまく対応できないことがある	- 子どもができなかったことができるようになった時 - 子どもの成長を毎日感じられる - いろんな先生の保育を見れることと参考にできること		運動会用衣装の作成	- 子ども達一人ひとりの個性に合わせた対応 - 親が分かってくれない時	- 子ども達の成長を感じられた時 - 子どもと一緒に経験した事から共感し合えた時 - 子ども達からパワーをもらって過ごせている事
		保育園と学童のへやの場所が違い、行き来するのに時間をつかうこと	子どもの成長がどのクラスにいても感じられること				- 子どもの成長を感じられる - 子どもたちの関わりを通して自分も成長できる - 子どもたちと関わり元気になる
						職員の人員不足	- 子どもが成長する姿を感じることができる - 楽しく元気に過ごせる - 子どもに力をもらったり、癒されたりすることがある事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		色んな項目別に1～5段階で自己評価している	- 一日の終わりに一日の反省又明日の予定、保育士間の引き継ぎ等の会議をもつ様になっている - 年次に一人ずつ加配保育士を配置し、気にかかる子へのサポートをしている				
	公営	支援アドバイザー事業（講演含む）個別の支援について		職員の人数及び保育の体制により、8：30出勤18：30退所→翌日15：30退所の体制を取っています（遅出勤務ではなく、翌日早帰りとしています）				
	民営			主任を軸として意見交換しながら進めています				- 仕事に対するやりがい - 子どもの成長を身近で感じることができる
	民営	- 園独自マニュアルによる職員研修（マナー等） - 看護師による保健研修	職員が自己評価を項目ごとに行い、その後面談で聞き取り評価をしています	書類、製作物等の簡素化		運動会予行の準備、運動会職会出し物の練習	- 体調を崩した時、急に休めない時もあること - 休みを取りづらく研修等の休日出勤が多いこと	自分らしさを発揮できる場ができたこと
	民営	- 研修してきた事を職員に伝える会 - 発達の気になる子どもの保育について考える会	保護者に利用者アンケートを記入してもらう			- プレゼント作成 - ピアノ	- 一人ひとりの子どもに合わせた保育の難しさ - 母親（育児）の経験がないこと	- 子どもの成長が感じられたこと - 子どもや保護者と信頼関係を築けた時 - 保育の中で、子どもが興味を示し、意欲的に取り組めた時

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・書類（おたより）	・家で書類などをしなければいけないとき ・家事とうまく両立できない時 ・病院などに行くのに休みを取りにくい（人数が欠けて迷惑をかけてしまうため）	・子どもの成長を身近で感じられること ・保護者に感謝されたとき			・保護者との接し方について（こちらの気持ちが変わらないとき）	・修了させた子どもが街であったときに声をかけてもらい成長を感じられるとき ・子どもの日々の成長が感じられるとき
						・年齢を重ねることによって、体力的にとてきつくなってきている ・保護者との連携がうまく取ることが出来ない時がある ・障害を持つ子やグレーゾーンの子が増加しているため、その対応方法を考える	・子どもの笑顔を見ると「ホッ」とする ・成長し親となつてそのこと再び出逢ったりそのまた子どもを担当したりできる
			・子どもの笑顔を見れたり、「先生大好き!」と言ってもらえたこと ・保護者から「ありがとう」と言ってもらえること			・今と昔の親の意識の違い	・子どもの成長がみえること
		・仕事内容と給与の不釣り合い ・体調が悪い時でも無理をしてしまう	・子どもから元気をもらえる ・子育てに関する知識をつけられる				
	・保育記録作成 ・保育教材作成 ・実習生の指導記録作成	・保護者の方への対応	・子どもの成長を共に喜べること ・子どもならではの発見に出会えること ・子ども達から先生と親しまれて甘えてきてくれること			・遅出、早出勤務もあるので、自分の子どもたちの保育園への送迎が困難な時がある	・子ども達の発達が見れ、毎日楽しく過ごさせている

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	- 個別配慮の必要な子について - 子どもの姿と保育環境の見直し	自己評価表を作成し、各自毎月末にチェックする	ローテーションだけでは対応できない時間帯（7:30～9:30、16:00～18:00）にパートを配置		月案の作成	- 人間関係（保育士同士） - 施設の古さ（直すべきところが沢山ある、汚い） - 給与の少なさ（正職との差）	- 子どもと触れ合える仕事 - たくさんの人との出会い
	公営	- 自己評価について - 保育の点検見直し		土曜日、出席児が少ないので、平日午後休を土曜日にあてている				
	公営		チェック表の記載	時間差勤務など			帳簿ほど時間外でしなくてはいけない仕事があること	子ども達の笑顔を見ることができ、成長を感じれること
	公営		各年齢毎に毎月自己評価を実施している、職員会議で発表している	5交替制ですが、同クラス同志又は未満児、以上児同士がなるべく同じ日にならないよう配慮している			保護者との連携	子どもたちの成長
	公営							

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		自分の専門的スキルの少なさ	子どもの成長を見る事ができること				
					保育教材の作成	異年齢混合クラスのクラス運営の難しさ	子ども達と一緒に笑い喜び合い、時には悲しみを共有し合える事
	運動会準備	- 今の保育が子どもにとって最善なのか - 帳簿作成に時間がかかる	- 子どもの成長を側で感じられ、保護者と共に喜べること - 子どもと共に成長できること - たくさんの方（上司や同僚、保護者、子ども全て）に出会えたこと		保育教材の作成	- 思っていることを伝える時の自分の言葉の足りなさ - 自分の文章能力 - 体力	- 子ども達と関わっていけること - 子ども達の成長が見られること
	保育記録		好きな事を仕事とできたこと		事務関係	幼保一体施設の国の基準が未完成、未定	未来ある子どもたちに関われること
					復命書作成	- 臨職の保育のスキルを磨くことへの意識づけを促す事 - 職員の保育の質を高めるための共通理解を図ること	- 四季折々の自然の変化が肌で感じられる - 子どもの成長が感じられ、感動することが多々ある - 自分自身を向上、意欲、好奇心をもって生活出来る事、自分を成長させる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・コンプライアンス研修 ・接遇マナー研修等	・3か月ごとの保育業務、接遇マナー、連携、保護者支援、協力体制、コンプライアンス等を評価し、課題、改善など話し合う ・日程管理法にて評価する、上司と面接を行い評価へとつなげる	・ローテーションにより職員の移動がある、どのクラスにでも業務遂行ができるよう手順書、マニュアルで実施している ・3歳以上は時間で合同になる ・各クラスの連絡事項が保護者、職員にも伝わるように連携を図る、伝言用メモの活用		・反省のメモ	・実践的な研修会をもっと増やしてほしい	・子ども達との触れ合いがとても楽しいこと ・自分が考えた遊びや活動で子ども達が喜んでくれること
	民営			・保護者の就労時間に合わせ延長保育を取り入れている ・職員の勤務時間も年度当初から見込んでフリー保育士を確保している				
	公営	・研修参加後の報告会	・1か月に1回、各職員から保育所作成書式により、自己評価を提出し、それをもとに職員間で話し合う	・時差出勤のため、クラス職員が減の時間帯には、フリー職員が対応するようにしている		・おたより作成	・向上心が少しずつなくなってきた ・業務量の多さ	
	公営	・他園と合同研修	・ペーパーで自己評価提出し、管理職以上の役職員より評定してもらっている(所長含め全職員)	・パートを利用し、9:00～12:00の設定保育時には担当が常勤するよう心がけている ・子どもの受け入れやお帰り時には担任対応を心掛けている		・保育記録	・子どもの人数が少ないため、職員数も少なく、職員一人ひとりの負担が大きい ・部屋(クラス)に職員が一人しかおらず、他の職員を手伝えない、また何からしたらいいかわからなくなる、その結果他の職員が目になる	・子どもの成長を日々実感できる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・ 保護者の対応	・ 生きがいを感じ る		・ 製作		
						・ 保育記録など 書類面の処理	・ 子どもに接し て安らぎ癒され ることが多い
						・ 保護者との関 係	・ 子どもの伸び ゆく力に関わ りながら生活 できること
		・ 新システム計 画など将来へ の不安	・ 子どもの成長 を感じた時		・ 他園に抗技台 を借りに行く		・ やりがいのあ る仕事ができ ること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・前期が終わった時点で保育に関することから、安全管理、資質向上等に関する振り返りを記述する	・職員の確保が難しい為、最低基準内で勤務体制を進むしかない			・労働時間が長い割に給料が安い ・書類が多い ・複数担任の難しさ	・子どもたちとの信頼関係が出来た時の喜び ・子どもたちと一緒に色々な経験が出来ること ・可愛い子どもたちと一緒にいられること
	学校法人	・年齢ごとに応じた、あそびの研究	・自己評価チェックリストを作成し、職員が解答する形で行っている ・評価分類項目①保育理念②子どもの発達援助③保育の内容④安全管理⑤保護者支援⑥質の向上⑦食育について以上 全71項目	・年間111日の休暇実施 ・早番の者が退所した場合など管理者が保育にあたる ・時間外勤務を命令した場合、時間外手当を支給		・製作物 ・書類	・体調管理が難しい ・休みが取りにくい ・行事前が仕事が多い	
	指定管理			・保育士定数は満たしているが、パート保育士又は保育補助を配置し、年齢毎の活動もできるだけ行えるようにしている				
	その他(企業運営)		・次の保育につなげるようにそれぞれが自己評価を行っている	・小さな子どもがいる保育士には必ず子どもの行事には参加できるように配慮している ・事務次官が長くない様に体制をとっている(シフトを細かに) ・仕事にやりがいがあるように60歳以上の方とアルバイト(土日勤務)以外は正規職員としている		・壁面など制作		・子どもが出来なかったことが出来るようになり、一緒に喜ぶことが出来た時 ・保護者の方から「ありがとうございました」と言ってもらえた時

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 日誌	・ 職員の人数が 少なく、一人 にかかる負担 が大きいこと 、それが出勤 時間、帰宅 時間にもかな り影響してく ること	・ 少しずつ成長 する子どもの 姿が見られる こと ・ デスクワー クとは違い、 日々違う出来 事がありそれ を肌で感じら れる仕事であ ること		・ 日案、日誌	・ 保護者の方と の関わり	・ 子どもたちの 成長がみれる ・ 子どもたちが 頼ってくれる
	・ 運動会で使う 物の製作 ・ 前日の延長日 誌の記入	・ 休みがとり にくい ・ 帰る時間が遅 くなる (仕事が終わ らなくて)	・ 日々、子ども の成長を近く で見れること				
	・ 保育計画、製 作	・ 様々な家庭環 境の子どもへ の対応 ・ 事務作業の多 さ	・ やり甲斐、達 成感を感じら れる ・ 子どもとの信 頼関係		・ 運動会の準備 物製作		
	・ 保育記録の作 成	・ 書き物が多い が書き物をす る時間がほと んどない	・ 子どもの成長 を子ども、保 護者、職場の 保育者と一緒 に喜べる ・ 子どもと一緒 に成長して子 ども達から学 べるのがた くさんある ・ 子ども達の喜 怒哀楽の表情 を近くでみる ことができる				

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・研修伝達 ・園だよりの裏面を利用して紹介しているふれあい遊びの実技				・週の計画	・自分の力不足など色々…	・子どもの成長をそばで見守り、喜ぶことができること ・子どものことについて勉強したり知識をつけることができること ・健康な生活が子どもと共に送れること
	公営		・日、週、月案に自己評価欄を設けて記入している ・園内研修時に「保育のふりかえり表」を用いて自己評価している	・各保育士の連携		・会議録や保育記録等の作成	・書類に時間がかかること。 ・持ち帰りが多くなりプライベートとのバランスがとりにくい ・自分の技術(全体を見る目、経験不足等) ・他の保育士との連携	・子どもの成長を一番近くで感じられること。発達について勉強でき、自分の子育てにも役立つこと ・どんな時でも、子どもの元気、笑顔を見る事で励まされる ・日本の伝統や季節行事等を意識しながら生活でき、云われ等について勉強できること
	公営		・園外研修の参加 ・園内研修において振り返り(PDCAサイクル)	・正規と臨時が半々なので、当番等正規と臨時で組むようにしている		・行事の作り物	・体力に限界を感じる ・書類の多さ ・子どもの人数だけで保育をする ・一人一人の子供の特性によって保育士一人では、クラス担任が(定められた人数)難しいことがある	・子どもが慕ってくれる ・行事を終えるたびに子ども達の成長がみられる ・色々な経験ができる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 保育の準備	・ 人間関係 ・ 仕事の多さ	・ 子どもの成長 が実感できる		・ 保育事務	・ 当番保育の時 間、回数が多 く、保育準備 や掃除などの 時間が少なく なっている ・ 事務時間は勤 務中に取れず、 持ち帰りがほ とんどである ・ 子どもだけで なく、保護者 支援が難しく、 大変になって きている	・ 子どもたちの 笑顔や元気に いやされたり、 日々楽しくす ぐすことができ る ・ 仕事は難しい ことがあった り、大変なこ ともあるが、 とてもやりが いがある ・ いろいろなも のを作って遊 ぶのは好きな ので、自分の やりたいこと が保育に活か せている
・ 行事(運動会) 準備	・ 運動会準備 ・ 保育記録	・ 休日にも仕事 (書類、行事 準備等)があ る	・ 子どもの成長 を感じる		・ 運動会準備 ・ 書類、保育準 備	・ 親のニーズに 応えられるよ うに努めてい るが、もっと もっと専門分 野の方との連 携をとり、子 育ての助けと なりたい	・ 次世代を担う 子どもたちの 育ちに、少し でも役立つ仕 事につき、や りがいを感じ る 又、共に生き ることができ、 喜びを感じて よい道に進め たと思う
・ 運動会のクラ ス競技の準 備、作製	・ 保育記録を作 成する	・ 書類や保育教 材を作成する 時間が勤務時 間内では持て ず、持ち帰っ てしなければならない ・ 職員の人数が 少なく、ギリ ギリの人数で 有休が取りづ らい。また、 気になる子に しっかり対応 してあげられ ない ・ 行事前などは、 その準備、作 成で勤務時間 後残ることが 多くなるが超 勤対応ではな い	・ 子ども達から 毎日元気をも らえる ・ 子ども達の行 事を一番近く で感じること ができ、毎日 新鮮な気持ち でいられる ・ 色々な行事を 子ども達と一 緒に楽しむこ とができる		・ 週指導計画 ・ 事務的な仕事 (当番表作り)	・ 持ち帰りの仕 事が当たり前 で、帰宅後、 休日常に仕事 に追われた毎 日になっている	・ 子ども達から たくさんの元 気と笑顔をも らったこと ・ 子ども達から 様々ば事を教 わったこと

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・自己評価表に自分で記入	・全体の人数も少なく年齢差があるので、その年齢で押さえなければいけないことは、小人数でもクラス保育をする。いつも縦割り保育のような感じで、それぞれのかかわりが深い				
	公営						・結婚、出産を経験したことがないので、本当に子どもや保護者の気持ちを理解できているだろうかということ	・子どもの成長を間近で感じられること ・好きなことを仕事にできたということ
	公営		・自己目標シート作成（園経営計画書にそって）	・保育士の連携 ・保育士の協力・協議				・子どもの成長を日々感じ、保護者と喜び合えること ・子どもと生活する中で、毎日試行錯誤を繰り返したせいで来た時の嬉しさ
	民営						・グレーゾーンの子への対応 ・様々な面での指導の仕方（子どもに合った） ・保護者への対応（exモンスターペアレント）	・子どもの成長を見れた時（一年間を通して） ・保護者の方に一年を通して「先生らしくなったね!」と言われた時

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・指導計画（週案）の作成	- 書類の作成に時間をとられ、持ち帰りの仕事がある - 非正規職員にも異動があり、精神的負担	- 子ども達の成長を通して、自分自身の成長にもなっている - 子どもの感じ方に発見や驚きを持ち、新しい考え方（違う角度から）ができる - 子どもの成長を身近に感じることが出来る		・保育指導計画の作成	・年齢とともに体力面できつて感じます	・子ども達の成長を身近に感じられること
		- 家に持ち帰れないと出来ない書類仕事 - 援助が必要な子どもへの関わり方についての悩み（研修、学習がしたい）	- 日々の子どものやりとりの楽しさ - 子どもの成長 - 人間同士の関わりがもてること（楽しい）			- 一人一人違う子どもへの対応の仕方 - 保護者支援（対応）	- これから大きくなっていく子どもの成長に関わっていただけること - 保育園を卒業しても、保護者や子どもとのつながりがあること
	・保育記録の作成	- 保育士の不足、1歳児6人に1人の保育士で保育しているため、肉体的にきつい、嘔みつきなどのトラブルを防ぐ難しさ - 指導案、記録、教材など一日保育をしているため、事務中に時間がとれない、持ち帰ってする仕事が多く、家庭を持っている女性は大変である	- 子どもの成長を日々感じる事ができて嬉しいこと - 子どもとの信頼関係ができると慣れてくれて愛情がわく				・子どもに関わる仕事ができていること
		- 人間関係（保護者や同僚） - 体調管理	- 若さを感じる - 子どもがより好きになった		・保育教材を作成	・保護者との対応の難しさ	- 子どもが立ち上がったたり、歩けるようになったりする成長が見えた時 - 遊んでいる時の笑顔 - 保育士に笑顔で話をしに来てくれたりする時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・保育指針 ・給食会議 ・健康に困る ・自己評価	・定期的な自己リストの提出及び反省の公開	・季節及び入所園児に応じて、勤務体制を変更（人数）したりしている ・入園児に状態に応じて、担任以外のフリーが保育の助手として入っている		・配布物のコピー	・保護者支援	・子ども達の成長を近くで見られること ・毎日、子どもと一緒に笑顔になれること、頑張れること ・子どもや保護者、他の職員から「ありがとう！」って言葉をもらう
	公営	・プロジェクトチームに分かれての自主的な活動（運動・食育・環境・園芸・絵本）	・ペーパーに記入して評価する、評価したものをミーティングや職員会議のグループ単位で行う	・職員間の連携あるのみ			・子ども一人ひとりにできる手立てを考えること	・子どもの成長を側で見守れること
	公営		・年度当初に研修計画をたて、職員一人ずつの目標を記入し、保育所長と面談し、主任とともに、一人ひとりの目標確認をする。年度終わりに一年間の自己評価を行い面談する	・急速時間確保のためのスケジュールタイムを作っている			・初めて経験することが多いため、分からないことが多い ・保護者との人間関係 ・病気やけがをした子どもへの対応	・子どもの成長していく姿が見られること ・子どもと一緒に居られること ・子どもの発達など様々なことを学ぶことができること
	公営		・保育の取り組み、学年の自己評価（クラスに掲示） ・福祉サービス自己評価 ・保育計画全般					
	公営							

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・出張報告書の 作成	・未婚なので育 児についての アドバイスや 実際の大変さ が分かりきれ ない ・指導しきれ ていないよう に思う（指導 力不足）	・子どもたちが かわいくて元 氣をもらえる ・子どもの成長 が目に見えて うれしい ・行事などの後 の達成感			・嘔みつきなど 子ども同士で 起こったトラ ブルの被害 者・加害者の 親への伝え方 ・若い先生の指 導の仕方 ・子どもの思い を代弁すること と、親の思 いを受け止め ることのバラ ンス	・子どもたちに 「先生大好き」 と言われる事 ・子どもや親の 成長を見られ る事 ・大好きな子ど もたちと毎日 笑顔で過ごせ る事が本当に 幸せだと感じ る
					・時差勤務表調 整及び引継書 類作成 ・環境や保育内 容の下準備	・年々保育士に 求められるニ ーズの質が、 保護者以上に 求められてい ると感じる ・休日でも親が 子どもを見よ うとしない、 親子関係の希 薄さをうめる ことの難しさ	・保護者から相 談されたこと で、親子共に 成長し喜んで もらえる時 ・四季や行事を 子どもと一緒 に感じ、過ご せること
	・週案作成、用 具の確認	・問題を抱えて いる子どもに 対しての対応 ・子ども間のト ラブルに対 しての声かけ	・「先生、大好 き！」と笑顔 で子どもに言 われること	・着替え、身辺 整理等	・保護者の対応 ・運動会の準備	・疲れる	・楽しい
					・事務処理	・持ち帰り仕事 が多い ・家庭との両立 が難しい ・今、質の向上 を言われ過ぎ ・研修（夜の） への参加が少 なくなり毎日 遅くなって帰 宅する	・将来のある子 どもたちと関 われて嬉しい
							・子どもの成長 を共に喜べる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・研修報告 ・視聴員を利用（個人情報保護者など）	・市販の自己チェックリストを利用				・事務量の多さ	・子どもの楽しそうな姿を間近で見られる ・子どもの成長を保護者と共感できる
	公営	・市保連研修 ・県保連研修					・経験不足 ・時間のやりくり（1日を通して） ・次年度以降の雇用形態への不安	・やりがい ・楽しさ
	公営	・参観日、保護者対象の講演で研修する		・午睡等合同で行い、その時間を研修に利用する ・所外での研修報告を必ず行う				
	民営	・接遇研修 ・危機管理について ・担当者別研修 ・保育所運営費について	・「職員自己評価表」を使用し、項目を4段階で自己評価する。また振り返り及び今度の課題を記述する	・細やかな時差体制を組んでいる				
	民営	・研修に行つての報告会を行う	・チェックリストを使用	・平日に休暇を（指定公休）とらないようにして、一年間を通しての労働時間としている		・保育日誌の記述 ・個別指導計画の立案		・子どもの一瞬であろう成長に立ち会えること ・全く同じという日が無く、日々発見があること ・大好きな子どもと過ごすことができること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・書類作成	- 書類の記入のやり方がどんどん複雑になり量が増えている - パソコンが一人一台ないのに、パソコンを使っただけ書類作成が多い - 持ち帰らないとできないほど事務量が多い	- やりがいがある - 毎日元気でいられる - 子どもの笑顔		・教材について考え用意する	- 時間内に仕事が終わらない - 書留が多くて書くのに時間が必要だが、保育中はできないので悩む	- やりがいがとても大きい - 子どもの成長、自分の成長を感じられる - 子どもの未来を楽しみにして仕事ができる
	- 運動会に使う小物作り - おたよりの文章を書く	当番の回数が多い（早出、居残り、安全点検、誕生会、避難訓練など）	- 自分の性格に合った仕事なので基本的に楽しいと感じられる事 - 子どもと接することで、その成長が見られる事		・保育内容の計画	- 我が子を預ける保育園も近所なので、必要以上に気を遣ってしまうこと - 我が子の行事に参加できない	- 様々な子育て家庭を見て社会勉強ができること - 子どもや保護者から信頼を得て、共に成長できること
		行事前に自分に余裕がなくなる（家庭と仕事の両立）	- 悩んだ分、子どもとの関係が築けてくること - 子どもから元氣や笑いをもらえること			日々忙しすぎる	子どもたちとの出会い
		- 人材育成、また気持ちを統一すること - 人手不足	- 子どもの成長を感じられ、それに関われること - 自分の持ち味を発揮できること			- 仕事量に対して給与が安い - 職員数にゆとりがなく負担になっている - 病気(うつ等)持ちの保護者対応	- 子どもの成長を身近に感じられること - 行事役の達成感 - 保護者の方と一緒に喜び合えること
	- 保育記録日誌記入 - 個人記録記入	気がかりな子どもへの対応	子どもたちの成長を傍で見守ることができる		- 保育日誌記入 - 個人記録記入	- 気になる子への対応 - 保護者との意思の疎通	- たくさんの出会いがあること(子どもたち、保護者、同僚) - たくさんの感動を経験できること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・チェック方式＋自由記述	・指導保育士を置く ・勤務の公平化 ・個々の能力に応じた勤務の組合せ		・運動会競技考案	・休日でも自分の好きなことへの時間が取れない ・要領が悪く、帰宅時間が遅くなってしまう	・子ども達に出合えたこと ・自分の性格が以前よりも明るくなった ・職場で信頼出来る同僚に出合えた
	民営	・保育連盟の研修会 ・給食研修会(町)	・毎月の職員会議	・個人情報を考慮し、その意向に沿えるようにしている				
	公営	・わらべ歌 ・環境構成(おもちゃの検討)	・各自で(計画・環境構成・人間関係etc)はじめてばかり、中期と年度末に延長・副園長と話しそして振りかえる予定(修正していく)					
	公営		・毎月、1. 環境について、 2. 子どもの理解につちえ、 3. 保育内容、 4. 職員連携、 5. 保護者土園、6. 乳児保育の6項目(内容は各項目で具体化してある)について、出来ている＝○、努力が必要＝△を記入、項目の横に自己の課題を自由記入するシートを提出	・少人数なので、0、1歳児クラスと1、2歳児クラスの混合にしている ・空いている保育士を使って生活時間帯の違う0、1歳児を分けて保育することもある				
	公営		・項目に従って段階評価並びに自己評価を文章で記述					

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・保護者との感 覚 の ズ レ (年々感じる) ・ゆとり教育で 育ってきた保 育 士 の 指 導 (知っておい て欲しいこと が知られてい ない)	・子どもと一緒 に過ごす時間 の楽しさ(担 当を外れて特 に思う) ・子どもと達成 感を味わった 時
						・障害をもつて いたり、療育 センターに通 っている子が 増えている、 そういう子た ちとの接し方 ・できる子とで きない子の差 が大きい	・受け持ってい る子や以前受 け持っていた 子が成長した なあと感じた 時 ・親から感謝の 言葉をもらっ た時
		・気になる子ど もへの対応	・子どもと一緒 に遊んでいる 時間 ・ふとしたさり げない、子ど もの言葉		・保育記録、事 務etc		・子どもたちと 一緒に保育士 自身日々成長 できること
		・複数担任にお ける連携の取 りづらさ ・保護者の対応	・子どもの成長 が間近で感じ られること ・子どもの笑顔 に出会えるこ と			・一人ひとりの 子どもたちの 抱える問題の 解決策が見つ からない時… ・母親が子ども たちの保育に 積極的になれ るようにどう サポートすれ ば良いか ・個性を認める こと、集団で 過ごすことの 両立	・たくさんの子 どもたちから の成長見守れ ること ・おかあさんた ちのサポート がうまく行き、 子ども達の成 長を共に喜べ たり、子育て が楽しくなっ たと言っても らえた時 ・保育をするこ とで自らの姿 と振りかえる ことが出来た

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		自己評価表を参考にして、お互いにこういう事に気をつけよう、改善しようという風に話合っている	職員同士納得のいくやり方で都合の悪い時はお互いに代わってあげている				
	民営	- 園外研修の報告研修 - 園内問題解決研修	- 自己の欠点 - 欠点の解決の為に - 自己の長所 - 他職員の長所 - 園の欠けている所 - 改善の為に ※平成23.4に職員評価をした			- 保育記録の作成 - 保育教材の作成	事務作業が多いこと	とてもやりがいがあり子どもの成長を近くで見られる
	公営	市内公立保育所での研修(全体)：障害、人権、食育、自然、リズム等	項目に添って○印の記述					
	民営		年3回各自で自己チェック表に基づきチェックをし、それを基にクラスで話し合いをし改善点などを出し合う	5交代制の中で本人の希望をあらかじめ聞くようにしている		運動会に称するTシャツのアイロンプリント	- 長期休暇がとれないこと - あまりプライベートが保障されていない - 年休も取りづらく昨年は一度しか使えていない… - 派手なことができない(保育士なのに○○○といった先入観とのギャップが生じるため) - 肉体労働だが、その割に給料が少ないのがきつい	- 子どもの成長を感じられる - 笑顔が見れる - 楽しい - 童心にもどり仕事ができる - 優しさや心の温かさを感じられる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
			・子どもの成長を側で感じられる事		・指導計画		・成長していく子どもの姿を見届けられること ・今までやっていなかったことが出来るようになったこと（縫製・パソコン等）
						・書類の整理が多い ・立案の複雑さ	・子どもと過ごす時間
		・モンスターペアレンツ…保護者（特定）の方との関係	・子どもの笑顔や一緒に成長できること				
		・休暇が取りづらい ・子どもの人数が多くて子ども一人ひとりがじっくりかかわることがしにくい。もう少し人クラスの子どもの人数を減らしてほしい	・たくさんの保育士さんに出会い、いろいろな方向からの保育の勉強をすることができた ・毎日、子どもと一緒に過ごせること		・保育教材の作成		

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・新チェックリスト〔保育士篇〕日本保育協会を活用				・保育についての知識が時々勉強不足ということ ・保護者とのコミュニケーションがうまくとれていない時がある	・子どもの成長を一緒に感じていること ・何事も社会勉強になる ・大好きな子どもと笑顔を毎日見れること
	公営		・町による人事評価制度、組織目標、個人目標の自己申告書を5月中に提出 ・年2回自己評価、面談実施	・土曜勤務の週休、有休、年休等が重ならないように勤務調整をする ・加配、フリー職員は、勤務に余裕がある時は、自分の担当にこだわらず、その日一番必要としている所に配置する			・個性の伸ばし方	・子どもが出来なかったことが出来るようになったとき ・自分の名前を覚えてくれて頼ってくれたとき
	民営		・自己評価用紙への記入	・育児(乳幼児)の保育士に対し、勤務時間優遇(10:15～9:15の勤務はなし)		・日案反省		

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・ 上司の仕事の 怠まん	・ 可愛い子ども と関われるこ と ・ 子どもが親し んで接してく れること ・ 何より子ども の成長を間近 で見れること			・ 年をとること に体がきつく なってきたり （体力的に きついことが ある、腰痛持 ちなのできつ い） ・ 人間関係の難 しさに悩むこ とがある（保 護者との連携、 職場内など） ・ 民営化などの 話がでたりし て、将来働き 続けられるか が心配、年々 仕事量が増え るのに正規人 員は増えない こと	・ 子どもが好き なので毎日一 緒に過ごし、 経験、体験を 共にできるこ とがうれしい ・ 子どもと共に 生活し、様々 な出来事を一 緒にのりこえ ていくことで 自分自身も成 長できている 気がする ・ 心の素直な子 どもたちと触 れ合うことで 子どもからい ろいろなこと を教えてもら えるので毎日 楽しい
			・ 子どもと共に 学び、子ども から得るもの があるから				・ 子どもの日々 の成長を保護 者と一緒に喜 び合えるから
	・ 日案反省				・ 日案		

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	毎月のお誕生会の子の保護者に催物を見てもらっている	年に3回内2回は園内研修時に報告しあう最後の1回は項目を決めて記述する	- 保育時間が長いので時間差で職員は勤務している - 多目の職員で休みのカバーをしている				
	民営	- 各職員が園外研修で学んできたことについて - 行事について	園長との個別の話し	人数が限られており、工夫しようにも大変である		保育記録・指導計画の作成	- 経験年数が少ないのに、一人担任であること、部屋に保育を参考にできる人がいないこと - 保護者とのやり取り、コミュニケーションのとり方 - 個人差による、できることとできないことの対応のしかた、一人で組みをまとめること	- 子ども達の笑顔を見たとき - 今までできなかったことができるようになったのを見たとき
	公営	- 人権同和、保健のあゆみ、給食研究、音楽研修会などの報告研修 - 一人ひとり子どもの育ちについて話し合い - 行事について持ち方、反省など	子どもの活動や状態に対する評価と保育士自身の保育や援助、環境設定等に対する評価など各自で評価を記入し提出	正規職員が少ないということもあり、かなりの無理状態、臨時職員の協力を得ている		運動会の準備	- 保護者との信頼関係の築き方 - 勤務時間内に事務作業や書類を終えられないこと - 自分の保育技術に対する不安	- 子どもたちの笑顔や豊かな感性に出会えること - いろいろな子ども、保護者、保育士と出会えること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 保育教材の作成	・ 子どもを見ることだけが仕事だと思われている事（書類等はしていないと思っている） ・ 上司（保育士経験なし）がその時の思いつきで発言し勝手に保育してしまう ・ 子どもの事を思っ言っても「福祉が決めていることだから」と上司、事務員が意見を取り入れてくれない	・ 「昨日できなかったことが今日できた」など成長を日に日に感じられること ・ 子ども達の無邪気な笑顔が見えること ・ 疑う心がなく、何でも素直に受けとめる純粋な心に触れられること		・ 各種委員会の記録の作成 ・ 運動会準備	・ 事務関係（上司）が現場の事を理解してくれない ・ 頑張っても頑張らなくても、何も変わらない、頑張っている方がバカをみる時がある（認めてもらえない） ・ 現場の意見が通りにくい、寄り添いあおうというが、寄り添いを頼まれるのはいつも普通の意見、手抜き、変な方へ向かう時、納得できない	・ 子ども達の笑顔と成長 ・ 地域にいて、大きくなった子どもたちと会う事もあり成長した姿を見るとやはり嬉しい ・ 研修や講座で知らなかったことに気付いた時
		・ 午睡がないので、保育士が足りない事務する時間がない上に休憩することもありできずにいる ・ 給与と労働が見合わずにいるので、時折精神的にかなり疲れる ・ 保育士間の相互理解が難しい	・ 子ども同士で助け合ったり認め合ったりするなどを身近で感じられる ・ 成長していく姿に自分も励みになる ・ とにかく楽しいと思う時がある				・ 子どもの笑顔 ・ 子どもの成長がみられた時
		・ 今年初めての保育所で、保護者との信頼関係がうまく築くことができず不安 ・ 書類の書き方が難しい ・ 計画をするまでに時間がかかりなかなか実行できずにいる	・ 子どもたちから「すき」という言葉や笑顔をたくさんもらえること ・ 子どもの成長をそばで見られ、保護者と喜びを共有できること ・ 大人になってはあまり体験しないようなことを、たくさん体験できる		クラスだより	・ 同僚とのコミュニケーション ・ 保護者への対応	・ 子どもと楽しさを共有できた時 ・ 行事等がうまくできた時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・食事検討会（食事について） ・保育検討会（保育について） ・人権研修会（人とかかわり）	・自分の保育で振りかえるために、毎月の日誌の指導計画、週の反省に自己評価を書いている	・人数の少ない時は、混合で保育をする。異年齢の交流を意図的に取り入れている ・地域の方、保育所に来てない子どもの交流をしている（人数の少ないため）			・保護者との関わり方について ・自分の保育に対して自身がもてない ・環境設定や指導計画など自分の知識が充分でないのでアイデアが浮かばない	・子どもが自分に信頼を寄せてくれているのを実感したとき ・母親にお礼を言われたとき ・子どもの成長を目のあたりにしたとき
	公営	・所内研修（職員間の連携） ・幼保交流打ち合わせ会	・自己評価用紙に年3回				・事務的な書類を書いたり、日誌を書くゆとりや時間がない ・休憩という時間があまりなく精神的なゆとりがない	・子ども達の笑顔や頼ってこられた時に喜びを感じる
	民営	・保育参観（2回） ・給食参観 ・クリスマスお遊戯会（1回） ・講演会					・発達障害の子の接し方 ・保育士に人数不足	・園児の成長を見れることができ、それを保護者の方と喜び合えた時 ・園児が渡しを必要としているのを感じた時
	民営							・子どもの成長が見られること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・事務がなかなか処理できない（行事などがはいつてくると準備などに追われてしまい）	・子どもと接することですんなり吸収できる場所 ・職場の先生方に恵まれたところ		・保育所トイレ用マットの購入 ・保育室様の机の下見	・保育所だけではどうにもならないことが家庭でおこりそれが解決できず子どもがつらい思いをする時無力感がある ・施設の老朽化で子どもを守れるか心配、もっと年齢に合った施設で保育したい ・年齢による体力の低下	・子どもと関わって小さな達成感が味わえる時に良かったと思う ・保護者と子どもの成長を喜び合えた時
			・子どもと過ごす時間、他の保育士の先生と過ごす時間が楽しい		・運動会で使うマントの製作 ・書類作成	・研修が多すぎる、しかも土日によく入っている ・非正規が半分以上なので、仕事の負担量とプレッシャーが大きい ・持ち帰って仕事をしないと追いつかない、休日仕事から離れられず、自分の子どもは放ったらかしになる	・保護者から信頼、感謝された時 ・子どもが心から安心して甘えてくれた時
	・行事の衣装の準備	・書類や衣装作りなどの持ち帰り仕事が多い	・子ども達の成長していく姿を見られ、やりがいを感じて仕事ができること			・書類作成等の持ち帰り仕事が多いこと ・行事前の準備に時間がかかり過ぎること	・子どもと過ごしている中で色々発見したり、たくさん笑わせてもらったこと ・色々な研修を受けさせてもらい、勉強ができたこと
		・腰痛	・現在保育している子どもたちだけでなく、卒園していった子どもたちの成長も楽しみに過ごす事ができること				・子どもがかわいくて楽しい

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・市役所人事課による評価（正規のみ） ・自己評価チェックシートによる評価（各自）	・時間内の全員参加の職員会（2回制）の徹底と週一回の週案回（2回制）の実施 ・緊急時は、主任、園長も保育室で保育する				
	公営	・園外研修の報告会	・目標管理シート、人事考課表の記入と一次考課者との面接	・非正規職員が多いので早出、延長保育等のローテーションに配慮する ・クラス担任はその年配属された職員の数、経験年数、保育能力（資質）人間性、本人の希望等考慮し決定する ・年一回以上全員に何らかの研修に出席してもらう		・個人の月案経過の作成	・保護者との関わり方の難しさ ・書類の多さ	・子どもの成長を目にすることができた時
	公営	・研修会参加報告と話し合い ・感染症予防等 ・カウンセリング研修	・自己評価（マニュアル等指導書）同じ冊子を購入して提出			・指導計画表の記入	・個人記録、指導計画、個人連絡ノートなどの事務的なことがたくさんあり、子どもと関わる時間には記入できない為、保育時間内には、全てのことを記入できない	・色々な保育士と関わらせてもらい勉強になった ・子どもと関わらせてもらう中でやさしい気持ちになれた

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・指導計画 ・運動会準備 ・食育準備	・正規と臨時の職員の比率、臨時職員の比率が高すぎて、失敗を許されない圧迫感を感じる。休暇とりにくい ・新システムに移行後、自分の生活、仕事などの変化がわからず見えないことに不安 ・余裕のない職員配置で、相談などしにくい、時間がない、効率化が求められる	・子どもがかわいい ・子どもの成長を感じる時、保護者から感謝された時 ・上司から評価を聞く時（良い時は嬉しく、悪くても勉強になり「これでいいのか」の不安の解消）		・保育記録、指導計画作成 ・運動会準備	・勤務時間内で事務（指導計画作成）をする時間がなく、持ち帰り仕事が多い。（帰宅後、休日でも仕事から解放されない）家庭との両立が難しい ・保育時間が長く、配慮が必要な子ども多くなり、体力の限界である。 ・保護者との関係がうまくいかない時など、精神的な負担が大きい	・子どもの笑顔が見られる ・成長を見守ることができること
					・クラスだよりの内容について考える	・正規職員が少なく臨時職員が多くなり、待遇面が大きく違い、人間関係のしんどさを感じる ・保育士の研修、話し合いの時間が十分とれない ・保育所での仕事は、やりがいがあるが体力的にきつく不安がある	・福祉の仕事がしたかったので、人の役に立っていると思うことができる ・様々な人達と知り合い、人間的に成長できた ・子ども達の笑顔や一生懸命な姿を見る事がとても嬉しい
					・保育記録を作成するのにかけた時間 ・保育教材を作成するのにかけた時間	・コミュニケーションのとりにくい保護者との関わり方 ・保育者の人数としては満たされているが、配慮の必要とする子どもが多くなる中での保育の難しさ ・代替保育士がなかなか見つからないこと ・事務量が多く、勤務時間内では終わらせられないこと	・子ども達の笑顔をたくさんもらうこと ・中学生、高校生になってからも「先生」と声をかけられたこと

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・園内だけでなく交流保育としての研修	・行事等時アンケート（保護者） ・苦情箱を設置したり、第三者への相談、通報等も行っている。第三者とは地域の主任児童委員			・保育記録、指導計画の作成	・職場の人間関係	・子どもの笑顔を間近でみれること ・子どもの成長を子どもや親と一緒に喜べること
	公営		・毎月、自己評価表をつける	・長時間労働にならないように！ ・若手、ベテランの起用				
	公営	・一年間テーマで園内研修を行う（子どもに関心を高め参加、協力を広げる）		・島という特殊勤務地のため、島内にいる保育士と島外から出勤する保育士との勤務体制上での配慮が必要 ・少人数のため、年齢ごとのクラスまで異年齢とかかわれるクラスなど工夫しながら保育を進めている				
	民営							
	民営	・ヒヤリハットマップ作成（園内、園外） ・保育手順書の見直し、作成	・自己評価チェックリストを使って自分の保育を見直す。その中で問題点を見つけ、話し合い、アドバイスを受けることにより保育内容を充実させていく	・各年齢を複数担任にしている ・フリーの保育士を置き保育士の休み等に対応 ・毎月1週間時間別登園児数を調べ、子どもの人数に応じて（早朝、延長等）勤務体制をある程度変更している				・大好きな子どもと触れ合えること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・15日の視診簿記録、カリキュラム記入、個別記録 ・保育研修会用のデイリー立案	・書類が多く持ち帰りの仕事がいっぱいある ・週休の休みも、クラス便りの作成などで休みがつぶれてしまう ・正職と臨職、やることはほぼ同じ ・責任もあるのに給与差が大きい	・子どもの成長ぶりが1年間を通してみられること ・いろいろな障害の子と接することで、自分でも知ろうと勉強し、知識として自分のものにできたこと ・子どもと共に自分も成長できたこと		・クラスだより ・記録	・言葉として書けません	・好きな仕事が出来た事 ・子どもとのふれあい ・子どもの成長を見られる事
		・支援の必要な子どもに十分に援助することができない	・子どもの成長をすぐ近くで見守ることができる ・子どもと一緒に自分も成長できる				
	・保育記録メモ、運動会の踊り体形等考える		・子どもの日々の成長や一年を通じての成長が見られた時		・運動会の踊り ・指導計画の作成など	・体力的に自信がない	・子ども達の成長が見られるから
	・保育教材作成						
		・持ち帰りの仕事が多いこと	・子どもに「大好き」と言われたり、保護者から「ありがとう」と言われること ・子どもができてきたことになったりと成長をちかくで見守れること、笑ったり、泣いたり、毎日同じ日はなくとても楽しいこと			・腰痛、肩こりがひどく、肉体的負担が大きい ・持ち帰りの仕事が多い	・子どもの成長を保護者と一緒に喜び合えること ・毎日子どもの言葉や笑顔に励まされること ・卒園児が何年たっても「先生」と声をかけてくれること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・チェックリスト表にともない行う	・保育の体制については、どの先生にも各クラスの個々の情報も含め、流れについても話し合いをもち、わかるようにしています			・給料が安い	・子どもが可愛い、その成長に関わることができる ・色々な先生をみて勉強になる ・やりがいがある
	公営		・目標管理シート ・考課の面談	・できるだけ子どもにしわ寄せがいかないように工夫している		・保育案を考える	・技術のなさ ・腰痛 ・保護者との信頼関係づくり	・子どもの成長を間近に感じることができる ・卒園した子ども達に会うと、いつまでも成長を感じて喜べる ・保護者の方にお礼を言われると嬉しい
	公営		・年に1回（自由記述）			・運動会の放送メモを考える		・子どもと毎日関われること
	民営	・絵画教室	・評価表を使っている（チェックリスト）	・コミュニケーションの持ち方 ・平等と均一になるように（勤務体制、研修等）心がけている ・明るく笑顔でいられるように 等			・保護者との関わり方	・子ども達の笑顔が見れること ・子ども達が「先生大好き！」と言ってくれたこと ・子ども達の成長した姿が見られる
	民営	・保護者と共に食育等の研修会をもつ	・日案から年間の計画・反省まで自己評価を含めたもののをたてている、又、職員会でも評価につながった保育内容やとりくみを話し合う	・クラスの担当だけでなく、全体一人ひとりの子どもを把握し保育を行うように配慮している ・複雑な事務にならないように週1回の早出、2週に1回の退出勤務（体制）をとっている				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・ 家庭との両立	・ 子どもの成長 に携わり、関 われること ・ 子どもの笑顔		・ 保育日誌の見 直し	・ 仕事とプライ ベートの線引 があるようで ないところ ・ 持ち帰りの仕 事が多いこと	・ 子どもと関わ ることでパワ ーをもらえる こと ・ 子どもの成長 に携われた喜 びを感じるこ と ・ 自分自身の成 長につながっ ていること
		・ 早出、延長、 職員会等、我 が子の保育園 が開いていな い時間に仕事 があり、祖父 母の援助がな いと仕事がで きない	・ 職場での悩み、 家庭での悩み があった時、 子どもに癒さ れたり、聞い てくれる職場 の保育士が居 る		・ クラス便りの 作成	・ 時差勤務、研 修などが多く、 家庭での時間 が少ない ・ 諸外国に比べ、 子どもの持ち 人数が多すぎ、 現代の困難を 抱えた子ども をケアする為 には、人手が 足りなさすぎる	・ 仕事にやりが いがある。楽 しい ・ 子ども(未来) を育てられる 喜びが感じら れる ・ 毎日が楽しい
	・ 運動会で使用 するCDの確認	・ 弾き歌いが苦 手	・ 一人ひとりの 成長を間近で 見ることがで きる ・ 毎日人と関わ ることができる				
・ 運動会総練習 の準備	・ お面作り	・ 自分の指導力 の無さを感じ ます… ・ 紫外線をす ぐくあびる仕 事 ・ 子どものケガ 等いつも隣 合わせ	・ 子ども達の成 長を側で感じ、 その援助がで きることが嬉 しく思う ・ 良い職場にめ ぐり会え、良 い環境の中で 保育できるこ と ・ 子どもの笑顔 や甘えにいや され、元気が もらえる			・ 今のところ困 ったことはな い、強いてい えば体力	・ 子どものなん ともいえない 笑顔
		・ にぎやかなク ラスで、どう したら静かに なるか分から ないこと	・ 子どもや親と 信頼関係を築 けること ・ 子どもの成長 を見れること ・ 自分が親にな っても困らな いような関わ りができるこ と				・ 子ども達の成 長を近くで見 られること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・職場内同和研修 ・給食内容検討		・年始年末（31日～1・2・3日）を除き、日祝日も保育を行っていく中で、勤務シフトに穴をあけないよう、一人ひとりが自覚をし連携をしっかりととりながら、日々保育を行っている ・休日保育は他園に通う児童、保護者も利用をするので、ささいなことでも連絡を取り合い、決められた事は全員が同じように行う。工夫すべき点が生じた時は、全員一致でスタートするなど ・23年度より、大規模園（200名収容）となり、休日・園長2時間の特別保育事業をはじめたばかり、日々緊張の連続で工夫する点などこれから…だと思う	・保育準備	・クラスだより作成		・大変なこともあるけど、日々充実していると感じられる
	公営	・障がい児担当者研修	・毎日全職員が提出し3月に総括し一人ずつ発表してもらっている	・早出と遅出の数を一致させている ・出勤時間や出勤表に応じて各担当割り振りをしている			・親自身が子どもの事をきちんとみてくれていること	・子どもの成長を感じ、とても勉強になる ・子どもと一緒に過ごせて楽しい ・自分自身の成長にもつながっていると思う
	民営	・年度毎に各年齢ごとの指導計画の見直し	・年間の課題と毎月の自己評価をして提出（個人自己評価） ・年に一度、園の自己評価を園だよりにして公表	・登所、降所の子ども的人数に合わせローテーション勤務を行っている		・運動会で使うものの作成 ・保育記録を作成	・書類が多いこと ・作りものが多いこと ・自分の時間がないこと	・大好きな子どもと一緒にいられること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・保護者から過度の要望がある時、どのように対応するか困る時があります ・公立保育所が国の方針で減らされている為、民間保育所ではじき出されてしまったお子様・保護者などのフォローする公的な機関が減り、日々日常の中で子育て支援ができなくなりつつある事	・子どもの成長・発達を保護者や同僚と共に喜び合うことができる事 ・仕事（保育）内容を自分で考え、取り組みができる事
		・自分の不得意分野を指導すること	・子どもたちから元気をもらえる ・子どもの成長を喜ぶことができる ・毎日が単調ではなくメリハリがある			・保護者や経験の浅い保育士に上手にアドバイスをできない	・子どもたちの顔を見ると元気になれる ・自分が頑張った分、子ども達から返ってくる分も多い ・頑張ろうという気持ちになれる
	・子どもの記録の下書き ・明日の保育の準備	・仕事内容はきつい、それに合った給与がもらえない、少なすぎる	・子どもの成長を見れる ・子育てについて勉強ができる		・運動会の準備等	・時間外（家での持ち帰りの仕事）ですることが多い ・有休がとりにくい（園行事とかさなっている場合）	・子どもの成長の見届けが出来、また自分も成長できるところ

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	・地域学習会（部落問題学習） ・同和教育研究会研修	・毎月の職員会の中、学年打ち合わせ会 ・年2回のまとめの会等	・早出は早々出7:00は、事前申し出とし保護者のニーズに答えています				
	民営	・当園で行っている教育方法の研修					・文章 ・伝え方（保護者や保育士との）	・子どもの成長を間近で見れること ・行事の大変さを乗り越えた時の子ども達の表情
	民営	・わらべうたあそびや手作りおもちゃを若手保育士に伝える	・各自に任せている状況なので、今後は園として取り組まなければならないと考えているけど、どのような方法が取りかかり易いのか、わからないのが現状です	・行事前など準備が忙しい時には、1人担任のクラスに複数担任のクラスから、係を決めて手伝っています ・春は朝の受入れに職員の手を取られ、半年以降は延長保育利用者が増えたりするので、困った時には、その都度勤務体制を検討し、ローテーションを見直しています			・正職になれない ・給料面	・子ども達と一緒に成長できる、楽しい ・やりがいがある ・将来(子育て)の勉強になる
	民営		・保育、給食、管理部にわけ、自己評価を行う	・勤務体制：年変形労働時間制に依り、職員の勤務効率化を図る ・保育体制：子どもの成長過程への援助を重点的に考え年齢別保育を実施、異年齢児ふれあいの機も大切に生かす日を週に1日に設定している。		・運動会の練習の準備 ・運動会の準備	・人間関係（男性保育士として） ・園の方向性 ・行事関係の記録と情報	・子ども達の笑顔が見られること ・子ども達が親しみをもって接してくれること ・行事をやり終えた後の達成感を味わえること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・ノートを書く時キレイな字でかけない ・給料が少ない	・沢山の事を学べた ・子どもに沢山元気をもらえる ・自分の成長				・年を増すと身体的体力的に支障がきている
	・障がい児個別指導計画表 ・運動会練習計画表（並び順、指導計画） ・共通理解の必要事項（障がい児・行事）	・保護者への対応 ・障がい児や障がい傾向が強いと感じる子どもへの対応 ・総合保育について障がい児と健常児との活動や制限などや周囲への理解・配慮などのバランス	・子どもの発達や成長、内面の思いを知ることができた ・相手を受け入れる気持ちが持てた、人として大切な事を学べた ・世の中の曖昧で分かりにくい表現（「ちゃんと」「きちんと」など）子どもは「できない」ではなく「やり方を知らない存在だ」と分かった			・保護者との関わり方 ・経験年数に対してのプレッシャー	・子どもの成長としっかり見る事が出来る ・子どもとしっかり向き合える
		・気になる（落ち着かない）子どもへの対応 ・保護者とのやりとり	・子どもと接することができる ・成長を見る事ができる ・色々な保育を見る(知る)事ができる			・落ち着きのない子が多く、なかなかおさまらないこと、自分の力のなさに反省することもあります ・子ども同士のかかわりが攻撃的なこと	・子どもから学ぶことがあることに気付いたこと ・子どものあり方を見て、世の中の動きがわかること ・沢山の子どもと接することができること
			・子どもと関わりながら感動や喜びを得られること ・病気などの知識が身につく ・子どもと一緒に自分も成長できること		・誕生会に関する用意	・休憩時間がとれないこと ・病院によって登園基準が違うこと	・「できる」という喜びを経験させることができること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・ アンケート	・ 非常勤はシフト制にしない		・ 研修報告書作成 ・ 職員会議準備		・ 子どもの成長を見守れること ・ 保護者や先輩保育士などの目上の方のコミュニケーションをとることが少しずつ身に付いてきた ・ 実際にクラスに入ることににより、子どもの発達段階をすることができた
	民営	・ 第三者評価について	・ 23年度北九州の第三者評価事業に参加	・ 早 朝7:00～と延長保育17:00～の勤務は、パート職員で対応している		・ 運動会の作りもの	・ 持ち帰り仕事	・ 自分自身の成長 ・ 子どもの成長を日々見る事ができる ・ 子ども達と一緒に取り組むことができる事の楽しさ
	民営	・ 研修会報告 ・ 行事改善研修	・ クラス単位	・ ローテーション勤務潤滑の為、変形労働による、年間33日の休みのもと、9時間拘束、8時間実働としている。				・ 子どもの成長が見られること ・ 自分自身の成長
	民営	・ 研修参加報告	・ カリキュラムの反省の中の自己評価	・ 労基法週40時間以内対応で7:00～7:30及び18:00～19:00は、時間外対応をしている	・ 保育園の駐車場、職員駐車場の除草作業		・ 細かい行事記録がないので、見通しを持って準備が出来なかったり、見落としが多い ・ 職員の人数がギリギリな為、降園ラッシュと重なると、退勤時間になっても帰れない	・ 子どもが好きなので笑顔が見られたり、関わっている時、又、子どもの頑張る姿や成長を感じられた時 ・ 職場の先生方と出会えて、ご指導をして頂いたり、共感し合える時 ・ 自分がした事や作った物に対して、感謝や褒めの言葉を頂けた事

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	ピアノ	・保護者との対応 ・運動会、遊戯の曲決め	・一人ひとりの成長・発達 ・子どもと関わり笑顔で過ごせるようになった時 ・行事にむけて頑張り、成功した時			・保育中、保育時間だけではできない書類がある	・子どもの成長、発達段階を知れたこと ・子どもの目線になって考えられるようになったこと ・家庭背景など、1つの面だけでなく様々な面に配慮して対応できるようになったこと
	・保育記録	・勤務時間内に保育記録を書く時間がほとんどない	・仕事にやりがいがある ・子どもたちの成長が見れる		・踊りを考える(場所など)	・保護者の対応 ・書類の多さ(家庭との両立の大変さ) ・声の出し過ぎか、あまり出なくなった	・子どもたちと共に過ごせる事 ・一緒に目標をもってやりとげる、やりがいのある仕事 ・0～6歳までなので、一人担任、複数担任経験できる事
・食事(昼食)		・リーダーとしてのクラス運営 ・上司の人間関係 ・保護者との人間関係	・沢山の子どもの達、保護者、先生方との出会い ・保育に対する専門的知識が増えた事 ・季節を感じながらの保育			・保護者への対応(の難しさ) ・人間関係	・子どもの成長を間近でいる事ができる ・頑張って指導した分、子どもから返ってくる ・子どもから元気をもらったり、教えてもらうこともある
		・保育士として自分の今後の成長についてどうあるべきかどうか ・子どもたちと関わる中で満足した保育ができていくか ・子どもとの関わりでは、一人ひとり様々で対応や伝え方が難しいなと感じる時がある	・子どもたちの笑顔や成長した姿(思いやる気持ちやできるようになったことなど)が見られること ・子どもたちと一日一日を一緒に過ごせること ・クラスを持って、一つのことをやり遂げたとき			・一人ひとりの子どもとじっくり関われない ・提出物や行事等に追われている ・園と保護者には悩まされている	・子ども達の成長を感じられること ・保護者と喜び等を共有出来ること ・子どもの言葉等に癒されること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・年間、月間、週間保育計画書に基づき、自己評価を行う	・他クラスもフリーも全職員が揃うまでは協力して全クラスをフォローすること		・週案 ・個別計画書（8人分） ・製作	・上司との人間関係 ・自分の意見（若い保育士の）聞いてもらえない ・園長が何も言えない	・子どもと関われること
	民営	・自己評価等の検討	・保育士等の自己評価→保育園の自己評価→園内研修			・教材研修や製作物の準備等	・子どもを預かる仕事なので休みが取りずらく、職員もギリギリで交代がないこと ・集団行動に入れない子、家庭環境に問題がある子、いわゆる「気になる子」が増えて、集団のまとまりを作るのに以前よりも苦労するようになった	・沢山の子と触れ合うことができ、成長を感じる事が出来る ・自分のやりたかった夢を実現することが出来た ・子どもと触れ合う事で、自分自身も元気をもらう事が出来る
	民営		・毎月の園内研修の折、行事などの打ち合わせを含め、平常の園内、クラス等の様子を含め各保育士の自己評価の確認	・一人ひとりの子どもが元気で思いやりのある優しい子に育つ様に職員の人数がバランスよくどの勤務時間に確保する				・子どもと一緒に過ごせること ・子どもの笑顔が見れること ・保育士同士の協力を感じられること
	民営		・書面					・子どもの笑顔と毎日の生活の中での成長や発見を喜べる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・指導計画案 ・個別計画書	・保護者との対応(一部の方) ・新人保育士への指導や対応	・大好きな子ども達と毎日過ごせる事 ・自分の子育てに役に立つ所 ・目標を持って、仕事が出来るところ				
		・人間関係のややこしさ、特に未満児クラスの年配の先生方…悪い所ばかり見つける ・夏、ものすごい日射しの中、半袖しか着れないこと(園の方針)日射しが痛く、肌荒れ、乾燥	・子ども達の笑顔、素直さや、純粋な心に触れていられること ・子どもからそして職場の人間関係、尊敬できる先生方から学び、人間的に成長できること、日々勉強です ・生きる命や健康、笑顔の大切さに気付けたこと			・気になる子に関わっている時の他児への関わり方	・人と人とのつながり
	・制作物の準備	・保護者との関わり、対応の仕方	・子どもの成長を感じたとき ・保護者より感謝の言葉を頂いたとき		・園だより、クラスだよりの資料検討と下書き		・子どもとの関わりの中で、子育てのすばらしさや楽しさを毎日感じていられたこと ・職場の先生方と協力し合い、共に心を合わせて仕事をしてこれたこと ・地域の方々や保護者の方々と仕事を通して知り合い、保育を通して地域への貢献ができたこと

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	宗教法人	・研修出席の報告		・保育内容の共通理解 ・行事の精選				
	民営		・その日の終礼でコメントを発表しながら、自己の振り返りを行い、周囲はそれを受け入れる	・少人数グループでの保育活動、習熟度別活動によって、個人の意思を尊重します ・フルタイムの非正規職員が固定の勤務時間帯に居るので、正規はその前後を補います			・保護者への対応 ・子どもたちとの接し方をどうしたらいいかわからなくなるときがある	・様々な年齢の子どもたちと接することができること ・社会のルールを学べた
	民営	・守るべき倫理 ・法令順守に関する研修 ・食中毒予防及び感染症対策 ・非常災害時の訓練、防災に関する研修 ・個人情報 ・リスク管理 ・人権尊重				・製作の準備		
	民営	・親子交流会（クッキング、食育について）	・それぞれ、日誌など評価をしている					・大変な仕事だけど、毎日子どもと関わり癒しがあること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ピアノ練習	・保護者から見た自分は何か不安 ・組んでる職員との関わり方	・子どもの成長 ・他人(保護者)の対応で学ぶ言葉遣いや伝達方法 ・楽しい、充実している			・保護者との対応	・子ども達と一緒に過ごし、元気をもらう ・いやされる ・人間として少しは成長できたかなと思う
	・製作関係	・保護者との関わり、言葉の難しさを感じる	・子どものたちの成長を近くでみれること ・何事にも一緒に取り組んで達成したとき、一緒に喜び合える時		・翌日の運動会に向けての自分の役割の最終確認、まとめ	・常に全ての子どもを把握するということができないため、自分が実際にみていない子ども間のトラブルで本人たちの話に食い違いがあった時の対応が難しい ・行事前には準備等で時間に追われることが多く、十分な保育ができないと思うことがある	・明日出来なかった事が、今日できるようになったりなど成長を近くでみることが出来る ・様々な保護者の方や研修会などで自分と同じくらいの職歴の方と知り合うことで、人脈が広がったし、いろんな体験・失敗談を聞いて自分に活かせたりすることができた
		・自分の子どもの行事や体調の悪い時に休みがとれない	・大好きな子ども達に囲まれ、創立者の理念を基に信頼できる施設長、同僚と保育できること ・自分だけで保育しているのではなく、たくさんの人に支えられていること、団結力 ・毎日子どもと一緒に過ごし、子どもの活動や仕草のかわいさを間近でみていけること			・他の子と自分の子を比べてしまうことがある	・子どもの成長が見れること ・子育てする中で役だったこと

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		園全体の保育内容や運営や管理はチェックリストを使って全員で見当する、その後各自の保育についての反省をまとめ検討し合う	- 担任については、子育て中の人の負担も考え、個人の持ちたいクラスを持てるように配慮する(昨年、産休2名、現在産休1名の現状です) - 無駄に保育に時間を費やさないように、効率よく仕事する(残業しない) - 早出、遅出については、チームワークを考えて、ペアを組む(経験や子ども有るか等)			体力的な負担	- 子どもの発達段階がよく分かる - 子どもの成長に喜びを感じることができる
	公営		現在はきちんとした形でやっていない為、来月よりチェック表を作成し、自己評価の提出を求めるようにした	- 園外保育を行う場合職員3名がつく - 休日出勤の場合、代休優先を心掛ける		保育日誌	保護者との対応の難しさ(支援にことに関しても)	- 一緒に子どもたちと笑える - 季節を肌で感じれること - 子どもの成長を保護者と一緒に喜べること
	公営					保育日誌	一人担任で不安な事が多いがなかなか相談できず悩む事が多い...	- 毎日子どもたちと一緒にいることができる - 母親になった時のための勉強になる - 子どもにパワーをもらえる
	公営	- 月案 - 食育研修	町の人事評価	- 保育士の経験年数で人事配置をしている - 保護者の要望等により、勤務体制の工夫をしている				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・運動会の打ち合わせ（系列の園と合同で行う為）	・保護者との信頼関係作り ・肉体的な疲労	・子どもたちの成長を日々感じることが出来る			・仕事中心の生活になり、過程での仕事の手抜きになってしまう ・腰痛や肩こりなどの肉体的に衰えてきている	・子どもと過ごせる楽しい時間が味わえる ・子どもの成長していく姿が見られる ・保護者や地域の方々とのつながりができる
		・子育て＝親育てがなかなか難しいと思っている ・遊ぶ環境（散歩コース、遊歩道の整備など）が壊れてしまっている	・私的に色々あっても楽しく仕事ができる ・まだまだですが、子どもたちと触れ合う中で私自身もいくらか成長させてもらったこと			・人と人とのコミュニケーションの取り方、繋がり方の方法を見つけて出せない時	・子どもたちの成長を保護者と一緒に感じられること ・子ども達から頼りにされた時、見守ってあげたいと強く感じる
			・職場の方との出会い（いろいろ相談したり、話をする事ができる）			・体力的にきついことが多くなってきた	・子どもたちとの触れ合い
						・子どもと接する時間が少なくなってしまう位、事務的仕事が増えた ・昨年と今年の保育の方法が異なっていて、戸惑いを多く感じる	・「先生、おもしろい～」「だいき」子どもたちが言うってくれるとき ・みんなで1つのことを頑張ってやり遂げたとき

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・自己チェックリストによる自己評価				・保護者とのコミュニケーションが難しい	
	学校法人			・まだ始まったばかりで、幼、保1本化のため、勤務体制に難しさを感じています ・保育は、幼、保どちらの免許を持った保育士、教諭でクラスを見ていますので、学園としての独自の勤務体制になれば…と思っているところです		・運動会のメダル作り	・休憩時間がない ・仕事内容と時間が合っていない（時間が足りない） ・子どもの人数に対して保育士の数が合っていない	・子どもの成長が見られる ・行事ごとの達成感 ・楽しい
	民営	・伝達講習		・3交代の時差出勤表を毎月作成しているので安心		・おたより等作成	・久しぶりのクラス担当で戸惑うことが多いです	・大好きな子ども達と一緒に過ごせてとても嬉しいです ・子どもの成長を間近でみれること、又、その喜びを保護者の方と一緒に喜ぶことが出来る時 ・子ども達からたくさんの元気と勇気もらうこと
	公営						・仕事量が多く、ハードな仕事の割りに給料が安い ・遠くから通勤しているが、通勤手当が少ししかない事 ・持ち帰りの仕事が多い事	・子どもが大好きなので、関われる事が嬉しい ・子どもの成長を間近で見れる事 ・かわいい子どもの笑顔や寝顔にいやされる事
	公営		・毎月、A、B、Cの記入で書く項目に各自評価する	・勤務表作成前に各自の希望（休、年休）を記入している				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		- 発達障害児に 対しての保護 者の理解 - 人間関係（時 に 新 任 保 育 士）	保育士はとて も大変な職で すが、子ども の笑顔に救わ れる				
						他の保育士 （パート）と 意見が合わない 時の、協力、 流れない時が 難しい	
	次の日の準備、 当日の日誌確 認、作品作り	体力的にがん ばりがきかな くなくてきて います、他の 方に御迷惑を かけています	毎日、子ども 達の顔を見て、 一人ひとりの 成長を身近に、 見守っていけ ることが生き がいを感じま す				
					指導計画の作 成		
	- 子どもを迎え る準備 - 発表会につい て - 運動会につい て	- 来年の雇用の 保障がない - 正規職員にな れない - 正規職員が少 ない	- 子どもの成長 が見れる - 素敵な保育士 と出逢えた - 子どもの笑顔 が見れる			職員30人に対 して、正規職 員が3人と極 端に少ない	- 子どもの成長 に喜びを感じ ることができ る - 子どもに元気 をもらえる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・園の環境について	・チェックリスト（年2回） ・記述式（年度末1回）			・個人記録 ・運動会に関する便りの作成	・仕事が勤務時間内では終わらないこと ・保護者とのコミュニケーション ・休暇が取りづらいこと	・子どもと過ごす時間が楽しい ・子どもの成長を感じることができる ・子どもが自分の保育内容を楽しんでいること
	民営					・書類作成	・経験のなさ ・保護者への対応	・毎日の子ども達との関わり
	民営					・運動会の準備	・障害児に対する保育のあり方 ・行事等に追われて子どもたち一人ひとりの関わり合いの充実	・子どもの成長を間近で見ることができる ・子どもの笑顔に元気をもらうことができる
	民営	・リトミック指導員によるリズム遊 ・山田山荘Pによる木工指導		・コーナー保育、すわんこ太鼓指導、リトミック指導：時差で保育している ・時短を作り、延長した分子どもの人数によって早割をするよう出勤予定表を作成している		・園庭掃除	・書類が多い	・子どもの成長が感じられ、子ども達の笑顔を見ることができる
	民営	・体操教室午前実技、午後勉強会 ・音体研修、茶道教室	・子どもたちが安心して過ごせるよう職員の配置をしっかり固めるよう努めている ・職員の休み（時休等）の希望等できるだけ配慮し、気持ちよく職務につけるよう考慮している ・職員間の意見交換をし、常に保育を見直しを行っている				・自分が行っている保育の仕方、子どもへの関わりがこれでいいのか不安	・子どもの成長、発達する姿を見れること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・行事に追われてしまい、ゆとりを持たないことがある ・うまくコミュニケーションをとれない保護者がいる	・子どもたちの成長をみていける場所 ・毎日子どもたちといえることが楽しい ・行事などを終えると達成感を感じる		・個別記録を書く	・保護者への対応	・子どもたちの成長を感じる時 ・出来なかった事を教え出来た ・卒園児が園に遊びに来た時
	・運動会について ・おたより作り	・他の専門機関との連携について	・子どもの成長が楽しい ・子どもと触れ合えることに喜びを感じる				
		・子どものこと、保護者のこと、行事のことなど考える事が多く、家に帰っても気が休まることがあまりない ・持ち帰りの仕事が多い	・大好きな子ども達とふれあえること ・たくさんの人と出会えること			・難しい保護者との対応 ・上司と現場との感覚の違い(行政が求めるものに対し現場では対応できないことも多い) ・難しい児童との関わり	・子どもの成長を見守ることができる
			・日々成長していく子ども達の姿がみられること ・子ども達の笑顔を毎日みられ癒されること			・子どもにゆっくりと関わりたいが為、事務的な仕事も多く、残って片づける時が出てきてしまう	・自分自身も季節を感じながら1年間を過ごすことができる ・子どもたちの成長を一番近くで見守ることができ、それに関わることができる ・苦しい事もあるが何年経っても成長していける仕事
			・子どもの日々の成長が見られること ・子どもの笑顔がみられること				・毎日の保育、行事を通して子どもの成長していく姿、やりとげた事の達成感がみられたとき ・いつまでも忘れず出合った時には、声をかけてくれる ・出来あがった時の喜びと充実感がもてる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・職員会議の時に話し合います (議題を持ち寄って)		・勤務体制→シフトにフリー(常時保育士) ①②を設け、フリーは常に動ける様に体制を取っている				
	民営	・英語で遊ぼう、講師	・職員会議などに於いて発表	・縦割保育の実施 ・環境保育			・子どもの成長がみえた時	
	民営		・自己チェックリスト	・少子化で非常勤務保育士が多いのですが、子ども達とのかかわりが豊かになっている			・4歳、5歳児合同クラスで人数的には問題ないが、1人で見なければならぬので製作や活動の時、年齢を考えながらの指導が難しい	・子どもの成長が感じられる
	公営		・行政から人事考課があるので自己評価はそれでしている(年1回)	・早出をした人は早く帰れるようにしているが、ほとんど帰らない。又、遅残りをする人は遅出をするようにしているが、ほとんど遅く出てくる職員はおらず、ボランティア精神でいる				
	公営	・食育及び土づくり	・4月に自分で目標を立て、皆の前で発表、9月3月に振り返り評価する ・自己評価シート				・保育や研修の記録が難しい ・経験の乏しさ	・可愛い子供達と接していると毎日が楽しい ・個々の子供達の成長がみれる ・やりがいのある仕事

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・リーダーと考 え方（保育内 容）が違う時 ・保護者との対 応	・大好きな子ど も達と交わる 事ができるか ら				
		・自分の思いが 伝えられない 事がある（他 の保育士に対 して）	・子どもと過ご す中で日々の 成長をみられ ると ・安定した収入 があること ・自分も母親な ので子育てに 役立つこと		・テーマあそび の準備		・子どもたちと 日々の生活の 中で共感し合 い、共に育ち あえること
					・運動会の作り 物	・自分自身の力 量のなさに自 信をなくす ・非常勤、パー トが増え、保 育に対してい 方向性にずれ がある ・人間関係がう まういかない	・子ども達とふ れあえること で元気をもら える ・一人ひとりの 発達・成長を 保護者と共に 喜びあえる ・こんな自分 にでも頼って くれる子が いる
	・月間計画の作 成 ・おもちゃ作り	・持ち帰りの仕 事がある時は 休日も仕事を し、家事があ まりできない こと	・子どもたちと 過ごす時間が とても楽しい こと ・子どもたちが 楽しいこと		・クラス月間指 導計画の反省 ・個人月間指導 計画の反省 ・行事予定表用 の製作物、作 成	・年をとってき て若い時ほど 子どもと走り 回れなくなっ た事 ・子どもの事に ついて色々ア ドバイスをす るが親になか なか伝わらな い事	・毎日子ども達 と楽しく過ご せる事 ・子どもにした われる事 ・子どもの成長 を感じられる 事
		・保護者との接 し方 ・支援が必要な 子どもへの対 応 ・人間関係	・「先生が担任 でよかった」 と保護者より お礼を言われ た時 ・自分の子ども をもった時あ る程度の知識 があるので余 裕がある		・運動会に向け ての計画・構 想		・自分の子ども に対しても 様々な学びが ある

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営	- 出張報告という形式で研修参加者より話を聞き、質問したりする - 保育指針の読み合わせ	自己評価について記述した本を参考にし、それぞれ評価を行う	非常勤(30h)の保育士が担任しているクラスは2人が(2人体制なので)同時に休まないように2人のうちどちらかが必ず出勤し、前後の保育のつながりがあるようにしている				
	公営	園内ではないが、市の保育士会、園長会各担当者が参加する						
	公営	- 小学校や地域との交流 - 園内研修又は個人研修をする	地域(小学校や地域の人々)との交流があるので参加できるようにしている	- 地域との交流を大切にしている - 一人ひとりの子どもを見つめて、その子にあった支援をしている - お互い休む時は、交代したり仕事に支障がないようにしている			保護者とのコミュニケーション、やりとり子どもの様子の伝え方	子どもの成長を保護者と共に喜び、共感できる
	公営			時差出勤をし、できるだけ園児の把握を十分にできるようにしている				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
					・クラスだより ・カリキュラム作成 ・状況報告書	・非常勤職員数が多く、正職が少ないので、カリキュラム作成や状況報告書など一人ですることが多い	・子ども一人ひとりの成長を見る事ができる ・大きくなった卒園児から会った時に声をかけてもらえる ・いつまでも気持ちもちが若くいられる
					・週の活動内容の作成	・周りの子（自分の子どもの同級生など）を色々チェックしてみよう	・毎日が元気に楽しく過ごせている ・卒園した子どもの成長が見られ嬉しい ・色々な人の色々な考えを聞いて自分も成長していける
						・保護者への伝え方と対応	・子どもの成長を共に喜び合える ・日々の保育をする中で、成長させてくれる ・保護者からの感謝の言葉とか、おほめの言葉
		・保護者との関わりの難しさ	・子ども達の成長する姿を間近で見られること				・親に信頼されていること ・子ども達の笑顔

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営	- 出張研修の復命 - 安全マニュアルの検討						とても働きやすい職場で人間関係にも恵まれている
	民営		保育参観や行事等で保護者の評価を受けたり個人記録を書くように	- 登園、降園児の人数に配慮し保育士の数も確保 - 未満児、以上児の保育士のバランス - 勤務の早遅番の平等性			- 職員間での人間関係 - 保護者との人間関係	- 子ども達の笑顔が見れること - 一人ひとりの成長を見て、感じられる喜び - 保護者からの感謝の言葉をもらったこと
	民営	実践記録（場面記録）検討会	年2回、色々な項目に対しての自己評価（20ページほどあるもの）又、日誌等では、反省、評価を実施している	職員が働きやすい職場作りを一番に考えている、遅番以外での残業をなくしたり、有休をなるべく消化できるように工夫している			声を出し過ぎて、喉が痛くなることもある	- 子どもの成長を身近で感じる事が出来る - 子ども達に与えるだけではなく、子どもたちから学ぶ事がたくさんある - 自分自身も日々成長
	民営		ケース会議や自己チェック表利用	（保育士）人材不足時には、派遣会社等に委託			保護者とのコミュニケーションと取ることの難しさ	子どもの成長を共に喜べる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
				・ 道具・遊具の修理、職員歓迎会の段取り	・ 運動会招待状の宛名書き、郵便番号調べ ・ 誕生会プレゼントに貼る写真のチェック ・ ウォークラリー（行事）の下調べと立案 ・ 中学生保育体験、評価用紙に記入（中学校からの依頼） ・ 保育教材 C D、遊び、歌詞調べと編集、コピー	・ 家族や友人との時間が少なく、迷惑や心配までかけている ・ これでいいのか、といつも先の事、後の事、今の事の悩みが尽きない ・ 心身の病気になる人が増えてきて、自分は多少つらい時も踏ん張らねばと気が張る	・ 仕事内容は多岐に渡っているので、畑仕事、パソコン、医療関係等、幅広い知識が得られること ・ 忙しいので仕事が早くできるようになり、見通しをもって複数のことを同時進行でできるようになった ・ 人の心の機微に気が付き、少しでも役立ちたいと思ったり、出来ない事は素直に甘え、感謝できるようになった
							・ 子ども達と共に過ごしていることによって、子ども達から成長をさせて頂いている
	・ 保育教材の作成		・ 大好きな子どもたちと一緒に過ごせること ・ 子どもの成長を感じられること ・ 子どもや他の保育士と行事に向かって一緒に頑張り、行事後の達成感を感じられること		・ 保育日誌	・ 後輩指導、同僚との人間関係 ・ 責任と経験年数に見合った、保育士のプロ意識を高く持つために自分に厳しく努力し続ける事 ・ 責任の重圧を乗り越えてやり抜く、精神的強さを持ち合わせる事	・ やりがいのある仕事をしているという存在意義 ・ 人とのつながり ・ 子どもの成長の喜びを共感し合い、何かをやり遂げた時の達成感と満足感を十分味わえる
					・ 保育記録の作成 ・ 運動会準備物の作成	・ 勤務時間が長い（早朝、居残り保育の子供の数多くて帰りにくい）	・ 子育ての仕方、病気等の度合いがわかるようになった

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営			・クラスだけあるいは未満児、以上児のみとならない様、全クラスと触れ合いが出来るようローテーションを組む		・月刊指導案		
	民営		・園独自の自己評価表を作成し、年4回チェック				・保護者の方との関わり方 ・子どもの気持ちを受け止め、適切な対応をすること（対応の仕方があっているのかわからないことがある）	・毎日変化があつて楽しいこと ・子どもの成長が見られること ・保育を通して自分自身も成長できること
	民営		・チェックリスト及び反省	・持ち帰りの製作があまりないようにさせている ・帰宅時間が遅くなる時は声をかけている			・時間に追われ、声かけや対応ができない	・子どもの成長が見られた時 ・子どもが楽しんでいる姿を見た時
	民営	・研修会復命報告会	・保育日誌を記載する際に、自己評価をし日誌に記録する		・ピアノの練習	・誕生月の子どもへのメッセージ書き	・職場での人間関係 ・ピアノ ・将来性	・多くの子どもと関われること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・年々、外部からの行事なども増え、慌ただしく、生活にゆとりがなかなか持てない ・対応が難しい保護者も毎年いるので精神的にきつい時がある ・一年終わるとまた新しい子どもたちや保護者とも関係づくりをしなければならず新年度は本当にきついし、不安	・保育の中では喜怒哀楽が子どもと一緒に出せる ・子どもから笑いをたくさんもらっている ・子どもの成長を身近で見ること感動が味わえる			・休みが欲しい時に他の保育士の出張と重なって休みが取れないこと	
			・自分が一生懸命した分、子ども達から返ってくるものが大きい ・仕事内容は決して楽ではないが、自分がしてきた保育で子ども達の成長が見えたとき ・将来、自分の家庭が出来る時に様々な経験が役に立ちそう			・保育士としての目線と母親としての目線があり我が子の子育てに悩むことがある	・子どもの成長を共に喜びあえる ・笑顔が増えた、心がおおらかになった部分がある
	・日誌、その他の書類	・行事に追われて自分にゆとりがない ・休みの日や家に帰ってから、次の日のこと、保育、行事のことを考えなくてはいけないこと	・たくさんの子どもの出会えたこと、一緒に過ごせること ・子ども達からスキなどと言われたりすること		・環境設定（所持品始末用の机出し） ・月案、クラスだより書き	・定時に帰れないこと ・持ち帰り仕事が多いこと ・支援の勉強等したが、日々の保育に追われて十分出来ていないこと	・子どもの成長に携わることができる、喜びを感じることができること ・色々な性格の子を見ているので、我が子の子育てで困ることがない（今のところ）
						・保育士間の連携の難しさ	・子どもの成長を見られること

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営							
	民営		・ Y M C A より年一回自己評価	・ 0、1 歳児のクラスには子育て経験者を担当にしたりしている ・ 勤務体制は個々の家庭の都合等も考慮し交代勤務をしている				
	民営					・ 保育教材を作成	・ 発達に課題のある子どもが多い中、自己の専門性や経験や保育の質に限りを感じてとても残念に思っているが、それに対する専門的な学びを受けられる時間が少ないので、とても残念に思う	・ 一人ひとりの子どもの育ちを専門的に見ていく中で小さな成長を保護者と共に喜び合えた事 ・ 子ども一人ひとりの課題に向き合おうとする時、専門的な学びを新たに取り入れる事ができます ・ 子ども達から、優しい気持ち、無条件の心で人と接することの大切を学べる事

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・給与が少ない ・残業代が出ない（行事前などの忙しい時も…）、帰ってからの書類 ・少子化(地方)	・子どもの成長が見れ、それに関わることができる嬉しさ ・自分の夢が叶った			・保護者との関わり方	・子ども達との日々の生活の中で、ふとした気づきを共に喜び合える事 ・成長を実感できる事
		・やりたいことはあるが、うまく時間を使えず進まない。そのため「これをしたら？」という他の人の案にのってしまいがちである ・保護者がよく「ほら、〇〇先生に怒られるから、しなさい」ということ	・子どもと一緒に笑って過ごすことができる ・全くできなかったことができるようになった姿をみることができる ・「待ってくれてありがとう」と言われた時			・子ども達が病気で受診をし、特に伝染性の病気が疑われる時に病院側が「園と相談して下さい」と言われる事 ・職員間での連絡がうまくまわらなかったりする事	・子ども達と接する中で感じた事や成長を身近にでき共に喜べた時 ・様々な人に出会え、たくさんの事に触れ、自分が成長する期間が与えられる事
	・壁面装飾	・保護者との信頼関係を築くのが難しい（保護者間の見えないメールなどでのやりとりで恐怖感を感じることもある） ・個別での対応を必要とする子どもがクラスに増え、クラス運営が難しい（一つのことを皆で一緒にすることが難しい）	・毎日、子ども達の成長する姿をみる事ができること ・困りでもあるが、子どもを通して、保護者、子どもたちとの信頼関係ができること		・クラス便りの作成 ・指導計画の作成	・休暇や休憩時間が思うようにとれないこと	・子ども達の成長をみる時 ・子ども達の笑顔や目の輝きに接する時 ・保育士に親しみを持って子ども達が寄り添ってくる時

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・各行事毎にレポート提出	・保育士の派遣を利用しているので時間内のローテーションに入ってもら			・上司との付き合い方	・行事が終わった後の達成感
	民営		・事例で保育評価をしている	・欠席者が多い時にはできるだけ午後からは休んでもらう				
	民営	・キッズビクス、音楽指導、製作等園児と一緒に参加しています	・月、日の指導案作成、実施後の評価はあります、勤務評価はしていません			・次の日の製作、タンポ作り等	・ケガをしてしまった時の報告の仕方	・子どもと触れ合える楽しさ ・子どもと一緒に成長させてもらえること
	公営			・早出、遅のこりを2人ずつにするので、8時出勤が現在はいません				・子どもの成長していく姿がまじかに感じる事ができたこと

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
				・運動会が終わり 使った服など の片付けを 子どもの午睡 時部屋でする	・保育日誌や児 童表	・賃金の低さで す	・自分によって 子ども達をど んなにも育て ていく事が出 来るというこ と ・子ども達は先 生が一番であ り、それだけ で大事な仕事 であり、責任 のある仕事で ある ・子どもが大き くなっても覚 えていてくれ て、ありがと うと言われた 時の喜び
	・保育記録	・勤務時間外に すること（書 類・保育教材 作り等）がた くさんある ・必要な時には 休みの時にも 出てきて、仕 事をしなければ ならない時 がある ・子どもの人数 にたいして保 育士的人数が 少なく手が足 りない（未満 児）	・子どもに関わ った分、子ど もの成長が見 られたり、自 分のことを頼 りにしてくれ るやりがいがある		・保育反省記録 と運動会競技 の作り物	・保育時間内だ けでは記録、 行事の準備や 指導計画作成 などの時間が とれず家庭に 持ち込んでいる こと	・気になる子へ のかかわりで 子どもが変わ った時 ・子どもの成長 を共に喜べる 事
					・月案作成		・子どもたちの 成長をみるこ とができる ・子どもたちの 目の輝きの美 しさ ・季節を感じて いくことがで きる
		・自分が「言葉」 を知らないた め、子ども達 が理解できる 分かりやすい 言葉がけがで きない	・子ども達の成 長過程をよく 知ることがで きた ・子ども達と同 じ目線になる ことを知り、 少しだが気持 ちを理解する ことができて いる		・その日にする、 使うものをそ ろえたりする	・基本的な生活 習慣の乱れに 対しての対応 ・子どもの人数 が少なすぎて の弊害をどの ようにしてい くのか？	・たくさんの子 ども、たくさ んの保護者に 出会えたこと ・笑えることが たくさんある

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	公営		・ 保育所内で検 討改善してい る					
保育士	公営							
	民営	・ 実技研修会 保育所保育指 針に教育的事 項が盛り込ま れたので、よ り内容の充実 を図る為、幼 稚園を定年退 職された経験 豊富な先生に リズム遊び、 オペレッタな どの指導を受 けている	・ 毎月、自己評 価用紙を配布 し記入しても らっている	・ 2歳～5歳ま での異年齢児 保育を行って いる ・ エリア保育を 行い、子ども が自分の好き な遊びを選択、 自己決定しそ のエリアで遊 んでいる ・ 12時間開園の 為、時差出勤 している（9 時迄にはほと んどの職員が 揃うようにし ている）		・ 日誌書き（週 日案）	・ 途中で他のク ラスに入ること になった時、 勝手がわから ず何をすれば 良いのかわか らないことが ある ・ 叱り方、伝え 方が難しいな と思うことが ある	・ 子どもの成長 していく様子 が間近で見れ る事 ・ 元気いっぱい な子どもたち と遊びを楽し めながら過ご せること
	財団 法人					・ 児童票	・ 保護者の対応	・ 子どもの笑顔 を見る事が出 来た時 ・ 子どもの成長 を見る事が出 来た時
	学校 法人	・ 研修会参加 後、報告会 ・ 職員会議の中 で事例検討会	・ 月の指導計画 の評価・反省 を記入の際、 別紙で自己評 価記録に記入	・ 早出、居残り の回数をほぼ 各保育士同回 数にしている ・ 8時半出勤の 職員数を多く している ・ 以上児のクラ スも複数担当 制にしている			・ 困っているこ とというより も、勉強不足 だなと感じる ことがある	・ 子どもの成長 を間近で感じ られる ・ 成長、発達の 手伝いができ る

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
						・保護者と子育てについての考え方が違う(若いお母さん) ・地域に担う、素晴らしい保育所なのに公立保育所の民営化が進む事	・子ども達の成長を感じ感動できる ・いつも子どもの笑顔がみれる
						・臨時雇用なので毎年の採用についての不安	・保育士という仕事を通して、自分自身も人間としての成長を感じることがあるところ ・毎日の子どもの笑顔と保護者の笑顔を身近で感じることが出来る
・運動会をする為、公園に園児を移動したが、忘れ物に気づき園まで取りに戻った時間	・前日の保育の反省、記録	・保護者との関わり方、難しい親が多い ・仕事内容、書式が変更する際に対応、順応するまでに時間がかかる	・成長や変化を感じられる瞬間をそばにいて見られる ・子どもの成長過程について知識を身につけられた		・週日案の反省 ・クラス便り作成 ・運動会用CD作成 ・自己ノート記入		・人と人のつながり ・子どもの育ちに関われていること
	・保育記録作成等	・保護者との連携 ・給料が安いのに、持って帰ってする仕事が多い	・自分の保育に子どもが、答えてくれた時、喜びを感じる		・クラスだより ・保育教材作成 ・保育記録作成	・家に持ち帰りの仕事が多い ・休みが取りにくい(希望する日に休めない) ・身体に影響がある(手、腰)	・子どもの成長をいちばん近くで感じられる ・卒園した子どもからのおたより ・子育てに活かせられる
		・腰痛 ・給与	・楽しい ・子どもと触れ合うのが好き		・週案 ・児童表	・担当クラス以外に手伝いに行くことで、自分のクラスのことが把握しづらい ・我が子と触れ合える時間が少ない	・楽しい ・人間関係を学べる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	財団法人	・園で見直しを必要とするもの（行事等） ・健康、安全	・チェックシートにより行う（年2回）	・以上児担当リーダー保育士1名、未満児担当リーダー保育士1名を置き、何かあれば園長（副園長）主任保育士、リーダー保育士と話し合いが持てるようにしている ・夕方少し人数が減る為、3歳以上児では保育士2名、未満児では3名で各1部屋にまとめ、お迎えを待つその他の保育士は、掃除や事務等の仕事をする				
	民営							
	民営		・自己チェックリストを使用			・消耗品台帳の記入	・持ち帰り仕事が多い	・子どもと過ごす時間の楽しさを知った

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
							・ 幼い頃からの夢であった保育士になれて、小さい子どもといつまでもかわり続けることができること ・ 教え子達が大きく成長していく姿を見る事ができること ・ 仕事を続けられることで社会とつながりを持ち毎日生活できる
		・ 自分の指導力のなさ	・ 毎日たくさんの子供といれること		・ 児童票の下書き ・ 保護者への連絡 ・ 翌月の週案、カリキュラムなどの下書き ・ 運動会の準備	・ 女の多い職場なので、高めあうというよりも足を引っばろうとする所がある ・ 主任が責任のなれをしようとする ・ 園長が良い人と思われたいため、下で働く人たちがまとまらない...	・ 子どもの成長が楽しいこと ・ 大人になって思いだしてくれて連絡をもらえたりすること ・ 自分のしたい仕事だったので
	・ 行事に必要な物を作成	・ 持ち帰り仕事が多い ・ ほぼ毎日残業である	・ 子どもの成長を見れた時、「先生大好き」と言ってもらえた時 ・ 保護者の方に「先生が担任でよかった」と言ってもらえた時 ・ 子育てについて知識が分かっている時		・ 週案作成、反省、記入 ・ 園だより作成	・ 家に持ち帰ってする仕事が多い	・ 子ども達の成長を感じ、保護者と共感しあい一緒に見守っていける

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		・月ごとに各自独自で記入していたが、今年度から項目ごとA～D評価とし、最終日に目標に対しての評価を記入し、次月目標も掲げる記入法を取り入れた	・同室での勤務が重ならない様にする			・保護者との連携関わり ・子どもとの関わり	・子どもが働く前より好きになった ・自分が母親になった時子どもと関わりやすい
	民営							
	民営	・勉強会（モンテッソリー教育の提示方法及び手作り教具の紹介）	・指導計画案による自己評価 ・年6回外部講師を招き研修中	・特定の職員に負担がかかり過ぎないように配慮する ・休みが重ならない様、早めに調整をしている ・保育記録等が勤務時間内に終わるよう、全職員サポートし合う		・運動会について考える		・子ども達から学ぶことがたくさんある事 ・子ども達から笑顔がたくさん見れる事
	民営	・研修報告 ・毎月テーマを決めて園内研修	・チェックリストを年3回行っている（主任がまとめて園全体の評価を出す）			保育記録	・日々の園生活の中で臨機応変に動かなくてはいけないとき（特に行事ごとなど） ・保護者の対応	・毎日の仕事の中で、やりがいを感じる ・子どもの発達段階や特性など、自分が学んできたこと以外を学べること ・子どもが活動している時、嬉しそうに笑っている時や楽しんでいる時、又「ありがとう」と言われた時

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・保護者との関係	・子どもの成長をそばで見られる			・保護者に理解してもらえない時	・いろいろな子ども達と接することができた
		・もう少し健康診断を詳しくしてほしい（個人では中々行かないので）	・自分の子育ての時、とまどいが少なかった（おむつ交換、離乳食等）			・健康診断（体力を使う仕事なので、ちゃんとした病院で人間ドックまではいかなのですが詳しく調べてほしい） ・保育の時に自由に使える（コピー袋、パソコン、カメラなど）が欲しい	・自分が受け持った子ども達が、大きくなって立派に成長している姿をみた時 ・子ども一人ひとりが成長し、できなかった事ができた時の姿をみた時 ・赤ちゃんの排泄、ミルクなど（今後に役立つ）子育て
	・保育日誌、指導案	・持ち帰る仕事が多い	・子どもの成長が見れる ・自分自身が学べる ・子どもたちから学び、自分自身が成長することが出来る		・保育記録 ・運動開の計画、準備	・保育以外の仕事が進まない時がある（書類）	・子ども達の成長を保護者のみなさんと共感できる ・子ども達の笑顔に元気をもらえること ・子ども達の成長を通し、人としての発達又は様々なことを勉強させてもらえること
	・クラス便り	・保護者との対応の難しさを感じる	・子どもがなついてくれるので、とてもかわいい ・個人差はあるが成長が見られること ・毎日、子どもの様子が違うので、楽しいし教えた事を覚えてくれると嬉しい		・指導計画 ・リスクについて調べる	・子どもの事を第一に思っている事が保護者に伝わらない	・子どもの成長を見守ったり、関わったり出来る事

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	・救急法（年2回） ・不審者侵入対策（年2回） ・研修報告会	・保育士（毎月 の保育に 対しての 自己評価、 保育士の ための自己 評価 チェック リスト（年 2回） ・園長（保 育園にお ける自己 評価（年 2回）			・指導計画の作成（日案・日誌など）		・子ども達が友達に優しく思いやる姿が見られたとき ・責任を果たしたとき ・保護者が相談してきたり、上司が認めてくれたとき
	民営	・園外研修報告会 ・自主研修記録ノート提出	・チェックシートによる確認	・3歳未満児を原則として年令別クラス編成 ・1日7日時間・週40時間勤務（4週5休1時間カット制）の体制				
	民営		・チェックリストを使つての自己評価	・保育士は保護者が迎えの時向き合つて、子ども達の話をしてもらつた ・早番職員は次の日の朝遅くの出勤				・子どもを可愛いと感じ楽しく仕事ができている。成長を感じられたり達成感や充実感がある

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・保育記録 ・保育教材を作成するのにかけた時間	・書類、指導案の書き方 ・保育の内容	・命の大切さ、気づいたこと ・たくさんの人に支えられ、人は成長していくこと		・保育教材を作成するためにかけた時間	・体力に自信がなく子どもたちと一緒に(特に大きいクラスの子)走るまわることが苦しくなった ・事務的な書類が多く多様でついていけない時がある	・毎日成長発達のある子どもたちと接することで明るい希望が感じられる ・人間として同じような関わりができ小さくともひとりの人間ということに気づかされた ・毎日が真剣勝負という気持ちがすごまかしがきかないということを知らされた
		・保護者との信頼関係づくり(色々な人が増えてきてマニュアル通りの接し方ではうまくいかなくなってきている事など)	・色々な子どもたちに出会い、日々の成長を間近で感じることができ、感動をした事			・保護者との人間関係や連携が難しい ・複数担任で助かることも多いが連携が難しい ・他園に比べると休暇が取りやすいと思うが休暇が欲しい時に取れないことも多い	・子どもの成長が自分自身の喜びになり、自分自身も成長させてもらっている ・未来のある子どもたちを保育していく責任が意欲や向上心に繋がっている ・社会のルールや人間関係、協調性等を学ばせてもらっている
			・身近で子ども達の成長を感じられること ・子育てについての様々な知識を現場で活かしたり、また新しく学ぶこともできたこと ・子どもや保護者の方々の笑顔がみれること				・仕事にやりがいを感じる ・子どもと関わっていて楽しい

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	公営		・年2回の反省会 ・自己評価チェックリストを使用している	・園児の人数に応じ、職員、非正規職員で対応している		・保育教材作成	・うまく自分の時間をつくれない ・自分がしたことが子どもへどう影響しているかどうか（自分の保育で子どもが成長できるのか？）	・子どもの関わりの中で自分が成長できる ・子どもの笑顔に元気をもらえる
	NPO法人			・勤務体制は事前に休みたい日を（希望）入れてもらってから、勤務表作成 ・小規模なので時々合同保育にして異年齢との交流を入れている			・ピアノを弾く事が苦手である ・書類を書く時間や持ち帰り仕事をする時間がない ・思うような保育が出来ない	・子ども達に必要とされた時に喜びを感じる ・日中の時間充実している ・子どもに関する知識が増える
	公営	・保育の見直し、担当を変えたり、記録の書き方の検討会						
	公営	・月に一度の園内研修会（園外研修会の伝承）		・早出・遅出は4人の体制で行っている ・早出勤務が帰所した場合は各クラス2人以上の体制で保育をする ・5時以降は人数も少なくなっているのか一か所の部屋で退所時刻まで保育をする（退出勤務の保育士）	・勤務時間内で終わらなかった保育記録 ・歌あそび等の為のオルガン練習		・仕事の時以外でも「保育所の先生だから」とプライベートな子守りを任せられそうになる	・子ども一人ひとり個性に気付くことが出来る ・子どもと関わることで発見や驚きが日常の中で味わえる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・保育教材作成	- 勤務時間以外の仕事が多いこと、休憩時間は、ほぼない - 体力的なキツさ - 保育士に求められることが多く（地域、保護者、支援など）十分にできていないこと - 保育士1人に対しての、持ち人数の多さ 1人ひとりとの関わり、援助が十分にできないこと	- 子どもといることで、元気がでたり、笑顔になれる - やりかえを感じる - たくさん子どもや保護者と触れ合い、成長を感じたり喜びを分かち合える			- 若い保育士の指導の仕方 - 子育てとの両立	- やりがいがある - 常に勉強することで、新たな発見、面白さなどがある
			- 子ども一人ひとりの成長が見られる - 卒園児が声をかけてくれたり慕ってきてくれる - 子ども達と一緒に自分自身も成長することができる			他の保育士の方についていけるかどうか…不安な面もある	子どもの成長を見て感じられる事、又いろいろな子どもに出会えたこと
		各家庭の環境や子ども一人ひとりの個性が大きい時のバランスのととり方	子どもの成長していく姿が見られる		・次の日の準備		
		職業や持ち帰りの仕事が多い	多くの子どもや保護者と関わることができる			気になる子の保護者への毎日の様子の伝え方、お願いなど	- 子ども達とかかわる仕事で元気をもらえること - 子ども達を通していろいろな家庭環境や悩みなどがわかり理解できるようになった

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営	- 毎月一回勉強会 (P.M7:00～P.M9:00) - エピソード研修	自己評価チェックリストを年に3回記録	開所時間が長い為に職員は交代制をとっていますが、全職員が子ども達や保護者の情報を共有できるようにノートを利用して工夫しています			- 日々の保育内容 (遊び、製作活動) - 家庭との連携	- 子どもの成長をそばで見ることができ、それを一緒に喜ぶことができること - 大切な存在が増えた (子ども達や職場の人)
	民営	研修の報告についての勉強会 (保育・給食・医療関係)					問題児との向き合い方	- 親の思いがどういったものかよく感じられた - 自分が親になった時に子育ての仕方に役立つ - 子どもの成長が身近に感じられ、喜びが共感し合えた時
	民営	- 研修報告時職員が改めて、学ぶ時間を設定する - 講演者のDVDを全職員で再度聴く		- 居残り児については、保護者への連絡を見落とさないようにする - 全職員が園児の状態を把握出来るように連携を密にとる				
	民営	視察研修会 (単独で出かける)	1年経過後、自筆で文面 (反省等) を提出	- 一人ひとりを大事に主に職員で保育のすすめ方、接し方、食事形態、1日の過ごし方、次の見通しができる (子ども) 努めている - 年4回講師を招いて見てもらい、助言してもらい、公開保育を似ている - 勤務体制を今、思案中 早番、遅番二人の保育士が当たることに對して無理がある				

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・行事に向けての配布物作り ・製作 ・次の日の保育準備	・体力的にきついことが多い	・大変と思うことも多いが充実した日々を送っている ・子どもの成長のすばらしさを近くで見ることができて感動する出来事も多い ・様々なことを学ぶことが出来て、知識も増えた				
		・理不尽な親の言動 ・感染症の流行	・子どもたちの成長 ・親からのお礼の言葉、お手紙 ・運動会やお遊戯会で泣かずにしている子どもたちの姿を見た時			・理不尽な事を言う保護者への対応 ・感染症が流行った時	・子どもたちの成長 ・保護者からの感謝の言葉 ・ひとつのこと(行事)が終わったときの達成感
		・仕事量の多さ	・子どもたちの笑顔が見れる事 ・発達が見れる事 ・とてもやりがいのある仕事				・子どもたちと共に成長させていただけること ・子どもたちの成長に寄りそえること
	・教材の準備 ・明日の準備	・保護者との連携の難しさ ・他の保育士の方との価値観の違い ・女性特有の人付き合い、ネチネチこいこと	・子どもと過ごせる ・自分が頑張ればその分結果がでること ・どの仕事よりもやりがいがあり、毎年、感動する、嬉しい出来事を感じられる			・主任職となり若い保育士への指導、対応の難しさを感じている ・行事が多く、日々の保育の充実間を子どもたちに感じてもらえているのか？	・子ども達と共にいろいろな体験をする事ができ笑顔が見られた時 ・子どもの成長を通して保護者に喜んでもらえた時、よかったと思う

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者： その他	経営 主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	民営						・指導方法 ・子どもたちの成長を近くで見れる事	
	公営							
	公営	・定例研究（毎年テーマを決めて）		・時差出勤の為、受け入れ後クラス担任1人出勤するまでは混合保育 ・乳児組は乳児クラスにて受け入れる ・夕方の保育（帰りの会后）17時以降は混合保育		・保育日誌（保育記録）	・正職が少なく、休み（特休）利用をするとき、少し躊躇すること ・すぐに障害児扱いをする、そういう目で見ています ・仕事をおぼえられない後輩への指導に悩みます	・子どもたちの成長する姿が見れること ・子どもたちと一緒にいる事で悩みもふつとびます。 ・私自身が成長させてもらっていること
	公営	・運動会、夕涼み会、生活発表会等だしものを事前に全体で公開し評価してもらう	・日々日誌記録で自己評価	・土曜日、合同保育（職員配置4名所長含む）開所時間7時30分、閉所時間18時00分			・休みの日にも関わらず何かと行事が入ってくる	・子どもの成長を見守る
	公営	・外部研修を受講した者が、園内にて職員に伝達、資料等を配布している	・週、月案に評価の欄をもうけて記入し、所長・主任の決裁を受けている ・年を4期に分けて保育所評価を保護者に公表している					

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・保護者との対応 ・子どもへの接し方、声掛け ・病気の時の対応	・子ども達から笑顔をもらい、幸せな気持ちにしてもらっている事 ・行事などで達成感と感動 ・毎日子どもと楽しく過ごせる事		・作りもの、教材の準備	・保育園以外の場所で必ず会う	・子どもたちと過ごすことで、自分も共に成長できる
・子ども達の登所受入れ準備、各部屋掃除、環境構成など			・毎日子ども達と楽しく過ごしている事				
		・保護者への対応（子どもの姿の伝え方） ・職員同士のコミュニケーション	・子どもの笑顔がいつも見れる ・子どもの成長が手に取る様に感じる ・保護者が「ありがとうございました」と笑顔が見られる				
		・事務整理の時間が少ない ・勤務時間内に帰れない	・子ども一人ひとりの成長を親と共に喜ぶ事ができる ・子どもの笑顔が見れる		・その他の内容にかけた時間	・職員、保護者、地域の方々との連携について ・事務処理にかかる時間（効率的にスピーディーに！！） ・保育は奥が深い事	・子ども一人ひとりの成長を感じた時
	・児童表	・保護者とのコミュニケーション ・「臨時」と「職員」という形で同じ仕事をしているのに関わらず、職員の方がそういう言い方をするのがイヤ、臨時の方が頑張って難儀もいっぱいしているのに認めてくれない、主任が。不平等	・子ども達の成長が見られること ・0歳児担任になるとこれから産まれてくる子ども（自分の）を育てるヒントがもらえるから	・運動会の準備		・子どもから離れた休憩がとれない ・多様化するニーズにこたえるための過度な労働と精神的負担を感じる ・主に女性だけの職場のため視野がせまい	・日々かかわっている、あるいはかかわった子どもたちの成長が楽しみ ・子ども達の言動に笑いがあり、心洗われたり元気を頂いたりする ・子育てに（自分の）活かされる

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		市販のチェックリストを用いたり、毎年末に振り返りをする	- 保育時間が長い為、シフトが多く管理が大変な為一カ月同じシフトに固定している - 保護送迎時間帯に主担任又は副担任が配置するようにしている		- 指導計画(週、月案) - 製作類	- 指導計画の立案 - 持ち帰りの仕事が多いこと	- 子どもの成長が見れること(小さな成長・幸せが感じられる) - 子どもの素直な言葉・表情が沢山見れることで「頑張ろう!」と思える
	民営		年度末に「自己評価のためのチェックリスト」を利用し自己評価を行っている					
	民営				保育室の片付け(トイレの消毒、哺乳瓶保管庫の電源チェックなど)			- 子どもの成長を手助けして見守れる事 - 自分が母親になった時に使える知識 - 子ども、保護者、同じ職場の職員の笑顔
	民営	毎月第3土曜日の14時より勉強会(今年度は環境について)				- 明日の保育教材作り(スタンプ) - 保育日誌	時間外の書類作成等の時間がある	- 日々考え、仕事に取り組むことができる - 子どもの成長を感じた時嬉しくなる

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
		・父兄との対応がうまくいかない時	・子どもの成長を感じた時		・書類作成 ・会議（一旦退勤後園に出向き全体会議に参加）	・上司の方針がコロコロ変わるので、何を信じてついていっていいのかわからない、上司の方針を理解しようと努力するが次の瞬間考えが180度変わるので最近では努力することに対するの虚しさを感じる	・子どもと接しているとき心が癒される
		・仕事はとても楽しいのだが、保育士という職種の賃金の低さ… ・このまま仕事を続けていく上で、もう少し見直されるべきではないだろうかと思えます ・公立保育所（公務員）との差があります	・子ども達の成長を側で見守ることができる。 ・毎日笑い常に充実した日々を過ごすことができる ・保育士になり専門知識を色々と勉強することができる		・保育日誌の記録	・まとまった休みが取れないこと ・保育の仕事は、とてもやりがいがあり、素晴らしい仕事だと感じるのだが、書類が多く、事務的な仕事は、勤務終了後に行うしかなく、家に持ち帰ることも多い。その割には給与が少なすぎる。同じ仕事なのに公立、法人との差がありすぎる。是非改善して欲しい	・1人の子どもの成長を側で見て両親と喜びを分かち合えること
		・父兄との関わりがあまりよく分からないです	・子ども達の成長を日々感じられることです			・保護者との信頼関係を築くこと ・もつと色々な事ができるようになりたい	・子どもの成長を見る事ができること ・懸命にやる程、子ども達は慕ってくれ、ついてきてくれる
・出勤後の身支度（現場に入る前）	・保育記録日誌	・保育の記録（毎日の日誌や児童票の作成、個人記録） ・自宅へ帰宅後も持ち帰り仕事があること ・保育の仕事の他に個人での行事担当が多い	・子どもの成長が見える事		・保育記録	・責任のある仕事である為、自分の子ども達の学校行事などの参加が難しい（平日の参観など）	・子どもとの関わりで一緒に成長できる ・自分の関わった子ども達が元気に成長している姿を見ることが出来る ・いろいろな事に興味関心を持っていようと心がけるようになった

施設票					3年以下			
I	II-2	IV-11-⑤	IV-12(1)	IV-13	II-7-⑪	II-(6)-1	IV-12	IV-13
回答者：その他	経営主体	園内研修	自己評価の方法	保育の体制や勤務体制での工夫	その他の内容にかけた時間	帰宅後の保育に関する仕事	保育士として働いて困っていること	保育士になって良かったこと
	民営		自己評価チェックリストを利用し、自分の保育の振り返り、見直す	3、4歳児クラスも複数担任で保育にあたり、5歳児は5名で1名の担任の配置をしている - 全体の保育士で協力し合い保育にあたる			時々、保護者対応に困る	子どもたちが成長していくのを見ていると嬉しいし、良かったと思う
	民営		年一回の自己評価表の提出				- 子ども達との関わりの中でどのように対応していいのか分からない時がある - 毎月の教材(個別記録)の作成	- 働きかけで、子ども達の成長の変化を間近で見ることが出来る - 保護者との連携で子育ての悩みなどを聞く事ができる
	民営		子どもの活動や状態に対する保育士自身の保育や援助、環境設定等に対する評価を総合的に判断して、各月及び年間の評価を行う				- 仕事内容に比べて基本給が少ない - 一般の人の保育に対する、理解・知識・関心の低さ	子どもの成長に関われること

4～10年				10年以上			
Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13	Ⅱ-7-⑪	Ⅱ-(6)-1	Ⅳ-12	Ⅳ-13
その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと	その他の内容に かけた時間	帰宅後の保育に 関する仕事	保育士として働い て困っていること	保育士になって 良かったこと
	・ 育成記録作成	・ 自分の子どもが病気でも休みが取りにくい ・ 自分の子どもの保育所送迎ができないことが多い ・ 自分の子どもに申し訳なさを感じる	・ 子どもたちに癒される ・ 自分の育児の見本となった ・ 人間的に大きく成長させてもらっている(自分にできることが増えてきている)			・ 保護者との関わり方について	・ 子どもと関わり、成長が見られること
			・ 子どもたちの成長を間近で感じられること ・ 自分自身の成長にもつながっている ・ 将来的に、自分の子どもが出来た時、役立つ知識を身につけられていること		・ 個別計画の記録	・ 受け持つクラスにより、仕事量が多少違うので、体力的、精神的にきつい時がある ・ 持ち帰りの仕事が多い	・ 子ども達の成長を職員や子ども達の家族と共に喜び合えること ・ 専門職としてのやりがいを感じる
		・ 自分の思いを他の保育士にうまく伝えることができない	・ 子ども達の成長を身近で感じることが出来る ・ 子ども達から学ぶことも多く、自分の成長にもつながる				

「保育士の実態に関する調査研究事業」調査研究委員

- ◎西 村 重 稀（仁愛大学人間生活部子ども教育学科教授）
清 水 益 治（帝塚山大学現代生活学部こども学科教授）
小野田 晴 世（東京都・さゆり保育園主任保育士）
廣 田 智 子（埼玉県・狭山台みつばさ保育園主任保育士）
若 山 望（東京都・村山中藤保育園「櫻」副園長）
田 中 浩 二（山口県・のあ保育園副園長）
豊 永 せつ子（福岡県・ヴィラのぞみ愛児園園長）
仲 原 りつ子（沖縄県・あおぞら保育園園長）

◎は本調査研究委員長

執筆者一覧

- 西 村 重 稀（仁愛大学人間生活部子ども教育学科教授）
清 水 益 治（帝塚山大学現代生活学部こども学科教授）
小野田 晴 世（東京都・さゆり保育園主任保育士）
廣 田 智 子（埼玉県・狭山台みつばさ保育園主任保育士）
若 山 望（東京都・村山中藤保育園「櫻」副園長）
田 中 浩 二（山口県・のあ保育園副園長）
豊 永 せつ子（福岡県・ヴィラのぞみ愛児園園長）
仲 原 りつ子（沖縄県・あおぞら保育園園長）

本書の内容あるいは全部を転用、複製複写（コピー）する場合は、法律で認められた場合を除き、当協会あてに許諾を求めてください。

**平成23年度
保育士の実態に関する調査研究報告書**

発 行：平成24年 3 月

発行所：社会福祉法人 日本保育協会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5 丁目53番 1 号

電話 03-3486-4412（代） FAX 03-3486-4415

URL： <http://www.nippo.or.jp>
